

大藏省ノ要職ヲ新任ス

一廿八日七字參 朝今日

右新ニ拜命

谷 (贈臣) 大 丞  
安場 (保前) 大 丞

井上 (贈) 大 輔

岡本 (從三郎) 營 繕 正

田中 (光顯) 戶 籍 正

吉田 (清忠) 租 稅 寮 正

中村 (清行) 統 計 正

安藤 (秋高) 租 稅 助

右新ニ拜命五字退出吉田入來

一二十九日七字參 朝今日

濱口 (備兵衛) 驛 遞 正

福原勸業正

右新ニ拜命

四字退出今夕吉田入來

八月中

津田出ヲ訪フ

一朔日八字訪西郷子同道和歌山縣津田子(世)に參ル種々談判實ニ非凡之人物

之十二字歸宿老西郷子入來黑田次官松方子大山子入來

一二日七字參 朝五字退出

太政官職制ニツキ御下問アリ

一三日今朝濱口驛遞正竹下黑田次官等入來十字參 朝長官に太政官職制

大藏省移轉

之事御下問愚存云々申上ル十二字出省今日より山口縣邸に轉省二字退出訪松方子今夕大山子小西郷子吉井子松方子吉田子等入來

一四日今朝井上大輔に訪即今職制等御調日々相替リ秘書監或ハ三等議院

三等寮二等司ナドノ制甚不相心得候付論破いとし井上同意大隈同道之

井上ト共ニ大隈ヲ訪フ

約を成せ參昇五字退出を井上子与共ニ大隈子訪十分議論ニ及候處同意

ボリス一件

ニ亦明日猶評議可致との事ニ亦八字歸ル

一五日六字參 朝五字退出今夕松方子入來岩公の參上ボリス之事を談ス

一六日松方吉田岩下等同道乘廻いとし候渡邊元大忠等入來

一七日八字參省五字退出岩公御出ボリス一件云々御答有之候今夕小西郷子入來

一八日八字參省五字退出老西郷子入來小西郷黒田子入來

一九日八字參省五字退出

一十日八字參 朝伺物差出十二字參省五字退出訪小西郷子今夕安場子入來

一十一日不參廣澤等入來黒田子大山子入來澁谷邊まで乘廻いとし候今夕

西郷子兄弟大山子松方子入來

一十二日廣澤子入來九字參 朝四字退出

一十三日八字參 朝五字退出

一十四日八字參 朝五字退出黒田次官入來今夕吉田子上野子吉井子松方子等入來

一十五日八字參省退出日本橋萬林樓の上野子吉田子同道參り用談いとし候

候八字歸ル老西郷子吉井子松方得能子大山子等被參居

一十六日休日不參世古氏北代子(正臣)入來十一字吉田子の訪ひ歩行いとし候

一十七日今朝大山子町田子入來八字參省

車駕延遠館ニ辛ス 一十八日九字濱御殿 行幸伺候いとし候

一十九日九字參省四字退出

遣外使節ノ議アリ 一廿日九字參省四字退出訪吉井氏西郷子入來於宮中外國使之議あり

右院規則ノ件 一廿一日休日不參條公御出右院規則之事を御示談并ニ外國使節見込御下

問岩公御出第一外國使節之一分御談有之吉田子黒田子等入來四字

白金町邸一見ニ赴ク 吉田同道白金町邸之一見ニ參る訪小西郷子

一廿二日訪吉井子西郷子ト鹿兒島縣報知ニ付吉井子歸縣之事を談ま十一

字參省五字退出得能同道訪上野子大山小西郷等入來九字歸る訪小西郷子老西郷子ノ示談之趣有之今夕小西郷子歸縣之事を決せ

一廿三日八字訪山縣子小西郷歸縣之ヲを談せ訪西郷子參省五字大山子小

吉井友實西郷從道  
歸縣ニ決ス

答ニ彌決せ

一廿四日亡北堂公正忌ニ付不參

布政使ノ件

一廿五日八字岩公ノ參上十字參 朝布政之ヲを大隈子ノ談せ十一字參省

五時退出ハ岩公ノ參上山縣子川村子同會右院規則等之御談有之且

服制ノ勅書アリ

內勅書服制之事被 仰出諸省長官ノ寫御傳達有之

一廿六日丸山子入來圍基松方子石原子西郷子入來小城縣小田村達藏小學

句讀授岡田金助入來

一廿七日九字參省四字退出

一廿八日九字參省四字退出ハ上野ノ訪寺島ノ參ル楮幣之始末委曲示談ス

一廿九日今朝山王西郷子所ニ參老西郷伊地知正治子入來ニ而九字參省四字退出川瀬子入來老西郷伊地知子入來鹿兒島縣云々之ヲを談せ

九月中

伊藤澁澤等ト楮幣  
ノコトヲ談ズ

一朔日今朝岡田入來七字ハ吉田相誘ヒ井上ノ訪ヒ三井別莊ノ出張伊東租稅頭上野澁澤等一會楮幣之事を示談せ次ニ外國人分(二字) 家雇人ノ之ヲニ

六字退散

一二日今朝井上子入來伊藤子進退之ヲ楮幣一條ニ付一人外國行之等示談有之九字參 朝今日ヨリ正院ニ出席二字ハ吉田ノ訪候得共宅ニ入來之由故歸る猶吉田子与楮幣之事を談せ

一三日九字參 省四字退出

一四日九字參省四字退出井上子山縣子入來兵部大藏關係之事件を談せ

一五日今朝山縣子入來伊藤子云々之相談承リ候九字參省四字退出ハ條公ノ參昇云々之御示談有之

井上山縣來リ兵部  
大藏關係ノ件ヲ談ズ

一六日今朝西郷子入來二字后肥(七五)後子(七五)に訪高輪近邊屋敷見分訪黒田次官西郷木場兩子も入來

一七日九字參省四字退出

一八日九字參省四字退出伊地知正治子入來

一九日世古子等入來大山子松方子入來二字后松方与乘廻しいし候

二十日今朝七字岩倉家の參昇橋爪之咄を承り候十字參省四字退出今夕

成瀬正肥來り歸農ノコトヲ語ル

一十一日今朝成瀬(正肥)子入來歸農云々之示談有之世古氏入來津田之進退ニ付

愚存申入置候安場子林子松方子次ニ吉田子上野子入來今夕吉田同伴訪

大隈子種々示談寺島も入來

利通洋行ヲ勸メテ

一十二日九字參省井上子小子洋行之ヲを懇ニ示談有之此義過日小子之

見込有之候處異論ニ而今日ニ成候處果して少于説ニ伏しいカニモ感伏

云々之趣ニ而山縣兩人ニ而盡力可致与之ヲニ候四字退出西郷子入來小

子洋行云々井上ハ相談有之同人ニ於ても此上ハ異論ありし与申事ニ而安

心いし候松方子依招西郷同行參り候安場子も入來

一十三日今朝岩公入來小子洋行之ヲ云々御示談有之愚存猶又申上置候十字參省四字退出

一十四日九字參省今日 臨御之筈ニ候處雨天御延引四字退出

車駕大藏省ニ臨ミ諸寮司ヲ巡覽アラセラル

一十五日八字參省十字 臨御被爲在事務取扱且諸寮司

御覽被爲在人口租稅高 御尋問書面差上候二字參 朝宮内省に 臨御

之御禮申上右院に出席三字退出大山子入來

岩倉公ニ洋行ノコトヲ切論ス

一十六日今朝十字津田子入來寬話を遂候四字比松方公に參昇洋行云々之

事切迫及論破候次西郷子に訪同斷議論先々安心ニ至レ候

一十七日塩川(新)子入來三字山縣子に訪即今形勢之ヲを切迫論モ至而同意

之趣之今夕吉田子入來

一十八日八字岩公に參昇木戸云々ニ御談之趣拜承候九字參省四字退出

一十九日八字參省四字退出西郷子大山子黒田子入來

横濱ニ至リ泊ス  
一廿日八字參省三字退出大山子同馬車横濱出遊いし高島屋に一泊いし候

初メテ横濱ヨリ汽  
車ニ乘リ川崎ニ至  
ル

人力車ニテ歸ル

一廿一日上野子入來同道外國店見物いし候三字を蒸汽車ニ乗川崎迄三十分之間ニ着て始り蒸汽車ニ乗候處實ニ百聞一見ニ如き愉快ニ堪き此便を起さすんは必き國を起す一能はさるるし川崎を大山子同道人力車ニ乗歸ル

天長節參賀

一廿二日就 天長節八字參 朝拜賀之式有之酒肴を賜はる終り參省判任以下之拜賀ヲ受

主上馬車ニテ八重  
洲河岸ヨリ日比谷  
ノ間ニ親兵ヲ閱シ  
タマフ

主上馬車ニ乗親兵を  
御覽八重洲河岸を日比谷之間ニ親兵整列誠ニ壯觀之西郷子の訪四字を得能子同道乘廻いし川村子の訪共ニ拙宅の伴フ

一廿三日今朝松方子入來九字參省四字退出

一廿四日九字參省四字退出西郷子上野子吉田大山野津子入來

一廿五日九字參省四字退出上野子の訪

一廿六日今朝吉田子黒田子岩下子木場子等入來

三條公遣外使節ノ  
件ニ同意ス

一廿七日今朝訪岩公九時參 朝從條公各國の使節之義御同意有之候三字ヨリ木場子の訪伊藤子一會使節之ヲを談む

一廿八日九字參省四字退出今夕松方子石原岩下子等入來

使節方別局ヲ設ク

一廿九日今朝岩公の參昇九字參省十一字參 朝今日を使節方別局相定岩公木戸子伊藤子出席四字退出松方子同行大山子招きニ依りフランス

フランス新ホテル  
ニ至リ洋食ヲ喫ス

新ホテルの參洋食いし候中井子の一寸相訪候

一晦日九字參 朝使節別局の出席四字退出后石原岩下子等入來

十月中

一朔日今朝岩鼻縣權知事長崎縣權知事安場子等入來得能子入來

一二日今朝參 朝外務省の出席尤今日を外務省中の使節方別局相立候種々御評議有之

延邊館ニ至リ佛國  
公使ト會見ス

一三日今朝大藏省に出席十一字比退出川村子入來今日佛公使而會致度与  
の事ニ<sup>(岩倉具視)</sup>外務卿木戸參議伊藤山口小生延邊館に出會就使節厚尋問有之  
候

一五日不參二字后西郷子に訪大藏省中段々議論有之安場子<sup>(二字)</sup>論之<sup>(由利公正)</sup>ニ

付示談承候則小生安場子に訪厚及談合三岡云々示談十字后歸ル

一六日今朝訪西郷子昨夜之次第相咄置候岩公に參昇云々談合直ニ條公に

御談可相成与之<sup>(十二)</sup>字歸黒田子入來重野子入來園基

一七日今朝西郷子入來松方子入來使節局に出席

井上馨進退ノ件

一八日今朝井上大輔入來云々之事件示談今日正院に出席論破進退を決ま  
るとの<sup>(一)</sup>ニ付懇々諭示見合ニ相成候様談し候岩公に參昇形行御談西郷  
にも參示談也

一九日參 朝井上之<sup>(一)</sup>ニ付先西郷掛リ云々ニ<sup>(一)</sup>同人請合可有之哉尋吳候

様大臣公に御談有之退出<sup>(一)</sup>西郷子入來云々示談今夕井上に訪及示談候

井上曰ク正院ノ現  
狀ニテハ在職スル  
能ハズ

處西郷之<sup>(一)</sup>ハ異論あし乍去一體正院今日之姿ニ<sup>(一)</sup>あえ連も御請難出來与  
之事故直様同行ニ<sup>(一)</sup>あ今夕岩公に出頭御談し申上候處云々ニ<sup>(一)</sup>引取候

一十日使節方に出席岩公正院に御談之上大隈子小生方に入來ニ付井上も

共ニ談候様之<sup>(一)</sup>之退出后大隈子井上子入來云々及談合

一十一日條公に參上晝后大隈子に參リ板垣示談十分不調与之事<sup>(一)</sup>あかし大

井上馨辭表ヲ上ル

一十二日今朝山縣子入來今朝井上子に辭職云々之<sup>(一)</sup>書面を以申來ル岩公

に云々申上る今夕岩公に井上子に御談之賦

一十三日今朝岩公御出昨夜御談之次第承リ候井上決然辭職之趣旨ニ<sup>(一)</sup>あ演

説イカ、可相決哉与之御談之此ニ<sup>(一)</sup>於<sup>(一)</sup>あ外ニ<sup>(一)</sup>致様無之小生を御止免之<sup>(一)</sup>外

無之与申上置候使節方に出席參 朝道具調い<sup>(一)</sup>し候伊藤子与同行之

一十四日岩公に參昇昨夜條公亭之御評議不相決云々趣承る使節方に出席  
云々木戸に示談之上今夕井上に訪篤与説得之處明日返事可致との事之

利通井上ノ件ニ關  
シ自ラ辭職セント  
ス

吉田子の訪

一十五日今朝黒田子入來十一字參 朝之處今朝岩公の井上參候は是非退職ニ決心之由ニ而小生迄御返詞可被下与相願候由同公の承リ候ニ付既ニ條公ニも此上まいし方おしとの思召之旨承候得共是非今一應十分論し度所存有之今日ハ御見合を相願候退出の西郷子入來種々及示談候一十六日吉田子入來條公御出段々井上之事ニ付御談有之十字后山縣の訪候處留主ニ付直ニ井上の訪小生ニ於るも斷然決着之趣旨を以反覆之論ニ及候處終ニ解心此上彼是申候而小生の對し不相濟事故西郷の云々談し度其上全人御引受ニ有之与之事ニ候へえ兎角不申上云々ニ付安心いとし直ニ西郷の訪形行相咄置吉田の訪歸此度之悶着不可言之混雜ニ而殆んと瓦解ニ至らんとする之際之幸ニ井上承諾して使節之趣意を全ふするを得たり

一十七日今朝西郷子井上子入來昨夜西郷子の井上を示談之件々凡西郷子

利通井上ヲ説得シ  
辭意ヲ觀サシム

西郷井上諒解成ル

同意引受んととのニ而只今人撰之事因却之次第之まゝし成否之關する處不得止乍去愚存之安場井上の申入候井上子も云々示談有之十一字參 朝大隈子の委曲談置候今夕松方子入來之處不圖稅所子着ニ而久々振面會候得能子も入來

一十八日今朝岩公の參上形行申上候大ニ御安心之由ニ候十二字參着之御約束いとし退出二字を使節方の出席今夕西郷子中井子木場子入來

一十九日參 朝之處條公御不參ニ而御宅の集會右大臣殿參議中使節方人數之支那使節一件其使節人撰之ヲ之今夕得能子も入來稅所子同斷今晚

吉田の參同道井上の參候而上野福地之事を談を福地ハ相決候

一廿日九字ヨリ使節方の出席宗旨之事等條約之調有之四字退出大山子中井子入來九字比稅所子得能子處を歸る

米國公使來訪

一廿一日十字米公使入來シヤスホール一條ニ付頼談有之今日吉井西郷信吾子歸京訪吉井氏

品川ヨリ汽車ニ乘  
リ横濱ニ赴ク

- 一 廿二日使節方は出席今夕西郷子吉井子吉田子小西郷子等入來
  - 一 廿三日今日税所子得能子吉井子同道品川町料理屋ニ參る
  - 一 廿四日十字ヨリ木戸子小西郷子同道横濱は行品川は蒸汽車ニ乗る二字  
頃着高島屋は旅宿外國店見物
  - 一 廿五日今日買物等終日奔走村田子入來
  - 一 廿六日十二字蒸汽車を發ち西郷子大山子篠原子末川子(公使)其外同車二字歸  
着今夕小西郷子は訪
  - 一 廿七日九字外務省使節方は出席一字歸る今夕吉田子入來
  - 一 廿八日九字使節方は出席二字退出松方は訪今夕訪吉田子
  - 一 廿九日九字參 朝
- 十一月中
- 一 朔日今朝訪吉田子税則之事を談ち野村(野村)日田知事旅宿相訪西郷子始集會  
西子入來

全權大使及副使等  
ヲ御前ニ召シ手詔  
シテ之ヲ慰勉シ親  
ク國書ヲ授ク

英國公使ノ招請ニ  
赴ク

三條公遣外使節ノ  
一行ヲ饗應ス

利通賣茶亭ノ送別  
會ニ招カル

- 一 二日使節方は出席今朝ハ岩公は參上 知事公云々之事を願候四字退出
- 一 三日使節方出席今朝吉井子入來今夕吉井子副島子木場子入來
- 一 四日使節就發途神祇省御祭有之七字は出席十字相濟參 朝於大廣間天  
顏を拜ち(若倉)大使は國書御渡相成候別段大使副使を(大井大久保伊藤山口)  
主上
- 皇后御前ニ被食親しく 綸言を下し賜ひ且御品物を賜はる
- 皇后も御同様ニ候一同感伏拜戴ち二字退出英公使招きニ依り六字公使  
館ニ至る大使副使一同之種々饗應有之九字退出
- 一 五日使節別局は出席
- 一 六日今夕使節一同理事官ニ至る迄條公亭は御招き御饗應有之
- 一 七日參 朝今夕西郷子始木挽町破月亭ニ於る離杯ニ催有之六字は參る
- 一 八日二字參 朝御書御渡有之神田邸は參上今夕賣茶亭ニ於る得能子松  
方子吉井子税所子等招(二字)六字は參る西郷子入來一泊



一九日今朝津田子勝子の暇乞として訪ひ歸る今夕就發途來客多し壯會之  
一十日今朝來客多し

○次ニ掲グルモノハ先考ガ岩倉全權大使一行ト米國回覽中  
家信ニ添付セル日記ノ一部ナリ參考ノ爲メ茲ニ併載ス

十二月廿二日蒸汽車ニテ桑港ヲ發ス當日「サクラメント」ニ至ル

大使ノ一行桑港ヲ  
發シ「サクラメント」  
トニ至ル

但

途中「ストクトン」トイヘル所ニテ狂病院ヲ見ル男女院ヲ殊ニス惣人員  
凡千百人位製造ノ清潔萬端ノ行届タル可感院ノ中廣間ノ一室アリ是  
教師ノ法場之其餘可推知

「サクラメント」ハ「カルホル」ニヤ州ノ二首府之人員凡三萬五千人市店最繁榮  
ノ地ト見ヘタリ此ニ逗留スルヲ兩日

議院政廳及製鐵所  
等ヲ視ル  
廿三日同所大小ノ議院及ヒ政廳ニ至ル議員ハ大小合百人位大ハ鎮臺管之  
小ハ副鎮臺管之ト云「カルホル」ニヤ州ノ長官知縣令及「サクラメント」ノ鎮臺  
等面會

同日製作所ニ至ル製鐵蒸氣車製造其外修復等實ニ莫大之仕掛ニテ鐵道ヲ

建築スルニハ最急務之場所ナリ今夜議院ノ點燈ヲ見ルハ同日新聞帛ヲ刊行ス  
 ル場所ヲ見ル蒸氣仕掛器械ニテ一字間二千五百枚ヲ摺出ス  
 「ソールトレーキ」ニ至ル  
 廿四日「サクラメント」ヲ發シ汽車ニテ廿六日朝「ソールトレーキ」ニ到着爲雪  
 逗留

但

途中「ラチフラット」トイヘル山アリ滿山生金此鑛山ノ利夥シトイヘリ  
 或外國人云金ハ堀リ出シ候得ハ世上ノ融通ヲナシ又利息ヲ増シ誠ニ  
 重寶ナリ地ニ埋置候得ハ瓦石モ同様之我北海道ノ如キハ如此金鑛ア  
 ルヘシト咄タリ

「サンフランシスコ」ヨリ八百四十一里我二百二十里半

一此所「ソールトレーキ」トイヘルハ潮(波カ)ノ湖水トイヘルヲニテ流百四拾八里  
 横六十里ノ湖水ナリ鹽氣多クシテ無魚

一「ソールトレーキ」ハユタ州ノ内之此所人員二萬四五千市店之模様尤繁榮

モルモン宗

ニ見ヘテ「サクラメント」ニ少シク劣レリ「モルモン」トイヘル宗旨統領「ヨン  
 グ」トイヘルモノ二十五年前來リテ開キタル地ト云此宗旨一夫ニシテ多  
 妻ヲ娶ル「ヨング」ハ當年七十一歳十六人ノ妻ヲ娶テ四十九人ノ子ヲ生ス  
 一廿七日於裁判所當所官員陸軍大將其外町奉行司法省等百餘人ニ面會

裁判所ニ至ル

一廿八日陸軍大將ノ家ニ至ル八小隊ノ練兵ヲ見ル

學校ヲ見ル

一廿九日二ヶ所ノ學校ヲ見ル一ハ商法學校ヲ設兩替屋新聞紙屋其外八ツ  
 ノ課目ヲ分ツテ學習セリ

一正月二日劇場ニ至ル此夜「ヨング」ノ子廿人餘見物ニ來リ居レリ凡テ女子  
 ナリ

(明治五年)

一當所二十年間ニ如此開ケタリシハ要スルニ鑛山ノ利ニ依ルトイヘリ

一同四日夜官員一同ヨリ饗筵百三四十人

# 大久保利通日記

## 第八卷

七卷 (明治五年正月)

二二

日事要録

明治六年癸酉十月十五日ヨリ  
同 七年戊戌八月 五日マテ

大久保利通

十月十五日 水曜日

征韓問題ノ朝議アリ  
利通反對論ヲ主張ス

今朝黒田子(源儀)入來十字ヨリ參 朝鮮事件御評議有之昨日ノ議不決條公岩  
公今日迄御勘考可有之与之事ニテ今日猶又見込御尋有之候ニ付小子ニ於  
テハ斷然前議ヲ以主張イタシ外參議中ニ於テハ西郷氏ノ意ニ御任セ可有  
之殊ニ副島子板垣子(副島)斷然決定ノ趣ニテ此上ハ猶又御兩人ニテ御治定可有  
之ニ付參議中相扣候様御沙汰故一應引取候暫時ニシテ又々參リ候様トノ  
一故一同參候處實ニ西郷進退ニ關係候テハ御大事ニ付不得止西郷見込通  
ニ任セ候處ニ決定イタシ候トノ御談故小子ニ於テ昨夜申上通此上兩公御  
見込相立候處ニテ御治定可有之申上置候ニ付御異存ハ不申上候得共見込  
ニ於テハ斷然不相變旨申上候然シ餘ノ參議一同異存ナク殊ニ副島板垣ハ

朝議西郷ノ征韓論  
ニ決ス

利通辭意ヲ決シ退朝ス

斷然タル決定ニテ彌御治定有之候間小子ハ初發ヨリ此ニ決シ候得ハ斷然辭表ノ決心故其マ、引取候今夕小西郷子黒田子等入來

十月十六日 木曜日

今朝黒田子入來小西郷子一字ヨリ伊地知氏(正色)ハ參リ圍基今晚黒田子入來

十月十七日 金曜日

三條公ニ辭表ヲ呈ス

今朝八字條公ハ參上辭表差出趣意書差上候今朝ノ御様子ヨホト御周章ノ御様子ニ候黒田子入來得能氏入來

十月十八日 土曜日

三條公深愛疾ヲ作ス

今朝奈良原(重信)子入來三島(通隆)子入來得能子入來一字比三條公今曉來就大病伊藤子大隈(重信)子入來伊藤子ハ岩公ハ參上形行通シクレトノコニ付參リ候トノコニ候尤大隈ハ伊藤誘引イタシ候トノ事ナリ借條公御大病ニ付テハ今日ニテ岩公ハ御憤發無之候ハ國家ノ事去ルトノ趣ヲ以御進メ申上候處此ニ至テハ不得止斷然可振起トノ御事故小子ハ是非憤發イタシ候様切ニ忠告

岩倉公ノ奮起ヲ促ス

有之候小子勘考之次第有之同意イタサス先々見合候旨相答置候今晚得能子入來大迫(貞清)子晝前入來森子(有禮)同斷

十月十九日 日曜日

三條公ノ病ヲ慰問ス

今日十二字后條公御病氣御見舞トシテ參上詳細御様子承リ候全精神錯亂ノ御容子ニ候然シ今日ハ昨日ヨリ少シク御クツロキノ御容躰ナル由松方子小西郷子岩下(方平)子入來黒田子入來同人此困難ヲ憂フル實ニ親切ナリ予モ此上ノ處他ニ挽回ノ策ナシトイヘ只一ノ秘策アリ依テ之ヲ談ス同人之ヲ可トス則同人考ヲ以吉井子ハ示談有之候様申入置候

十月廿日 月曜日

今日無事

十月廿一日 火曜日

今日得能子吉井子(友實)小西郷子入來一字賣茶亭ニ於テ伊藤子出會政府上ノコヲ示談ス一字五代子(友成)ヲ訪

十月廿二日

利通大原重實ニ一書ヲ托ス  
今朝小西郷子入來大原子(重實)ノ訪一封書相托候今日參議四名岩公(重實)ノ參上云々  
岩倉公前議ヲ固持シテ勳カズ  
議論有之同公前議御貫徹動搖無之一同致方ナシトノ事ニ引取候由今晚

黒田子小西郷子入來

十月廿三日 木曜日

今朝得能子林宮島入來二字野津子伊集院子小西郷子吉井子入來今朝老西郷子發足云々ノ事アリ今晚大原氏入來今日岩公ヨリ前議云々奏上有之候  
由

十月廿四日 金曜日

岩倉公及大隈ヲ訪フ  
今朝岩公(友幸)ノ參上大隈子ヲ訪フ一應歸宅伊藤子(實)ノ訪与イヘレ留主ニ歸ル  
得能子大原氏入來四字比野津子入來云々ニ付海江田(實)與倉黒木(實)三名相招キ  
云々談ス小西郷氏モ入來

十月廿五日 土曜日

今朝黒田(實)ノ訪篠原(實)子云々ノヲ談ス十一字歸宅大隈子入來岩公ヨリ云々  
ノ御相談云々御答申上ル三字大原氏入來三字后吉田子(實)ノ訪六字ヨリ大隈子(實)ノ訪フ伊藤子示談ニ因テナリ  
至尊御輔導其他ノ件ヲ談ズ  
大臣殿其躰ヲ得ラレ候(實) 同僚同心協力云々ノ(實)

三ヶ條相談イタシ同意ナリ

今日參議兼大藏卿大隈全兼外務卿寺島全兼工部伊藤全兼海軍卿勝拜命相  
成候由(實) 十七日差出候辭表御附帶不被  
聞召旨ニ杉浦御使ニテ入來

十月廿六日 日曜日

今朝藤井子吉井子入來九字ヨリ岩公(實)ノ參上大隈子伊藤子出會昨夜大隈子  
宅ニテ示談之形行ヲ申上候至御同意ナリ五代子(實)ノ訪候

十月廿七日 月曜日

今日ヨリ九字參 朝參議一同出席寺島氏欠今晚小西郷氏得能子吉井子入  
來兵隊混雜ニ付

勅諭云々ノ事相談有之

十月廿八日 火曜日

今朝吉田某入來黒田子小西郷子入來

近衛兵勅諭ヲ賜フ

勅諭云々ノコ尙又相談アリ尤今日中相達候様承候

參議一同岩倉公邸ニ會ス

近衛兵隊混雜切迫ニ因テナリ十字出席岩公ハ相談次ニ同僚ニ示談一同異論ナシ今日岩公亭ハ外國人招請十二字岩公退出小子モ十二字退出三字ヨリ岩公ハ參上參議一同出會

勅諭書御書面ノコニ付評議有之相談相決候則吉井相誘ヒ參上德大寺卿モ入來今日ヨリ兵隊御呼出ノ運ニ相決德卿吉井子宮内ハ出席有之今晚黒田子公ハ參上小西郷氏訪十二時歸宅

十月廿九日 水曜日

今朝小山田某入來云々黒田子入來十字參 朝唐太談判ノ義ニ付御評議有之二字歸宅大原子得能子吉井子黒田子等入來

唐太談判ニツキ朝議アリ

十月三十日 木曜日

政府基礎目的ノ朝議アリ

今朝高崎子(五)奈良原子入來 久光公云々ノ示談アリ九時參 朝政府基礎目的ノ評議アリ

十月三十一日 金曜日

今日十字參 朝

十一月朔日 土曜日

十一字西郷子野津子入來近衛兵隊云々承ル云々答置候

十一月二日 日曜日

今朝九時前小西郷氏入來近衛兵隊説諭行届兼是非歸國イタストノ事最早無致方寛典ノ處置ヲ以云々取計候トノ示談アリ九時參 朝今日陸軍大輔西郷出院近衛兵隊辭表願出候モノ處置ノ儀伺出テ寛典ニ處シ候様御評議有之候

近衛將卒ノ辭職歸國スルモノ相應グ姑ク寛典ニ處ス

十一月三日 月曜日

天皇節  
勅任官以上ニ酒饌  
ヲ賜フ

今日就 天皇節九字赤坂 皇居に參 朝勅任官以上大禮服ニテ 御前ニ  
於テ酒饌ヲ賜ヒ

天皇陛下 御祝詞ヲ述ヘサセラレ(岩倉具實)右大臣ヨリ祝詞ヲ述ベ萬歳ヲ賀シ奉ラ  
レ十二字后ヨリ今戸小野別莊(香助)に參リ五代子木場子伊地知氏等圍碁ノ會ア  
リ

十一月四日 火曜

今日九時參 朝

天皇臨御朝鮮事件  
ノ朝議アリ

天皇臨御朝鮮云々ノ御評議アリ三字退出訪吉田子七時歸宅小西郷子入來  
山縣陸軍卿一條云々談合

十一月五日 水曜

横濱ニ赴キ米國公  
使ヲ訪フ

今九時汽車ヨリ横濱ニ至ル杉浦氏同行富貴樓ニ至ル大隈子先來同道舊米  
國公使デロングノ發足ニ付暇乞トシテ至ル次ニ新公使ビンガムニ見舞歸  
ル

十一月六日 木曜

今朝櫻井子三島子山口子高島子等入來海江田子得能子入來一字比ヨリ大  
原子同道吉田子ヲ訪ヒ四字賣茶樓ニ五代子ト圍碁

十一月七日 金曜

皇太后皇后御同乘  
ノ御馬車顛倒ス幸  
ニ御性我アラセラ  
レズ

今朝七字岩公入來一條等示談有之九字參 朝十一字比 皇太后 皇后宮  
工部省邊ニ於テ馬車溝中ニ顛倒 御落車ノ報知有之駭然イタシ右大臣公  
則御出有之候幸ニシテ御怪我無之安心奉リ候退出后赤坂 皇居に 御機  
嫌伺トシテ參上五時歸宅岸良子入來西郷氏入來猶山縣子云々示談

十一月八日 土曜

今朝奈良原子米田子入來十字參 朝三字前退出直ニ岩公亭に至ル朝鮮遣  
使ノ事御評議前議ニ決ス其餘數件御評議アリ

十一月九日 日曜

今日小西郷氏伊地子氏入來九字參 朝三字退出大原子入來

岩倉公邸ニ至リ朝  
鮮遣使ノコト等ヲ  
議ス



十一月十日 月曜

今日失記

十一月十一日 火曜

今日賣茶樓ニ五代子ト園基今晚訪大隈子

十一月十二日 水曜

警保寮建白ノ件  
今日九字參 朝三字退出四字大木子(書在)入來警保寮ヨリ建白ノ義有之云々ノ  
相談有之候今晚西郷氏入來

十一月十三日 木曜

皇女降誕即日薨ス  
今朝九字參 朝警保寮建白ノコニ付御評議有之三字退出今日橋本權典侍(皇女)  
難産ニテ三字十分 皇女降誕ノ處御天亡母躰危篤ノ由

十一月十四日 金曜

今朝九字參 朝 皇女御逝去ニ付爲伺 天氣赤坂 皇居ニ參上直ニ參院  
三字退去今晚川村子吉田子入來

十一月十五日 土曜

調所廣丈堀基樺太  
ヨリ歸京彼地ノ狀  
況ヲ語ル

今日小西郷子入來川路面會(和良)ノコヲ談九時參 朝小西郷子川路面談ノ形行  
ヲ聞三字退出四字黒田子調所子堀子(廣丈)同道入來兩人樺太ヨリ今日歸府彼地  
情實ヲ聞今晚五字ヨリ岩公御入來

十一月十六日 日曜

今朝八字比高輪別邸ニ至ル黒田子ニ參リ十二字ヨリ賣茶ニ五代子ト園  
基

十一月十七日 月曜

九字參 朝調所堀黒田子參院々事御聞相成候今晚伊藤子官宅ヲ訪ヒ留主  
西郷子ニ訪

十一月十八日 火曜

今日大原子入來九時參 朝十二字岩公亭ニ五米公使招請ニ付參上三字歸  
懸陸軍省ニ立寄西郷子ニ面會歸邸石原子入來今晚川路子吉井子黒田子西

新任米國公使ヲ岩  
倉公邸ニ饗ス

郷子入來

十一月十九日 水曜

皇女御葬送

今朝海江田子入來伊藤子寺島子大原子黒田子等入來 皇女御葬送ニ付永田宮の伊藤子同道拜禮同子亦拙宅に誘引樺太朝鮮順序目的ノ事示談イタシ全人異存ナシ六字參 朝政體取調等ノ事今晚御評議相願候六字ヨリ參議一同岩公亭に集會議論魯西亞公使の返答ノ事政體取調寺島伊藤兩人の專任被命ノ事ニ決ス魯西亞ハ使節ヲ立ルニ決ス

十一月廿日 木曜

警保寮ノ建白ニ回答ヲ與フ

今朝得能子入來西郷子入來警保建白御答ニ付同人に談ス九字參 朝警保寮建白人數出頭大木兩人ニテ相達ス

十一月廿一日 金曜

今朝岩公に參上二字賣茶樓ニ至ル五代子ト圍碁大原子後來

十一月廿二日 土曜

今日練兵就

天覽九字前赤坂

皇居に參上十字御出門

天皇日比谷練兵場ニ幸シ在京兵ヲ親閱シタマフ

主上御馬上 御指揮被爲在士官供奉ニル櫻田練兵場に 御臨幸大臣殿勝氏小生ハ列外ニル練兵場ニ至リ

天覽ニ伺候ス二字終ル直ニ出院三字退出五字ヨリ中井子松村子大原子吉井子等入來杉浦子モ全シ

十一月廿三日 日曜

新嘗祭

今日新嘗祭ニ付休暇八字比ヨリ二本榎邸に至ル大原子中井子松陰子川村子等入來寺島子岩山子モ入來松陰子ト圍碁五字前歸リ直ニ赤坂に至ル

新嘗祭

主上御拜禮ノ式被爲在大臣殿大隈子大木子小生拜禮終リ七字歸ル曉ノ御拜禮被爲在候得共被免候

十一月廿四日 月曜

今朝岩公御出大久保知事入來示談ノ趣有之十字前參 朝二字半退出

十一月廿五日 火曜

今朝櫻井宮内小丞入來九字ヨリ海軍省に出席今日 臨幸海軍

車駕築地ノ海軍省  
兵學校ニ幸シ  
ノ訓練ヲ覽ル

天覽被爲在候初バツテ一ラニ而海軍ノ操練有之次ニ兵學校凡テ  
天覽終テ海軍訓練迄有之候三字比退出吉井氏入來

十一月廿六日 水曜

今朝奈良原氏入來九時岩公亭に參上今日參議一同會議官祿士族祿制ノ事

祿制並ニ海外留學  
生召還ノ件等ヲ議  
決ス

及ヒ海外生徒引取ノ一御評議幸士族祿制之ハ先ツ祿稅ヲ賦シ候筋ニ決  
ス官祿稅モ全斷之海外生徒ノ處置モ惣躰引揚クルノ義ニ決ス一字退出五  
代子に訪園基

十一月廿七日 木曜

今朝小西郷子入來陸軍省生徒引取候一ヲ談ス同意ナリ十時參 朝二字退

出四字大木子入來山田子(國善)モ入來今晚得能子岩山子大原子入來

十一月廿八日 金曜

今朝九時參 朝三字退出黒田子に訪留主歸黒田子入來吉井子入來

十一月廿九日 土曜

今朝九字參 朝

主上臨御兼内務卿御直ニ拜命ス於

利通參議兼内務卿  
ヲ拜命ス  
遣露使節ノコト等  
ヲ議ス

御前評議内地旅行ノ事魯西亞使節ノ一官祿稅華士族祿稅之事三字大藏省  
出席ス四字赤坂 皇居に内務卿拜命ノ御禮トシテ參上五字歸西郷子入來  
山縣子進退ノ一ニ付云々相談有之岩下子佛國(長十郎)ヨリ歸朝ニ而入來今夜吉井  
子に訪大原子モ入來官祿云々ノ調ヲ托ス

十一月卅日 日曜

今朝黒田子伊地知子入來九字半參 朝二字ヨリ大藏省に出席四字退出得  
能松方子入來高崎子(正風)自米國歸朝ニテ入來

高崎正風米國ヨリ  
歸朝ス

十二月一日 月曜

今日八字高輪に至ル十二字ヨリ賣茶樓ニ在五代子ト圍碁

十二月二日 火曜

黒田清隆建白ノ件  
今朝伊藤子入來祿税ノコ云々示談有之野津子入來十字參 朝黒田子建白  
之事ニ付御評議有之二字ヨリ大藏省に出席四字歸小西郷大原黒田子等入  
來七時ヨリ岩公に參上種々御示談有之十字歸

十二月三日 水曜

内務省人撰ノ議ア  
今朝中山子與倉子入來十字前參 朝内務省人撰御評議有之二字退出三字  
河村子入來大原子入來今晚伊藤子官宅に訪

十二月四日 木曜

今朝得能子西園寺某入來九字參 朝二字退出大藏省に出席四時退出今夕  
得能川路子入來小西郷子入來

十二月五日 金曜

今朝備前杉山某入來九字半參 朝二字退出四字前ヨリ二本榎邸に至ル六  
時前歸邸今夕得能子吉井子入來

十二月六日 土曜日

今九字吉井子同行五代子に訪圍碁大隈子等入來

十二月七日 日曜

花房義實暇乞ニ來  
今朝花房子入來暇乞ナリ九字半參 朝二字大藏省に出席退出ヨリ石原氏  
に訪ヒ七字歸

十二月八日 月曜

今朝土木權助白石子入來山科外壹人入來佐々木氏入來九字半參 朝二字  
退出今晚西郷氏大原子石原子等入來三字岩公御出

十二月九日 火曜

勸業寮試驗場ヲ巡  
今日九字參 朝二字退出ヨリ試驗寮に大隈子同道ニ在至ル五字歸ル今晚  
丸山子入來

十二月十日 水曜

今朝岩公に參上正院に出席二字退出訪五代子

十二月十一日 木曜

今朝大原子同道二本榎邸に至ル十字過大平處に至ル五代子中井子松方子等入來五代子近々發途ニ付離杯ヲ催シ候

十二月十二日 金曜

今朝黒田子海江田子伊地知子川村子西郷子等來十字過參 朝二字退出三字岩公に至ル同僚集會祿税ノ事再評云々定論六字歸黒田子堀子岩山子入來

十二月十三日 土曜

今朝海江田子川村子入來九字參 朝二字退出四字前吉田氏に訪五代子に離盃ナリ

十二月十四日 日曜

祿制ノ議殆ド決ス

今朝岩公御入來祿制云々ノ事御示談有之候ニ付前議ヲ斷シテ申上十字參朝祿制ノ一尙又御評議凡決定ス二字比退出今夕吉原<sup>(和)</sup>子高橋<sup>(實吉)</sup>子入來

十二月十五日 月曜

今朝川畑<sup>(和)</sup>氏川島<sup>(不)</sup>氏西郷子田中<sup>(不)</sup>子外ニ一名入來十字參 朝

十二月十六日 火曜

今朝八字岩公御入來祿税之事ニ付又々云々御談有之且外ニ段々御相談有之候十二字前二本榎邸ニ至ル三字前賣茶樓ニ至リ五代子ト圍碁

十二月十七日 水曜

今日

車駕須賀ニ幸ス 主上横須賀行幸アリ九時參 朝二時退出兒玉<sup>(和)</sup>成富<sup>(清風)</sup>入來臺灣ノ事情ヲ聞三字五代子入來圍碁

十二月十八日 木曜

今朝黒田子入來十一字參 朝二字退出石原子入來西郷子入來

十二月十九日 金曜

今朝九時參 朝二字退出五代子の訪圍碁

十二月廿日 土曜

今朝九時參 朝二字退出川路子入來勝子入來今晚岩山子入來坂本<sup>(城)</sup>子田中  
子外一人吉井子入來尤鹿兒島分營燒失之話委曲承候

十二月廿一日 日曜

今朝奈良原子入來十一時ヨリ二本榎邸ニ至ル二字賣茶ニ而五代子ト圍碁

十二月廿二日 月曜

今朝八字岩公ニ至ル歸宅西郷子分營云々ノヲ談ス十二字后參 朝三字  
歸宅今晚黒田子川村子野津子西郷子入來鹿兒島分營處分ノ事談合川村子  
鹿兒島行ノ事ヲ決ス

(原本十二月廿三日ノ記事ヲ欠ク)

十二月廿四日 水曜

三條公病後初メテ  
出仕ス

今朝川路子川村子海江田子得能子松方子等入來九時岩倉公ニ至ル十字參  
朝二字退出大原子黒田子五代子入來 今日ヨリ條公出仕有之

十二月廿五日 木曜

今朝九時岩倉公ニ至ル十字參 朝二字退出四時川路子岸良子入來八字石  
原子同道植木屋ニ行今晚川村子モ入來

十二月廿六日 金曜

今朝條公參上坂本云々ノヲ御示談有之歸宅十二時杉浦子入來三字比岩公  
入來云々ノ義示談有之黒田子ニ訪ヒ候今晚森山<sup>(彦)</sup>子入來云々ノヲ承候

十二月廿七日 土曜

今朝北島<sup>(秀朝)</sup>子入來九字參 朝二字退出今朝吉原子西郷子入來

十二月廿八日 日曜

今朝川路子入來八字岩公ニ參上十字參 朝四時退出五字ヨリ依 召赤坂  
皇居ニ參内大臣參議一同陪食被 仰付

赤坂皇居ニ大臣參  
議ヲ召シ陪食ヲ命  
ジ物ヲ賜フ

主上并 皇后宮 出御終る 御手羽二重二疋コツブ一箱拜領被 仰付候  
七字退出大木子に立寄歸

十二月廿九日 月曜

今朝八字三條殿に參上參議一同參坐被止りニ御評議有之彌決定相成候十  
一字退出中井子大原子入來同行濱丁に御尋申上候増田やに立寄四字歸今

夕島山子高橋子得能子入來

十二月卅日 火曜日

今日九時伊東某子入來村田子入來赤坂

皇居 御直御用ニテ參 内於

御前御内々金七百圓拜領被 仰付候

利通ヲ御前ニ召シ  
優詔アリ金七百圓  
ヲ賜フ

叙語之趣奉職以來勉勵イタシ候譯ヲ以別段之 思食ニテ被下旨之事ニテ  
恐縮ニ堪ヘス候退る宮内卿に參上后内外御多端殊ニ御造營モ御見合相成  
候處ニ如何ニモ安カラズ奉存候ニ付何卒衷情御汲取被下御取成相願且

御直ニ賜モノ彼是申上候ニ付宮内卿限リニ申上候段再三辭退ニ及候得共  
條公岩公木戸子小臣に一新以來格別骨折別段御親ミノ處ヨリ御直ニ賜リ  
候ニ付無心配御受申上候様承リ 思食ニ對シ恐入候ニ付不得止御受申上  
候二字退去直ニ二本榎邸ニ至ル得能子中井子松村子に參六時歸宅堀子樺  
太行ニ付爲暇乞入來

十二月卅一日 水曜

唐太一件遣露使節  
等ノコトヲ議ス

今朝九字條公亭に至ル右大臣參議一同ナリ唐太一件魯使節ノ御評議有  
之種々異論有之小子前議ヲ以テ云々論ス榎村處置一條云々相決ス

明治七年甲戌正月一日ヨリ

正月一日 木曜 雪

元旦参賀

今朝八字赤坂 皇居年頭爲祝賀參 内勅任以上

主上 皇后宮謁見被 仰付候十字歸木場氏畠山氏外國人モリ、ウキルワ  
ム等入來

正月二日 金曜

今日雪五寸餘新田義雄村田氏壽子入來森子中山子等石原子入來

正月三日 土曜

今日就所勞不外出得能子吉原子入來午后小西郷子岩下子入來

正月四日 日曜

今日今朝新田子入來十二字比伊藤子入來二字岩公御入來云々御内談有之  
候三字ヨリ村田子新田子入來内務省ノ事示談イタシ候

正月五日 月曜

今朝北代子<sup>(正臣)</sup>入來黒田子田中不二麿子入來午后吉井子吉原子吉田子等入來  
吉田子云々ノ事談有之

正月六日 火曜

今日今朝村田子海江田子鹽田子<sup>(三郎)</sup>勝子松方子吉原子中井子追々入來石原子  
入來

正月七日 水曜

内務省人撰ノコト  
決ス  
今朝海江田子入來九時大隈子<sup>(高推)</sup>訪參 朝内務人撰等ノ事凡決定イタシ候  
二字退出千坂子<sup>(高推)</sup>宮島子入來松方子入來

正月八日 木曜

釋太處分ノ件  
今日九時參 朝黒田坂元出席樺太處分本國ニ於テ相濟候云々ノ義副島子  
云々ニ付言上有之坂元云々言上云々御答別段小テ面會黒田同席ニテ云々  
申入候三字退出村田子新田子入來小西郷吉井子入來

正月九日 金曜



今朝坂元子入來昨日之義ニ付意味違ノ事有之黒田子ノ同道立會ニテ相談  
シ坂元子ヨリ疎漏ニ候段挨拶有之別紙手帳ニ記シ置十二時參 朝猶又坂  
元國分<sup>(友部)</sup>兩人出席云々言上云々御決答有之候二字后内務省出席今日ヨリ新  
任ノ大小丞始出席明日ヨリ開省之筈ニ候四時后退出得能子黒田子入來

正月十日 土曜

今朝岩倉家<sup>(武部)</sup>に參上魯西亞使節ノ御談有之今日九時過參 朝今日魯西亞  
公使榎本<sup>(武部)</sup>に被命可然トノ議相決ス一時后ヨリ内務省に出席今日ヨリ開省  
ナリ正一字警保寮に出席大木司法卿モ出席請取方イタシ候五字前退出淺  
野氏入來川路氏入來森山子入來今夕濱町に行海江田子に云々引合

正月十一日 日曜

今朝九時黒田子に榎本云々ノ示談二本榎邸に至ル寺島氏に訪吉田子モ  
入來吉田子邸に至リ二本邸に歸ル得能子入來六字歸邸小西郷子入來

正月十二日 月曜

榎本ノ海軍中將遣  
辨公使ノ件御裁可  
アリ

今朝毛利子入來川路子入來海江田高崎子入來九時參 朝 親臨魯西亞全  
權公使大榎榎本に被命候筋伺濟尤海軍中將ニ任シ追テ公使ヲ被命候筋ニ  
御治定一字内務省に出席四字歸ル田中周藏子杉浦子吉原子西郷子入來

正月十三日 火曜

今朝宇和島<sup>(伊達宗徳)</sup>侯山田子入來九時過參 朝一字内務出席四字退出原田氏兒玉  
氏森山子坂部子等入來

正月十四日 水曜

琉球郵便船ノ件  
岩倉公噴違ニ於テ  
刺客ノ爲メ傷ツク

今朝伊地知子<sup>(貞徳)</sup>入來琉球驛遞郵便船ノ談有之九字太政官參 朝二字内務  
省出席四時退出今夕西郷子入來ノ處十字過吉井子ヨリ一封來ル岩倉右大  
臣殿 皇居參 内歸途喰違御門ニ於テ狼藉者馬車に切掛御怪我有之直ニ  
宮中<sup>(貞徳)</sup>に御立歸リ相成候趣宮内省ヨリノ報知有之趣ナリ依テ條公に早々一  
封差上川路に取締云々之義申遣西郷子同道赤坂 皇居に參内直ニ岩倉公  
に御逢申上候處眉下の一ヶ所腰ニ一ヶ所薄疵ニ格別ノ義ニモ無之大ニ

安心イタシ候三條公勝子大木子寺島子追々ニ出席大隈不參四字比退出寺島子一泊

正月十五日 木曜

今朝島津忠寬殿九字寺島子同道參 朝昨夜岩倉家變事神奈川の人差出其餘最寄ノ縣に取締向等申遣候二字警保寮に出席探索手配等相談ス内務省に出席五時歸宅今晚岩山子岸良子西郷子山縣子入來非常ノ處分云々ノ示談有之

正月十六日 金曜

今日休日不參在宿前島子得能子黑田子吉田子武井子杉浦子川瀬子等入來  
正月十七日 土曜

今朝八字前ヨリ條公亭に參上參議一同參集此上政府御處分ノ義ニ付御評議有之十一字

皇居に參 内條公大木子一同 御前ニ被召岩倉家變事ニ付亦夫實ニ不容

勅シテ岩倉右大臣ノ刺客ヲ捕ヘシム

易大事深 御心痛被爲在探索方如何之手順ニ候哉之

勅語有之粗形行言上今日迄罪人不捕得職掌ニ於テ恐縮ノ段申上候退出岩

公に御見舞正院出席三字警保寮に出席今日

勅語之趣相傳候内務省に出席五字退出松方子黑田子吉原子小警視槍垣子

兇徒武市熊吉等縛ニ就ケ

入來凶徒ノ内武市捕縛ノ旨届有之十二字比又同人入來凶徒四人召捕候旨

御届有之

正月十八日 日曜

釋大裁判處置ノ件

今朝七字過北代子入來條公御入來山縣子ヨリ坂元子云々ノ相談有之丁野

入來九字副島子に參黑田子坂元子樺太裁判處置云々ノ相談ス十字過

皇居に參内昨來ノ形行達 御聞次ニ岩倉公に御見舞十二字正院に出席三

字警保寮に出席直ニ内務省に出席五時前退出山下常藏子入來云々相托黑

田氏杉浦子西郷子三條家丹羽入來

正月十九日 月曜

海軍定額ノ件ニツキ朝議アリ

今朝海江田子吉原子川路子入來九字參 朝 親臨海軍定額ノ事御評議有之八字内務省出席五字前退出松方子石原勝子西郷子入來

正月廿日 火曜

今朝得能子入來九時參 朝小楯云々ノ事有之二字退出警保寮ハ出席云々相逢内務省出席四字退出條公ハ參上云々御示談有之五字歸宅今夕來人ナシ

正月廿一日 水曜

今日休暇不參入字鷺尾<sup>(薩摩)</sup>卿森山子田中子兒玉子入來得能子入來一字岩公ハ參上今日

岩倉公赤坂御所ヨリ歸邸

皇居ヨリ御退出アル故御見舞申上候二字過二本板邸ハ至ル五字前歸宅川路子黒田子入來西郷子入來

正月廿二日 木曜

今朝九時參 朝二字内務省出席五時退出條公ハ參上六字退出川路子入來

正月廿三日 金曜

車駕日比谷ニ臨ミ軍旗親授式ヲ行フ

今朝山田氏村田氏入來今朝聯隊授旗式有之日比谷操練場ハ 行幸ニ付向十時三十分

臨幸御式有之御手旗ヲ御渡シ有之其式嚴重不堪感銘十二字前相濟 還幸直ニ歸宅一字内務省ハ出席五字退出木戸子入來條公御出省有之

正月廿四日 土曜

英國公使來訪 今朝岩公ハ參上十字前正院ハ參昇二字内務省出席四字前退出英公使ハ一クス入來通辯サト一杉浦氏入來六字ヨリ條公ハ參上 久光公ノ事ニ付御談有之九字歸邸松方入來一泊

正月廿五日 日曜

今朝八時岩公ハ參上十字前參 朝有 親臨木戸子文部卿拜命二字内務省出席四時退出大隈子ハ立寄歸邸

正月廿六日 月曜

木戸子文部卿ニ任ス

臺灣及朝鮮事件ノ  
調査ヲ命ゼラル

今朝早川子入來八字ヨリ奈良原子海江田子入來 久光公ノ事ヲ示談黒田  
子表田子入來十時ヨリ條公(保良衛)ニ參上大隈子入來ニテ臺灣朝鮮ノ引受内調  
ノ事御示シ有之御請申上候十二字歸宅二本榎邸ニ至リ伊地知ニ立寄五時  
歸副島子入來支那談判ノ手順ヲ承ル

正月廿七日 火曜

今日川路子入來九字過參 朝二字内務省出席四字前測量司ニ出席御履教  
師ニ面會歸邸西郷子大原子等入來

正月廿八日 水曜

今朝土木助石井子(省二部)入來十字前參 朝五字退出

正月廿九日 木曜

今朝本山茨城縣權參事入來九字岩公ニ至ル 久光公ノ事ニ付言上且樺太  
處分榎本公使御含ノ義寺島氏伊藤氏内調ノ義猶御評議凡一定ニ就テ決  
斷ノ事誠ニ不容易義候得モ漫ニ不可決事ナカラ朝鮮義務上ノ一條有之候

岩倉公ヲ訪ヒ久光  
公ノ件樺太處分朝  
鮮問題等ノ件ヲ切  
論ス

ヨリ云々最初ヨリ立論候得ハ彌跡朝鮮御着手ノ順序何ク迄モ御居リ不相  
成候テハ不被爲濟旨切迫言上イタシ置候十時參 朝條公ニ猶言上二字内  
務省出席五字前退出田中子入來

正月卅日 金曜

孝明天皇祭  
李仙得ヲ招キ臺灣  
事情ヲ聽取ス

今朝茨城縣參事關氏(新平)入來大木小野子入來九時四十分赤坂ニ參 朝  
孝明天皇就御祭禮參拜十一字退出兒玉子入來十二字延遠館ニ差越李仙得  
氏相招臺灣事情承リ候大隈子柳原子(前光)鄭子(永寧)同會之五時歸西郷子入來

正月卅一日 土曜

今朝九時參 朝二字内務省出席五時退出奈良原子木戸子杉浦子吉原子入  
來

二月一日 日曜

三條公因循ノ態アリ

今朝島田秋田縣七等出仕入來九時岩公ニ參上魯國朝鮮處分云々ニ付條公  
少シク曖昧ノ御容子有之十分御責申上置候二本榎邸ニ至ル西郷子吉原子

上野子<sup>(高橋)</sup>入來二字歸宅大隈子柳原氏鄭氏入來臺灣ノ一條云々示談イタシ候

二月二日 月曜

今朝橋口子吉田子入來十字外務省に李仙得の訪ヒ大隈子鄭柳原白井云々ノヲ談ス二字參 朝三字内務省出席五字退出西郷子入來三木子入來

二月三日 火曜

今朝黒田子古谷子<sup>(朝一)</sup>林子等入來十時過參 朝二字内務省出席佐賀縣云々ノヲアリ五時退出今夕松方子高崎子吉原子入來

二月四日 水曜

今朝西郷子入來佐賀縣士族暴動ニ付鎮臺兵云々ノヲ談ス同車正院參

朝岩村佐賀縣令の御委任云々陸軍省の御達等相運ハセ候二時内務省出席五時退出今晚黒田子入來白井子入來十一字頃安藤子<sup>(明命)</sup>入來

二月五日 木曜

今朝伊地知氏海江田子西郷子等入來岩公依招參上朝鮮事件木戸子云々條

公御配慮云々内談有之參 朝二時内務省出席五時歸石原子岩山子吉井子入來

二月六日 金曜

今朝岩崎縣大屬大河平某<sup>(陸)</sup>入來九時岩公に參上參議一同會集臺灣一條相議シ凡決定有之安心イタシ候十一時上野子依招參ル「ランチ」響應アリ二時高

二月七日 土曜

今朝土木權頭石井氏七等出仕石井子<sup>(邦也)</sup>村田大丞吉田田中池田子等入來十字參 朝福岡縣其外廣島鎮臺出火長崎出火蓮池城出火之電報有之候ニ付小子是非實地ニ派出シ處分イタシ度旨建白イタシ候十二字后内務省出席四字退出ヨリ岩公に參上猶出張之義歎願歸宅今晚西郷子の參リ陸軍省手當

二月八日 日曜

ノ事ニ付云々示談イタシ候

福岡廣島長崎蓮池等出火ノ電報アリ利通自ラ出張處分セント請フ

今朝北代子入來九時木戸氏の尋問小子九劾表出張云々ノヲ談ス至極同意ナリ十一字參 朝條公ヨリ云々御談有之候得共猶十分言上岩公に申上トノヲニ付直ニ參上心事ヲ言上ス甚異論アリトイヘル赤心懇々切迫ニ申上ル尙條公御談可有之云々ニテ引取正院參昇二字内務省出席五時歸宅木戸子入來條公の出頭シテ小子進退ノ事彌願通御許可ノ旨同人ヨリ承ル

二月九日 月曜

利通九州出張ノ件  
聽許セラル

今朝九時參 朝小子九州行ノ事御伺濟ニテ拜命ス二字内務省に出席五時前退出岩公に參上六字退出西郷子に至リ大坂兵士繰出シノヲ談ス九字歸

二月十日 火曜

陸軍省ニ至リ西郷  
從道野津鎮雄等ト  
商議ス

今朝村田子其外入來十字參 朝二字内務省に出席三字陸軍省に至ル西郷子野津子に面會歸宅黒田子入來五字前 皇居に參 朝條公大原殿宇和島殿一同

御前ニ於テ會食ヲ  
仰付ケラル

御前ニ於テ會食被 仰付七字退出木戸子に訪十一字歸石井子入來

二月十一日 水曜

今朝隈岡士白川鎮臺着ニ入來山田子入來松平子入來大原子得能子木場子等入來十二字ヨリ二本榎邸ニ至ル吉原得能同行松方子吉田子入來四時歸西郷子野津子入來軍議ヲ定ム六時ヨリ條公に至ル參議一同野村某九劾ヨリ被歸報知アリ

二月十二日 木曜

今朝來人多シ十一時參 朝二字内務省出席中井子石原子等入來

二月十三日 金曜

今朝來人多シ橋本<sup>(實業)</sup>子其外之十一字赤坂 皇居爲御暇乞參内謁見被 仰付懇々ノ 勅語ヲ蒙リ不堪感佩候十一時正院參昇二字内務省出席三字退出岩公に參上退出木戸子入來今晚吉井子得能子松方子吉田子西郷子岩下子安藤子野

利通ニ優勅ヲ賜フ

崎子岩山子其外來人多シ

二月十四日 土曜

久光公鹿兒島差遣  
ノ旨朝命アリ

今日早朝濱丁 久光公の御見舞尤鹿兒島に被差越候御沙汰御承知ニ付參

上十一字退出吉井子得能子西郷子黒田子吉原子松方子等入來二字汽車ヨ

利通東京ヲ發シ横  
濱ヨリ乗船

リ横濱に至ル高嶋屋旅宿今度佐賀出張ニ付隨行之官員一同前行相送ル人

大隈子伊藤子大木子得能子吉井子松方子吉田子吉原子等之四字各告別北

海丸に乘船五字出帆今夜風強

二月十五日 日曜

終日航海風浪烈シ

二月十六日 月曜

大坂ニ至ル

今日天氣穩五字比神戸港に着則小蒸氣ニテ大坂に至ル途中不埒明二字大

坂に着四字比野津子入來

二月十七日 火曜

大坂鎮臺佐賀出兵  
ノ準備ヲ了シ利通  
等發船

今朝來野津子三浦子等會議出兵ニ付種々評議其餘船用意等凡談決ス諸方

ヨリノ報知等有之候且又佐賀縣戰端相開キ候報知モ有之彌心決一同人心

モ振ヒ仕合之稅所子五代子等モ入來今晚五字旅宿ヲ發ス兵隊護衛運上所

休息是ヨリ二大隊行軍一列ニテ川口迄至ル是ヨリ乘組コスタリカ之類船

二艘十二字出帆今日天氣穩神戸に泊船

二月十八日 水曜

今朝七字比出帆天氣穩終日瀬戸内航海終夜曉六時比馬關ニ至ル今夜船中

馬關ニ至ル  
諸縣へ布告ヲ出ス

ニテ諸縣布告其外諸縣に出張等各々相達ス

二月十九日 木曜

今朝馬關ニテ夜明ク當所の白川鎮臺ヨリ一人小倉縣ヨリ官員兩人出張待

博多ニ上陸福岡ニ  
木營ヲ設ク

受双方情實承ル十二字前博多に着船則上陸福岡縣市中に本陣相設ク權參

事山根某則出張有之諸手當ニかゝる有龍九九字着佐賀縣賊徒模樣當國界

佐賀ノ賊徒三藩ニ  
迫ル

三藩トイヘル所に出兵斥候等差出猖獗ノ模樣可惡當所ハ先無事候得共方

向確定与申譯ニ至ラス今晚五字比休息

二月廿日 金曜

北海丸ニテ兵隊着  
ス官軍三道ヨリ賊  
ヲ進撃ス

今日早天北海丸着午后兵隊上陸大安心今晚ヨリ佐賀領平等寺萩原二日市  
三道ヨリ兵隊進撃追々之探索ニテ敵情モ相分殊ニ三潞縣ヨリ岡部某佐賀  
縣ニ入江東ニ面會云々ノ情實モ相分候言語同斷反罪著シ

二月廿一日 土曜

賊兵飯場村ニ至ル  
ノ報アリ

今日三潞之賊兵進入ノ様子追々斥候ヨリ既ニ飯場村与イヘル處迄來レリ  
トノ注進ナリ當所ヨリ三里位ノ距離ニテ進軍跡一中隊警衛兵相殘手薄ニ  
モ有之貫屬隊組立出兵ノ都合取計候四字頃本營ヲ城内ニ移ス飯場之賊兵  
引タル由注進アリ今日轟木迄官軍相進戰爭ナシ

二月廿二日 日曜

官軍中原ニ賊ヲ破  
ル

今日官軍中原ニ打入戰爭アリ朝日山ヲ取愉快ノ一左右不堪欣悅晝後城内  
見物イタシ候今晚ニ掛追々吉左右有之賊敗走盡ク村落ニ放火シテ去ル仍

戰地點檢ニ赴ク

テ四方火起リ十八ヶ所ニ燃上リ候由官軍ハ宮崎邊ニ進撃中原ニ陣シ候由  
今晚東京大坂廣島鎮臺ニ報知書ヲ出ス

二月廿三日 月曜

轟木村ニ泊ス

今朝七字過ヨリ戰地點檢トシテ出張田代迄馬上ニテ至ル山田子岩村子同  
行是ヨリ人力車ニテ轟木中原ヲ經猶砲戰ノ實場ヲ見ル今朝ヨリノ戰初テ  
烈ク死傷多クシカレトモ盡ク勝利ニテ終ニ神崎迄押寄陥レタリ中原ニ夫  
白川鎮臺兵ト前山<sup>(第一郎)</sup>ノ兵登衛シタリ其實地ノ形狀誠ニ勇シク相見得候五字  
轟村ニ歸ル當所ニ轉陣ニ決シ石井子ヲ福岡ニ返ス今夜半北代子米田<sup>(五郎)</sup>ヨリ  
使着

二月廿四日 火曜

コケノ村ニ於テ佐  
賀權令岩村高後ニ  
會シ情報ヲ聞ク

今日早朝山田子福岡ニ發ス十字比ヨリコケノ村官軍陣營見舞トシテ岩村  
權令同行野津少將渡邊<sup>(善忠)</sup>少佐其外ニ面會連日ノ勞ヲ慰シ戰地ノ實況ヲ聞今  
日休戰ニテ佐賀城下ニ大斥候ヲ出シ候由ハ山田子談合廣島臺兵山口小



倉兩縣長崎縣屯集海兵大村貫屬兵進入之件野津少將始に相談シ候四時頃  
辭シテ歸ル今日石井子等福岡ヨリ來ル三潯縣權令岡村(義高)尋問トシテ來ル北  
代子一同歸縣今夜半武井少丞着今日コケノ村ヨリ歸ニ付護衛兵并ニ永山(武四郎)  
岸良兩子同行ス

二月廿五日 水曜

東京へ戰地報告ヲ  
出ス  
今日大分縣權參事黒水長造尋問トシテ來ル白川縣權大屬矢野達同中屬增  
田知同行陸軍八等出仕吉澤小倉縣ヨリ來ル今日東京に昨日ノ戰地報告ヲ  
出ス

二月廿六日 木曜

米田侍從來ル  
今朝渡邊小佐入來明日進擊之事等其外示談ス野村權參事穗波半太郎等福  
岡ヨリ來ル米田侍從白川縣ヨリ來ル白川縣情實ヲ聞士族モ一定シテ今日  
ハ少モ懸念ナシ

二月廿七日 金曜

戰況視察ノ爲メ境  
田町ニ至ル

今朝官軍進擊ニ付戰地點檢トシテ十字后ヨリ米田侍從河野中判事石井同  
行境田町ニ至ル凡三字比ナリ今日ノ手配三方ニ分チ一手ハ山手一手ハ本  
道一手ハ蓮池に向ヒ三方共黒烟揚リ砲聲掩耳境田村ハ本道ノ兵乘入町屋  
半ハ燒失敵ハ三方ヨリ砲發三字間位之間不止賊ハ必死ノ防禦ト見へ間々  
賊ヨリ大砲ヲ發ス官軍モ大砲ヲ發其響雷ノ如シ戰酣ナル頃賊后ヲ絶タル  
トノ說アリ五字比陣ヲ引テ歸ル境田町ハ佐賀城ヨリ一里餘有之要所ニテ  
賊モ最期ノ戰ト見ヘタリ此日九字迄相戰終ニ敗走シタリ

二月廿八日 土曜

久光公ノ使者來ル  
木原義四郎軍門ニ  
來リ歎願書ヲ呈ス

今日 久光公使ニ(中左衛門)中山和田兩人入來應答河野中判事同席十二字岸良子  
戰地ヨリ報知アリ其趣今朝木原義四郎軍門ニ來リ歎願書ヲ出ス渡邊小佐  
東郷兩人應答其文面不敬ノ趣アリ依る差返ス三字迄ニ決答セヨトノ旨ヲ  
達スル趣ナリ三字比ヨリ本陣ヲ蓮池ニ轉ス四時比同所ニ着ス野津少將渡  
邊少佐始ニ會シ猶巨細ヲ聞三字比再度木原副島兩人來リ歎願書ヲ出ス同

斷文意恭順ノ意ヲ失スルニヨリ返シタルヨシ尤木原并從者ハ拘留シタルトノ事ナリ今夜八字比又書面ヲ以テ云々ノ義申來ル仍亦明十字迄降伏ノ實行ヲ舉ケサレハ王師ヲ向ル旨ヲ返詞ス

三月朔日 日曜

官軍佐賀城ニ入ル利通等宗龍寺ヲ以テ本營ト爲ス  
江藤新平島義勇等  
今日十字ニ至ルト雖モ返詞ナシ十字過官軍ヲ繰込無恙佐賀入城二字比ヨリ拙者始メ山田河野等同佐賀宗龍寺本陣ニ着賊ノ有様ヲ探クルニ江藤島始メ巨魁ノ者遁走兵ハ解隊何モ異條ナシ故ニ則探索捕亡ノ手順ヲ立諸縣ハモ夫々達方取計候長崎口ヨリ打入ノ海兵隊大村兵ハ昨夜當所ニ着ノ趣ナリ

三月二日 月曜

江藤等追捕ノ爲メ  
巡査ヲ鹿兒島ニ派  
米田侍從歸京發途  
今日江藤等ニ探索追々足跡相分リ巡査鹿兒島等ニ派出ス  
今日米田侍從形行 奏聞ノタメ歸東書狀等差出ス

三月三日 火曜日

今日谷干城入來云々示談明朝返詞可致トノ事ナリ開拓使ヨリ園田外ニ一人着ス岸良永山兩人天草ニ探索トシテ發ス

三月四日 水曜

今日野津始福岡ニ到白川縣鎮台ニ行ク東郷傳令使東京ニ歸ル谷干城ヨリ返詞有之態本ニ歸爾后當縣廳ニ出席ス

三月五日 木曜

舞鶴丸出帆ノ件  
暴徒數名ヲ捕縛ス  
今朝前山氏入來舞鶴丸出帆ニ始末ニ付探索ニ次第承ル晝后ヨリ隊長召捕  
トニ付取調有之今日捕縛數名有之

三月六日 金曜

今朝無事園田子等歸營午后四時比ヨリ市街微行薄暮歸營今夕西村子小城ヨリ歸來ノ届有之武井小丞福岡ニ行

三月七日 土曜

今日無事東京ニ報知取調等有之今朝河野大檢事杉本等入來有之候今晚岩

村子与園基

三月八日 日曜

江藤島等鹿兒島ニ入ルノ報アリ

今日十二字比園田彦左衛門 久光公ノ使者ニテ參彌鹿兒嶋ハ江東島等ノ賊遁逃之趣承リ安心イタシ候中川外ニ二人ノコトニ付云々承リ候得共決答イタシ置候園田歸縣ニ付御用狀并園田開拓十三等出仕差添遣候午后縣廳ニ至ル司法省ニ至ル今晚高嶋侍從番長着(御之助)小生始一同爲御慰勞御使ナリ

高島侍從東京ヨリ至リ利通等ニ慰勞ノ御沙汰書ト酒肴料ヲ賜フ

御酒肴料五十圓御書付ノ御沙汰書ナリ

小子ハ拜領恐縮之至リニ候高島子ヨリ東京情實承知條公岩公ノ御書送與アル

三月九日 月曜

鹿兒島權令ノ使者來ル

今日十一字比鹿兒島縣ヨリ和田某權令使トシテ來ル尤去ル二日發足ノ由昨日園田口上ハ相違ニテ意外ニ付十分申含メ即刻差返シ候河野中判事入來爾后山田子高嶋子石井子同行城ノ外廓ヲ巡回ス

三月十日 火曜

高島侍從ヲ征討總督嘉彰親王ノ營ニ差遣ス

今日 征討宮(高島王)ハ高島侍從ヲ差出候趣意ハ鹿兒島ハ賊巨魁之者遁逃今日捕縛護送ノ一報候ニ付宮ヨリ參謀ノ内御人撰ヲ以テ同縣ハ被差越度云々ノ趣ナリ今夜半鹿兒島縣ヨリ坂元嘉二郎來ル

三月十一日 水曜日

今日無事午后山(高島)子長崎ヨリ來ラル晚景寬步西(久字)屋ハ至ル今夜半園田

島義勇等十名就縛ノ報アリ

黒木直右衛門大山權令ノ使トシテ來ル島始拾名餘捕縛之旨一報知アリ今晚參謀福原着

三月十二日 木曜

今日午后二字福原大佐鹿兒嶋ハ發メ石井子ト歩行ス五字比野津少將高島侍從福岡ヨリ着今晚河野燒失取調濟歸ル

三月十三日 金曜

今日野津子高島子入來午后城外ヲ歩ス五字比ヨリ杉本氏之宅ニ至ル

三月十四日 土曜

嘉彰親王佐賀ニ至

今朝野津子高島子入來野津子白川鎮臺行トシテ發足午后一字比 征討總督宮着陣曉迄ノ形行上申兵事關與スルノ事件引渡申上候岩村子山田同行寬步今晚鹿兒島縣巡查兩名着遠武(秀行)ミ刀(三刀屋七郎次)ヤ岸良等内々ノ書面到着

三月十五日 日曜

今朝無事午后 總督宮御出有之

三月十六日 月曜

雲揚艦ニテ烏義男等ヲ護送シ來ル

今朝調所廣丈着條公岩公ヨリ御昏面且速ニ引取候様云々ノ御托言有之候午前十一字比雲揚艦到着三刀屋兵頭權參事等乘船賊島以下拾七人護送三刀屋兵頭ヨリ形行承候西村七等出仕モ歸ル船越(船)戶藉權頭廣島ヨリ來ル

三月十七日 火曜

今日兵頭權參事歸縣云々申合高島子入來調所子入來午后高島山田山口等同道上佐賀舊知事別邸(邸)ニ歩ス庭園甚佳ナリ

三月十八日 水曜

今日調所子等入來

總督宮(邸)ニ兵事關係ノ義御引渡ノ云々付電報ヲ打タリ高島侍從(邸)ニ相含メ明日發足ノ事ヲ談ス今晚 宮(邸)ニ謁ス

三月十九日 木曜

嘉彰親王ニ陪シ鍋島家ノ別莊ニ遊ブ

今朝高島子入來御用狀等托ス直ニ福岡(邸)ニ向ケ發足 總督宮依召參上白川(邸)ニ御巡回云々ノ御談有之云々御含申上ル午後 宮上佐賀舊知事別莊(邸)ニ御遊覽依御招陪ス櫻花欲開天氣暖(邸)和隨分佳興ナリ十一字歸宅渡邊大丞着

三月廿日 金曜

今朝調所子入來柳田子入來日州表諸港探索トシ出スヲ談ス今晚十二字后福原大佐岸良大檢事遠武秘書官鹿兒島ヨリ到着江東日州表戶之浦ヨリ八名出船(邸)ニ趣ナリ仍(邸)手配ノ議ニ及

三月廿一日 土曜

江藤新平等日向戶ノ浦ヨリ乘船逃走ノ報アリ

岸良西村遠武等ヲ  
賊徒搜索ノ爲メ出  
張セシム

今日早朝岸良北海丸ヨリ大坂(飛騨)西村猶龍丸ヨリ四國(飛騨)の遠武雲揚艦ヨリ四國中國諸港探索トシテ出發セリ午前川上子渡邊子白川ヨリ着ニテ入來午後總督宮(後)に參上

三月廿二日 日曜

今朝安藤子着ニテ入來午後大田(能登)黒子東京ヨリ來着ス内務省に出席有之候様相達ス今朝 宮白川(長連)に爲御巡回御立

三月廿三日 月曜

今日無事安藤子入來今日増田(長連)議官中國に云々達セリ岩村權令四國に出張同斷

三月廿四日 火曜

今日宮本營所に轉ス三刀屋安藤岩村權令同行ヲ達ス三浦寺田(芳介)増田同行ヲ達ス各今日發足今晚岩村園基山口渡邊等同席

三月廿五日 水曜

江藤四國ニ上陸ノ  
報アリ

今日岩村渡邊山田等出席例之通宮崎縣ヨリ江藤乘込ノ船歸來宇和島に上陸ノ旨申出候由届有之則岩村權令福岡に通ス

三月廿六日 木曜

今日無事岩村渡邊山田等出席如例

三月廿七日 金曜

今日山田渡邊岩村山口等出席如例河野權大判事出席五字ヨリ山田少將同道(後)ドクトルスローン招ニ依病院ノ宅に至ル食事有饗應

三月廿八日 土曜

今日山田少將岩村等出省如例午後寛歩上佐賀邸ニ至櫻花半開旅情ヲ慰ムルニ足ル五字比歸ル山口子旅宿ヲ訪ヒ歸館今夜西村ヨリノ報至ル

三月廿九日 日曜

今日山田少將岩村山口少輔河野權判事等出席

三月卅日 月曜

川上村ニ遊ブ

今日岩村子山田子有出席午后三人同道川上村ニ至ル佐賀ヨリ凡三里宗龍實相院ニ至ル喫茶一茶店ノ樓ニ上ル川流ニ傍前堤櫻花有數株景色最好酌酒而歸ル

三月卅一日 火曜

今日山田子岩村子出席如例

四月一日 水曜

今朝高知縣ヨリ香月外三名捕縛ノ報知有之山田岩村子等出席如例午后寛歩歸

四月二日 木曜

今日岩村山田子出席如例午后寛歩夕刻兵庫雲揚艦長今井ヨリ江藤以下九名高知縣ニテ捕縛之旨報知有之實ニ雀躍ニ堪ヘス岩村山田西村等一盃ヲ傾ケ各詩歌ヲ詠シ至情ヲ盡ス

四月三日 金曜

江藤新平以下九名  
高知ニ於テ捕縛ノ  
報アリ

高島侍從再ビ東京  
ヨリ至リ御沙汰書  
ヲ傳フ  
判任官以上ヲ招キ  
慰勞ノ宴ヲ催ス

今日岩村山田等出席如例午前高島侍從東京ヨリ着 御沙汰書之趣拜承大ニ安心午后岸良大檢事兵庫ヨリ着今晚勅任ヨリ判任ニ至ルマテ響應イタシ各盡歡賊敗走數日ヲ經捕縛スル不能實ニ苦心不可言今夕始ル安心セリ

四月四日 土曜

今日岩村山田等出席如例今日河野岸良入來午后岩村山田船越同道上佐賀邸ニ至櫻花爛熳眞ニ可賞傾一盃飲數刻而歸

四月五日 日曜

今日杉本園田東京ニ歸ル今朝宿ヲ轉ス高知ヨリ中警部報知トシテ歸ル江藤ノ書類等來ル高島白川ヨリ歸 宮明日御發當地ニ御着船ノ報アリ午后山田岩村子同行寛歩

四月六日 月曜

今日山田少將岩村五等出仕渡邊大丞出席河野大判事岸良大檢事等入來午后早津ニ至ル 宮就御着御出迎トシテ山田岩村同行今日汐都合不宜御上

陸不相調旨ニ付歸ル山田岩村入來

四月七日 火曜

今日 東伏見宮昨夜十二時早津に御上陸今朝八字御立之旨報知アリ武井少丞御出迎トシテ遣ハス十字后 宮御着則御見舞申上候猶龍艦江藤始九人之賊護送早津に着船西村七等出仕岩村權令三刀屋永山岸良子等着高知表捕縛之様子承ル五字ヨリ中島久藏糺明ニ付聽聞トシテ裁判所に行

四月八日 水曜

擬律何尤サル

今日山田少將岩村四等出仕出省如例河野大檢事ヨリ擬律何有之評決之上宮に相伺御異存無之伺之通リニ相下ケ候今夕 宮并東郷高島等入來宮崎縣ヨリ谷村入來今日裁判所は

四月九日 木曜

今日岩村山田等如例出省有之宮崎縣官員谷村に面會十字比ヨリ 宮に隨

江藤ノ陳述曖昧笑フベシ副島朝倉香月山中ハ稍人物ナラン

北代正臣支那ヨリ歸朝佐賀ニ至ル

從裁判所に至リ江東其外ノ詰問ヲ聞江東陳述曖昧實ニ笑止千万人物推知ラレタリ只賊中間ラシキモノハ副島朝倉香月山中ノミ午后ヨリ 宮隨從河野ノ邸に至ル御饗應有之櫻花未殘ニ春日暖佳興ヲ盡ス 今日北代支那ヨリ歸朝當縣に着ス

四月十日 金曜

今日岩村等出席如例

山田平藏以下四名捕縛ノ報アリ

中國に差出候三浦寺田兩子備後鞆之津に歸來鹿兒島縣に大山權令書札佐々木彌七郎持參山田以下四名捕縛ノ趣ナリ 今朝高島子東郷子高橋子等入來今晚河野子入來

四月十一日 土曜

今朝永山發足條公岩公に書ヲ呈ス鹿兒島縣佐々木發ス大山權令返書ヲ出ス今晚岸良子高島子東郷子安藤子入來

四月十二日 日曜

河野敏謙岸良兼養  
ノ兩士江藤島以下  
王ノ決裁ヲ請フ

今日福崎<sup>(神之丞)</sup>少尉昨夜着ノ旨ニテ今朝面會野津少將ヨリ使ナリ今朝高島子發  
足午后河野權大判事岸良大檢事江藤一列島一列斷刑伺持參故岩村山田武  
井一同 宮<sup>(神)</sup>に出頭裁決ヲ乞伺之通相濟口書一席ニテ讀上ケ終<sup>(神)</sup>河野子<sup>(神)</sup>  
返ス

四月十三日 月曜

賊徒ノ處刑ニ臨ム  
江藤醜態アリ

今朝五時出張裁判所<sup>(神)</sup>出席今朝江藤島以下十二人斷刑ニ付罰文申聞カセ  
ヲ聞ク江藤醜態笑止ナリ朝倉香月山中等ハ賊中ノ男子ト見エタリ刑場ニ  
引出サレ候上モ分<sup>(神)</sup>山中乙名シク刑ニ就キタルヨシ八時比引取今日都合  
克相スミ大安心シカレ<sup>(神)</sup>數人ノ壯士ヲ切ル中ニ香月等ノ如キ可憐モノモ  
有之

皇國ノ爲トハ申ナガラ頗ル慨スルニ堪タリ今晚安藤立ッ東京<sup>(神)</sup>報知ノ爲  
ニ向フ

四月十四日 火曜

宮御出艦長崎<sup>(神)</sup>御着ノ筈北代長崎<sup>(神)</sup>行

今日山田少將岩村四等出仕等出席如例午后河野權大判事岸良大檢事擬津  
伺有之伺<sup>(神)</sup>之通許可七字小岸良<sup>(神)</sup>同行寬步河野權大判事旅宿ヲ訪ヒ歸館

四月十五日 水曜

西郷從道至ル臺灣  
事件及東京事情ヲ  
聞ク

今朝三刀屋子三浦子爲暇乞入來午后寬步山田少將河野今日相發長崎<sup>(神)</sup>向  
候今夜一字比西郷中將着ニテ徹夜相咄シ臺灣事件東京事情等承ルクルツ  
<sup>(欠文)</sup>ノ高島<sup>(神)</sup>咄シクレ云々

四月十六日 木曜

西郷從道長崎ニ向  
フ

今朝八字西郷子長崎<sup>(神)</sup>發岩村渡邊等出席午后河野岸良出席伺物有之山田  
始糺明<sup>(神)</sup>之次第承ル口書今日中出來候趣今晚山田外三人擬律伺有之評決伺  
之通今明日發足ニ付河野權大判事岸良大檢事岩村權令野村權參事其外内  
務省一列相招饗應判任以下ハ一同酒肴被下候

四月十七日 金曜



利通佐賀ヲ發シ福岡ニ至ル

今朝就出立岩村縣令野村權參事渡邊大丞西村判官其外爲暇乞來人有之凡九字出立岩村四等出仕石井西村等隨從武井少丞殘置十二字轟驛ニテ食事七字福岡(金澤)に着立木權令小根權參事入來二口屋與兵衛所(旅宿)

四月十八日 土曜

博多ヨリ乘船

今朝六字高連丸(船)に乘船九字比出帆四字比馬關(船)に着上陸河野七等出仕案内ニ至ル酒肴ヲ饗シ六時乘船出帆福原大佐馬關ヨリ便船ニテ今晚部屋(旅宿)に來

四月十九日 日曜

神戸ニ上陸

今朝未明豫州路ニカ、ル十字前御手洗前ヲ航ス今日天氣快晴山水之景不可言今晚九字過神戸(船)に着直様上陸專崎ト申處ニ旅宿

四月廿日 月曜

汽車ニ乘リ大坂ニ至ル

今朝神田(手)令稅所(所)令大坂權知事等入來午前神田渡邊稅所岩村西村同道某別莊ニ至ル眺望尤美二字ヨリ鐵道汽車ニテ大坂(船)に至ル渡邊稅所岩村福原大

佐同行ナリ一字間ニテ大坂ニ着則櫻宮ニ至ル花少シク遅シサレトモ見物人多シ暫ク逍遙シテ三橋樓ニ着今晚稅所子旅宿ニ一泊

四月廿一日 火曜

今日 宮御上坂ノ電報アリ大坂權知事稅所岩村同道天神橋(小橋)に御出迎イタス處上坂御止リノ電報アリソレヨリ船字(船)に參リ烏尾福原等參リ合酌酒五字頃出立外務省出張迄參リ川蒸汽無之人力車ニテ陸行六字前發シ九字三十分神戸專崎(船)に着 宮(船)に謁シ今晚十一時比 宮龍驤艦御乘船御隨行乘船十二字發艦

神戸ニ至リ嘉彰親王ヲ迎ヘ龍驤艦ニ陪乘ス

四月廿二日 水曜

今日風波少シク荒ル船動搖ス終日航海

四月廿三日 木曜

今朝益雨風強去リナカラ順風ニテ艦行速ナリ今晚九字房州立山(山)トイヘル處ニ碇泊一字ヨリ出帆

四月廿四日 金曜

横濱ニ上陸汽車ニ  
テ歸京ス出迎ノ人  
多シ

今朝八字横濱に着港高島屋に 宮御立宿拙者御同宿松方子川路子林大丞  
新田少丞等爲迎入來二字汽車ヨリ歸京ステーションへ勝子伊藤子其外徳  
大寺宮内卿安藤子黒田子伊集院子等石原出迎トシテ被參居候勝子伊藤子  
ト暫時談話臺灣事件承リ意外之事ニ候條公岩公參上歸宅伊地知子得能子  
松平子中井子石原子兄弟入來ニテ安藤子モ入來

四月廿五日 土曜

今朝得能子入來八字

皇居に參 内伺

天氣木戸子に參リ正院に參昇今日

利通嘉彰親王ト共  
ニ參内復命ス優詔  
ヲ賜フ

臨御有之 東伏見宮小生被爲召復命イタシ候終る御居間ニ被爲召甚 御  
満足ニ段懇命有之感佩仕候二字内務省に出席三字退出黒田氏入來留主中  
ノ義細話承リ候吉田子杉浦子川村子野津子等入來今日宮内省御樽御交看

就歸京下シ賜候

四月廿六日 日曜

岩倉公邸ニ赴キ臺  
灣事件及久光公一  
條ヲ談ズ

今朝林大丞前島大丞入來九字ヨリ岩倉公に參上條公御出留主中御施行ノ  
事件御咄有之第一ホルマサー一條 久光公一條等御談有之岩公に一應愚存  
申上候得共御承知無之候二字ヨリ二本榎邸ニ至ル石原田尻同行伊藤子暫  
時入來七字歸宅

四月廿七日 月曜

利通自ラ長崎ニ至  
リ臺灣出兵ノ件ヲ  
處理セント請フ

今朝川路子松平子林子前島子等入來中井子入來一字正院に參昇今度長崎  
ヨリ臺灣兵出張一條大隈西郷子報知事情分兼延引四方ノ論モ有之誠ニ一  
大事ノ國難小生實地ニ向進退處分ヲ御委任アランコトヲ乞條公に陳述參議  
中同斷岩公に參上同斷陳述則今晚條公ト御示談可被成トノコナリ五代  
子に行圍基吉原中井來ル

四月廿八日 火曜

久光公左大臣拜命

今朝昨日 久光公左大臣御拜命ニ付御伺且長崎出張云々ノ義陳述御異論

ナシ一應歸宅北島子入來中井子上野子入來一字參 内條公ヨリ長崎出張

願通被 仰付御内決ノ旨ヲ御諭シアル則御請岩公ニ參上猶懇々御談有之

利通長崎出張ノ願ヲ聽サル

林内務大丞招呼小子長崎出張被 仰付ノ次第不得止ノ趣ヲ岩公ヨリ御諭

有之候五字比歸宅得能子吉田子松方黒田子川路子石原子五代子等入來

林大丞川瀬大丞村田大丞杉浦大丞新田少丞松平少丞爲暇乞入來

四月廿九日 水曜

今朝松方子得能子安藤子石原兄弟其外入來岩公ヨリ御招ニ付參上昨夜電

信ノ趣ニ付尙御懇談有之暫時正院ニ參昇退出川路子伊地知子五代子吉原

子上野子森子等入來

利通東京ヲ發ス

林大丞杉浦大丞石井七等出仕呼寄セ御用申含候二字汽車ヨリ發ス三字高

嶋屋ニ立寄見送りノ人々得能子川路子野津子西子松方子石原子兄弟岩倉

横濱ヨリ乗船

殿息等ニ相別ル米郵船コールテン號ニ乗船五字前出帆天氣平穩

四月卅日 木曜

今日終日航海天氣平穩晚景紀州路ニ懸ル

五月一日 金曜

神戸ニ上陸

今朝八字前神戸ニ着上陸柴田屋へ旅宿神田<sup>(子)</sup>兵庫縣令長崎參事兵頭長岡等

入來二字比ヨリ常盤亭ニ至ル此日天氣清和眺望浩然無双ノ絶景終日愉快

ノ歡望ヲ盡ス入夜明月皓々金波半海ニ浮ヒ奇觀ヲ添ヘタリ八字比ヨリ月

ヲ踏テ寛歩楠公廟ヲ拜シテ旅宿ニ至ル十一字乗船四字前稅所子堺ヨリ來

レリ既ニ出帆ニ臨ミ匆々面會シテ手ヲ分ツ

五月二日 土曜

今朝四時過出帆天氣少陰風順不宜格別ノ動搖ナシ午后瀬戸内ニ至テ風波

平穩萬島ノ景色恠巖奇石直ニ滿目ノ好風景ニ乗組ノ外國人賞賛不止入夜

防州灘ニ掛ル時分ヨリ風波烈シク動搖甚シ

五月三日

湊川神社ニ詣テ

長崎ニ着ス西郷從道等來訪

今朝未明馬關ヲ過玄海ニ出ルニ天氣殊ノ外溫和ニテ終日航海無事ニ夜九字半長崎港<sup>(水)</sup>ニ着船長見源三郎宅<sup>(水)</sup>ニ旅宿則西郷子野津子東郷子武井子林子金谷子縣令宮川<sup>(房)</sup>等入來

五月四日

大隈ト生蕃處分ノコトヲ協議ス日新孟春光三邦ノ四艦兵ヲ乘セ臺灣ニ向テ發ス

今朝八字過ヨリ大隈旅宿<sup>(水)</sup>ニ訪尋生蕃處分ニ付奉命ノ權ヲ以協議決定ニ及急既ニ有功丸ヲ以厦門縣令<sup>(水)</sup>ニ公然掛合ニ及且昨日日新艦其外孟春光三邦九四艘兵卒ヲ乘セ蕃地社寮ニ向ケ昨日出帆サセタリ如此運ヒニ至リ候上ハ止ヲ得サルニヨリ此上ノ都合ヲ謀リ速ニ西郷ヲ出張サセ柳原ヲ至急差出サレ候等ノ順序小<sup>(水)</sup>子則出帆李仙得同船歸京云々別紙ニ通約定イタシタリ何レニヨセ大難ノ事故心決イタシ候午後四字比歸宿今晚大隈子野津子東郷子入來  
柳原早々渡海ノ事ヲ電報ス

五月五日

大隈西郷等ト要務ヲ約定ス

李仙得ト會食ス

今朝武井宮川西郷子等入來一字ヨリ福屋ニ於テ李仙得<sup>(水)</sup>ニ會食大隈子西郷子野津子東郷子金谷子吉原子同道之四字比歸ル今晚大隈子金谷子岩橋子<sup>(水)</sup>西郷子宮川子相招離杯イタシ候

五月六日

長崎ヲ發ス

今朝渡邊大藏大丞入來一字出立ニ付暇乞トシテ大隈子宮川子武井子金谷子西郷子入來十一字運上所ニ至ル李仙得氏通辯平井子<sup>(水)</sup>ト合シ光運丸<sup>(水)</sup>ニ乗船二字過出帆天氣平穩七字比平戸瀬戸ヲ通航ス

五月七日

今朝未明馬關ヲ通航ス十一字三田尻港<sup>(水)</sup>ニ着山田少將河野子等乗船一字過出帆今日風雨ニ<sup>(水)</sup>波穩ナラズ今晚十一字比ヨリ伊豫馬島<sup>(水)</sup>ニ碇泊暗夜ニテ航路ヲ恐ル、故ナリ

五月八日

神戸ニ至ル

今朝四字過馬島ヲ發ス雨止ミ天氣穩然タリ今夕六字神戸着船柴田屋<sup>(水)</sup>ニ宿

ス

五月九日

今日李仙得平井子同行入來陸行ノ相談有之其意ニ任ス今三字五十五分ノ  
汽車ヨリ出發坂地ニ至ル自由亭ニ宿ス今晚税所子旅宿葛城ニ尋問一泊

五月十日

堺ニ税所駕ヲ訪フ  
今朝李仙得平井子陸地出發税所氏同行五代子ヲ訪堺ニ至ル税所氏宅ニ止  
宿

五月十一日

今日税所子宅ニ逗留一泊終日無事

五月十二日

今日一字ヨリ堺ヲ立大坂ニ至ル自由亭ニ至リ河村子ニ用向相談シ奈良原  
子伊丹七旅宿ニ訪葛城ニ至奈良原子入來

五月十三日

神戸ニ至リ乗船

今朝奈良原子渡邊<sup>舟</sup>子入來九字奈良原子税所子河村子一同九字三十五分ノ  
汽車ヨリ發シ十一字神戸ニ達シ專崎ニ至ル渡邊權知事一字ノ汽車ヨリ來  
ル專崎ニ暫時休息五字前ニ一ヨロク號船ニ乗船税所子渡邊大坂知事同船  
ナリ五字出船

五月十四日

今日終日航海晚景富岳ヲ見下田沖へ至ル

五月十五日

横濱上陸歸京

正院ニ出席復命書  
ヲ出ス

今朝七字前横濱ニ着港高島屋ニ上陸黒田子石井子田尻等爲迎來ル十字ノ  
汽車ヨリ歸京ステイション迄林大丞村田大丞松平少丞武井新田少丞等出  
迎アリ直様正院ニ出席復命書差出柳原公使十九日出帆ノヲ御評決アリ  
一字退出赤坂

皇居ニ參昇拜

參内天顏ヲ拜ス

天顏退出今夕高島子野津子得能子川路子岸良子石原子兄弟等入來

久光公ニ謁ス

今朝八時前 久光公に參謁二本榎邸に至ル五代子税所子入來園基今晚岩公に參上種々有示談

五月十七日

今朝兵頭權參事西村亮吉等入來松方子同斷十字參 朝三字内務省出席退出ヨリ五代氏ヲ訪園基

五月十八日

柳原公使支那へ出發ニ付キ談判ノ要項ヲ指示ス

今朝李仙得氏平井同道入來柳原公使明日就出發臺灣生蕃談判ノ事ニ付種々及示談候十二字后參 朝二字内務省出席四字退出今夕山縣子入來種々示談アリ

五月十九日

今朝奈良原子入來十字參 朝二字内務省に出席四字退出岩公に參上六字退ク山縣子入來種々及示談候平井子前島御用有之入來アル

大隈歸京

五月廿日

今朝用客アリ十字參 朝二字退出大隈子入來今日長崎ヨリ到着ニテ入來今日五代子入來園基

五月廿一日

今朝林渡邊知事平井子種子<sup>(政明)</sup>田子入來十二字ヨリ賣茶樓に至リ五代子園基

蠶種規則ヲ議ス

五月廿二日

今朝伊東<sup>(方成)</sup>大侍醫入來野津子山田武甫林大丞入來十字參 朝蠶種規則云々ニ付御評議有之四字退出高島子入來伊藤子入來今晚津田<sup>(世)</sup>子入來

五月廿三日

今朝佐々木<sup>(高行)</sup>子黒田子松方子入來岩公御入來十字參 朝一字内務省出席四字退出高島子伊地知子青木<sup>(周雄)</sup>子等入來

五月廿四日

久光公ノ建議ト利通ノ進退

今朝岩公に參上 左府公云々建議ニ付御談有之小子既ニ進退ヲ決候外無

之云々申上退キ 左府公に參上云々申上候處條公に書面差出候ニ付一見セヨトノ御事ニテ退ク今日ハ不參午后五代子入來圍碁

五月廿五日

今朝岩公御入來猶又 左府公云々ノ事ニ付御談有小子決然御答申上候八字過 左府公に參上心事申上今日ヨリ免職ノ御沙汰奉待候段云々言上退ク仍テ太政大臣殿右大臣殿に書翰ヲ以速ニ免職云々ノヲ申上候午后條公御入來猶御談有之小子之見込ハ既ニ決定故逆モ外ニ致様無之次第申上候五代子圍碁

五月廿六日

今朝野津子黒田子松方子吉原子吉田子入來二字ヨリ得能子ニ至ル五代子ト圍碁

五月廿七日

今朝野津子兄弟種子田高島子入來津田云々ノヲ承リ候山縣子入來海江田

利通辭職ヲ請フ

子入來海子ハ 左府公ノ建白ニ付今日ニ至リ候事件論談ノ爲入來小子十分見込ヲ申上置別ニ異議無之候四字比高島子入來津田大輔ノ事ニ付談有之賣茶樓に至ル圍碁

五月廿八日

今朝石井子入來午前高島子入來二字比ヨリ高輪邸に至ル伊藤子入來今日左府公に參リ及論話候趣尤云々ニ付小子に談之義モ有之猶勘考可致云々答置候税子今日横濱に行五字ヨリ入來八字同車ニテ歸邸

五月廿九日

今朝松方子吉原子杉浦等入來午后得能子入來五代子入來圍碁

五月三十日

今朝渡邊大坂權知事入來午前黒田子入來五字過岩公入來六字比ヨリ税所子同道五代子ヲ訪圍碁

五月卅一日

開拓使草木園ヲ覽

今日得能子黒田子杉浦子等入來午后得能子杉浦子税所子同道開拓使草木園一覽ニ參ル四字歸木場子入來

六月朔日

今朝税所子同道五代子ヲ訪茶船ニ在ル今戸小野別荘ニ至ル五代子ト園基

六月二日

今朝川路子入來八字條公召ニ依參上此内ヨリ 左府公云々ニ付内々御決着相成候趣何分條理不相立事ヲ同意スル譯ニ至ラズ若斷然決答ニ及候ハ、必ス辭スルトノコトニ可至ハ案中其節ニ至リ候ハ、是非從前ニ通盡力イタシ候様云々御示諭ヲ蒙ル小子ニハ最初ヨリ斷然一身ヲ退キ 左府公御見込通リニ御決シ相成候様相願候乍去其上ノ公論ニ御決可有之 左府公辭職トナリ小子則盡力ト申スコトハ必ス情義ニ於テ安ゼザルモノアリシカレモ傍觀ノ心得ニハコレナク故ソコニナリ候得ハ又一分ヲ以奉願旨趣有之トノ御返詞申上候而退ク黒田子入來

利通ノ辭職願ニツ  
キ三條公ヨリ示諭  
アリ

左府公一條ニ付約リノ處大隈參議ノミヲ免ニナリ候而以蕃地事務長官故ノ如クト申コトニ相成候ハ、願クハ國家ノ爲意ヲ曲テ盡力イタシク度云々承リ候ニ付ソコニ折合候ハ、目今生蕃一件モ既ニ戰端ヲ開キタル由ニ候得ハ不得止コトニ付固ヨリ盡力可致云々答へ候  
今日税所子歸坂五代子松方子入來二字前新橋ステーションマテ税子ヲ送り松方子ニ至園基

六月三日

今朝池田子入來伊地知子入來得能子入來午后賣茶樓ニテ五代子園基九字歸ル野津子兄弟高島子入來云々ノ談有之勘考ノ上可及返詞申入置候

六月四日

今日河村子杉浦子高橋子入來子共ニ旅費ヲ送ル今晚木場子入來園基

六月五日

六日午后賣茶ニ至五代子園基



六月六日

久光公ノ意見緩和ス  
 今朝中井子入來黒田子入來高崎子盡力ヲ以 久光公ハ云々申上大隈參議  
 丈退キ云々之處ニ御折合有之由承リ候ニ付八ヶ條二十ヶ條建言ノ二通ハ  
 以テ可被成ヤ顯然小子名前御書載有之候ハ職掌ニ對シ出勤難致トて  
 申入猶盡力可致与ノ事ニ付引取相成候午后中井子同行二本榎ニ至ル得能  
 子寺島子五代子入來圍碁

六月七日

今朝黒田子入來昨日之返詞致承知度趣ニテ入來候得共十二字比迄延引申  
 入置伊藤子ハ差越大隈子ハ示談之儀申入置候二本榎邸ハ立寄則歸宿又黒  
 田子入來ニ付昨日承リ候趣ハ大隈子進退ニ付小子進退スルコトハ不申様ニ  
 テ候段相答候伊藤子入來大隈示談候趣何分六ヶ敷趣承候午后高島子ハ立  
 寄今晚入來ヲ約シ五代子ハ訪圍碁今晚中井氏ニテ會食九字歸高島子野津  
 子入來ニ付今度大隈進退且過日來之事件大小輕重ヲ謀リ相決候旨詳細申

大隈進退ノ件

入異議無之

六月八日 日曜

今朝五代子入來大隈子ハ示談之趣云々承候得能子石原子林子入來伊藤子  
 山縣子云々ノ事及示談候伊東大侍醫入來診察ヲ乞五代子入來圍碁吉田子  
 奈良原子モ入來今晚八字ヨリ大隈子ハ參同人進退之事ニ付十分見込ヲ論  
 シ切迫ニ申入候若同人退職ト動カサル決心ナレバ小子モ見込有之故決答  
 承リ度云々申入候處然ラハ 久光公ハ出頭明朝十分ヲ申上候上何分御答  
 可申上与ノ事ニ候十二字比引取候

大隈ヲ訪ヒ決答ヲ促ス

六月九日

今朝六字奈良原子入來大隈子 久光公ハ拜謁ノ事云々談ス安藤子入來故  
 廣澤參議不審起多正一ノコトニ付云々承ル十字后大隈子入來 久光公謁見  
 相願候得共御斷之由云々承ル黒田子モ入來奈良原子入來云々承ル二字ヨ  
 リ五代子ヲ訪ヒ八字比ヨリ大隈子ヲ訪ヒ云々示談明日返詞イタストノ事

起田正一糾問ノ件

ナリ

六月十日 火曜

外人内地旅行ノ件

今日杉浦大丞林大丞入來内地旅行ノコト外國ヨリ切迫ノ談判有之今日於正院會議故趣意兩人ハ申合メ代理トシテ差出候尾崎<sup>(三員)</sup>子入來午前松方子入來五代子入來得能子入來伊東大侍醫入來

六月十一日 水曜

大隈來訪

今朝石原子等入來十字比條公ハ參上午后大隈子入來 左府公條公ハ書面差出シ候筋決定ノ由承ル二字ヨリ賣茶ハ至ル五代子ト圍碁伊東大侍醫入來

六月十二日 木曜

今朝大隈子入來午后二時條公入來云々御談有之五代子入來松方子入來圍碁

六月十三日 金曜

今朝川路子入來九字岩公入來云々御談有之十字五代子入來十一字賣茶ハ至ル五代子ト圍碁五字過歸松方子入來伊藤子山縣子入來云々ノ談有之

六月十四日 土曜

今朝林子入來石原子入來中井子上野子入來五代子入來圍碁高島子野津子入來

六月十五日

今朝關義臣林子入來武井子入來上野子吉原子入來有馬邸家一覽訪五代子圍碁五字歸黑田子伊地知子入來云々示談

六月十六日 月曜日

今朝林子入來五代子黒田子等入來午后賣茶亭ニ至五代子ト圍碁大隈子中井子入來今日石原子ハ離筵トシテ新錢座中熊ニ至ル五代子中井子石原子兄弟等酌酒

六月十七日 火曜

外人ノ内地旅行ニ付テ議ス

今朝茨城縣參事關子林子入來云々縣情ヲ聞ク五代子入來圍碁○今朝條公亭ニ於テ外國人内地旅行之件ニ付大臣參議集會御評議有之候十二字退散  
今晚吉原子入來

六月十八日 水曜

今朝高橋某入來杉浦大丞入來九字參 朝今日外國人内地旅行ノ義ニ付御評議有之三字内務省ヨ出席四字退出松方子得能子入來寺島子入來條公ヨ參上

六月十九日 木曜

大隈一件決着  
今朝九時參 朝一字内務省ヨ出席三字退出伊藤子入來云々ニ付斷然一決ノ事ヲ談ス同人同道ナリ九時大隈子ヲ訪及談合候

六月廿日 金曜

安場中島楠本來ル地方官會議ノ論アリ

今朝福島縣令安場(保和)神奈川縣中島(保和)新潟縣楠本(正徳)同道入來地方會議ニ付及辯論各承伏九字參 朝外國人内地旅行ニ付御評議有之三字過退出吉原子高崎

子入來

六月廿一日 土曜

今朝置賜縣關義臣入來種々質問ス野津子高島子黒田子伊藤子等入來五代子入來圍碁

六月廿二日 日曜

今朝九字參 朝二字内務省出席四字退出野津子高島子入來松方子入來

六月廿三日 月曜

星亨ノ件

今朝七時前條公ヨ參上云々ノ一ニ付彌御決定ノ趣拜承安心イタシ候七字愛知縣權參事生田氏(純貞)入來事情ヲ承ル伊藤子入來黒田子入來參 朝星亨ノ義ニ付御評議有之一字内務省出席三字退出野津子兄弟高島子入來山縣云々ヲ談ス千坂子入來伊藤子同道條公ヨ至ル今日 左府公ヨ斷然御決答之次第拜承不堪感銘候又岩倉公ヨ參上云々ヲ論ス

久光公へ決答ノ件

六月廿四日 火曜

今朝野津子に訪山縣云々ノヲ承ル野津子ヨリ參 朝一字内務省出席三字退出伊地知子入來 左府公云々ノヲ談ス得能子入來大隈子入來同道李仙得ノ招ニ至ル佛法(ボツナリ)律家某入來九字退ク大隈子亦入來云々ノ事ヲ談ス

六月廿五日 水曜

谷干城等臺灣ヨリ  
歸朝ニツキ事情ヲ  
聽取ス

今朝七字條公に參上右大臣參議集會谷少將橋口少佐田中少尉從臺灣歸朝事情御聞取猶御評議有之候十字參 朝一字内務省出席三字訪山縣子留主ニテ歸石原子入來五字比ヨリ二本榎邸ニ至ル七字后歸ル

六月廿六日 木曜

今朝生田權參事入來八字ヨリ林大丞村田大丞杉浦大丞前島大丞川瀬大丞松平少丞武井少丞入來省中ノヲ談ス二字被歸大隈子に訪五代子ト圍碁

六月廿七日

今朝山縣子入來伊地知子入來九時參 朝今日ヨリ大隈子伊藤子出仕有之二子内務省出席四字歸橋口子田中子入來五時ヨリ楠本子安場子中島子入

來

六月廿八日 日曜

利通參内谷干城等  
ト共ニ陪食ヲ賜フ

今朝得能子早崎山田等入來九時參 朝十二時依召 皇居參昇谷少將渡邊(參)中佐厚東田中等御會食被 仰付條公小子モ被召候三時退出四時ヨリ賣茶ト至ル五代子ト圍碁

六月廿九日 月曜

今朝關義臣入來九字參 朝二字内務省出席五字退出古谷租稅助岩山租稅(岩)權助入來奈良原子黑田子入來云々ノ義ヲ談ス

六月卅日

今朝參 朝二字内務省出席四字退出五時川路子入來條公に至リ云々ノ事御談有之

七月一日 水曜

巡查兵器ノ件

今朝柏木足柄縣令入來野津子兄弟高島子川路子入來巡查兵器云々ノ事ヲ

談ス午后一時ヨリ賣茶亭ニテ五代子ト圍碁

七月二日 木曜

蕃地處分ノ件ヲ李  
仙得等ニ諮問ス

今朝川島子入來岩公御入來 久光公云々ノコトニ付云々御談有之得能子入  
來九時參 朝今日蕃地處分ニ付佛法律家某李仙得被招呼云々ノ御尋問有  
之二字内務省出席三字過退出吉原子入來蕃地云々ノコトヲ談ス晚景ヨリ寬  
步杉浦子ヲ訪歸

七月三日 金曜

蕃地處分ニ關スル  
意見ヲ三條公ニ上  
中ス

今朝條公御出蕃地云々ノコト見込御承知相成度御内談有之是非此上ハ斷然  
ノ御確定コレナクテハ不相濟利害得失ヲ御返詞申上候橋口子田中子入來  
兒玉利國子入來九時ヨリ條公亭ニ參上蕃地處分ニ付今后ノ御目的議論有  
之斷然見込申上置候十二字參 朝二字内務省出席四字退出伊藤子入來今  
朝御評議ノ末ニ付異論有之愚考十分ヲ論シ終ニ此上ハ公評ニ決シ何ク迄  
モ退カス盡力ハイタシ候云々ノコトニテ別ル

奈良原子 久光公云々ノ事ニ付入來

七月四日 土曜

今朝條公ニ參上岩倉公參議一同出席蕃地ノ事件御評議有之十一字參 朝  
二字内務省出席六字大隈子ニ參ル佛御雇法律博士某李仙得氏會食八時條  
公召ニ依リ參上蕃地ノ事件ニ付御談有之議論分立ニ付別々御心配有之故  
小子確然申上候

七月五日 日曜

今朝七時條公御出有之今朝條公亭ニ於テ會議ニ付御内談有之九時前野津  
子ヲ訪留主正院出席二字内務省出席三字退出四字ヨリ條公ニ集會岩公參  
議一同山縣子ナリ蕃地事件御評議有之頗紛論ナリ六字ヨリ増田屋ニ花火  
一覽トシテ參ル五代子中井子高島子西子等入來

七月六日 月曜

陸軍士官ヨリ樺太  
ノ事情ヲ聽取ス

今朝野津子入來石原子山田子等入來阿多江田陸軍士官唐太ヨリ歸京事情

利通蕃地處分ノ意見ヲ確然言上ス

ヲ承ル九字ヨリ條公に參上岩倉公一席ニテ猶蕃地處分結局ノ事ヲ御談有之愚意確然言上陸軍將校に山縣ヨリ見込尋問ノ義申上ル十二字五代子訪圍碁

七月七日 火曜

今朝樺山(香肥)子川路子入來得能子入來九字參 朝二字前內務省出席四字退出川路子奈良原子紙幣大屬藤田某酒田縣ノ事ニ付入來岩村權令重野(安藤)等入來

七月八日 水曜

陸軍卿參朝臺灣一件ニツキ將校會議ノ結果ヲ言上ス廟議開戦ニ決ス

今朝野津子兄弟入來九時參 朝一字山縣陸軍卿參 朝臺灣處分結局云々ノ義將校評議ノ始末言上有之今日猶又御評議不得止戰ニ廟議相決四字歸宅野津子石原子五代子入來圍碁山岡子入來

七月九日 木曜

今朝仁禮(某)子川路子入來巖谷子入來九字參 朝陸海二軍云々御達シ有之二字內務省出席三時退出野津高島子入來五時ヨリ川村子相訪七字歸今晚杉

浦子黒田子吉原子入來

七月十日 金曜

今朝鷺尾令入來林子入來前山子外壹人入來九字參 朝二字內務省出席三字退出高橋子川島子仁禮子入來

七月十一日 土曜

田邊太一清國差遣ノコト決ス

今朝九時參 朝休暇トイヘ支那に人差立候義ニ付御評議アル田邊(太一)外務大丞被遣候ニ治定十二字歸中井子得能子入來同道高輪邸ニ至ル小子黒田子ヲ訪ヒ行吉原モ誘引七字過歸條公ニ至ル

七月十二日 日曜

今朝ヨリ八時內務省に出席十一字正院參上仕三字退出伊地知氏入來 久光公ノコニ付示談ニ相決ス吉原子入來勝子モ入來

七月十三日 月曜

今朝條公に參上小子支那行ノ事ヲ内願ス八字內務省出席十一字正院出仕

利通自ラ清國ニ派遣セラレント請フ

臺灣一條支那關係ノ一ニ付御評議有之三字退出松平容保子入來六字比條公ハ參上七時ヨリ李仙得招ニ付參ル八字半歸ル河村子入來

七月十四日 火曜

國內多事利通ノ外國ニ赴クヲ聽サズ

今朝七時條公ハ參上支那行内願ノ一御勘考岩公ハ御談何分今日内輪紛々ノ時小子御出シ有之候ヲハ不可然云々ノ御答有之不得止承諾乍去約リ重臣ヨリ御差出無之候ハ不相濟時宜ニ至ルハ案中故其節是非御差出可被下旨申上置候内務省ハ出席十字正院ハ出仕田邊ハ支那行被 仰付候ニ付柳原公使ハ差送ラル、談判順序結末ノ義ニ付御評議有之三字退出松方子入來

七月十五日 水曜

谷樺山等東京發足ノ件

今朝八字内務省出席十一字正院出席谷子參 朝明發足延引云々ノ義言上三字退出晚谷子川村子野津子兄弟高島子入來樺山子田中子モ入來明日樺山子發足野津子白川ハ發足故食事饗應

七月十六日 木曜

今朝七字愛知縣令鷺尾子入來川路子鳥取三好秋田縣加藤等入來條公ハ參上十二字過ヨリ川村子ヲ訪二本榎邸ハ至ル七字歸ル杉浦子米人デビトソシ同道暫時入來近々發足ノ由ナリ

七月十七日 金曜

今朝八字内務省出席十一字參 朝二字退出高島子野津子黒田子得能子入來黒田子得能子同道寺内盆栽一覽ニ至ル今晚得能子ハ立寄

七月十八日 土曜

今朝渡邊大藏大丞入來八字過内務省出席十二字正院參昇二字退出杉浦子入來本山茨城權參事入來

七月十九日 日曜

今朝八字内務省出席十一字正院出頭二字退出川村子入來中井子岩山子等入來

七月廿日 月曜

今朝八字内務省出席十一字參 朝二字退出佐々木子伊地知入來奈良原子  
入來今夕條公に參上 久光公ノコ云々申上ル

七月廿一日 火曜

今朝愛知縣鷺尾令入來三好鳥取縣令入來今日九字ヨリ中井子同道横濱に  
行李仙得氏出船ニ付別ヲ告クフランスホテルニテ食事店見物買物イタシ  
高島ニ至ル吉井子平井子モ入來五字汽車ヨリ中井吉原兩士同道歸兩士拙  
宅に訪十字ヨリ岩公に訪 久光公ノ事ニ付云々御談シ有之

七月廿二日 水曜

今日七字條公に參上内務省出席十一字參 朝二字退出中井子ヲ訪福原子  
同斷本郷津輕邸跡家一覽トシテ行ソレヨリ礪川高松邸跡に同斷四字歸ル  
中井子モ入來岸良子入來

七月廿三日 木曜

今朝黑岡子<sup>(全備)</sup>入來七字條公に參上内務省出席十一字參 朝二字退出石原子  
伊東大侍醫入來杉浦子入來

七月廿四日 金曜

今朝八字内務省出席十一字參 朝  
臨御三字退出今夕黒田子入來

七月廿五日 土曜

今朝八字内務省出席十一字參 朝十二字退出川村子黒田子に訪歸

七月廿六日 日曜

今朝條公に參上岩公御出ニテ小子清國行ノ事ヲ内願ス九字高崎子野津子  
入來奈良原子入來木場子同行一字ヨリ二本榎に至ル

七月廿七日 月曜

今朝條公に參上内務省出席十一字參 朝三字退出川村子入來吉原子入來

七月廿八日 火曜

中ネテ清國行ノコ  
トチ内願ス



三條公ヨリ清國行  
斷念ヲ諭サル

今朝得能子入來八字内務省出席十一字參 朝小子清國行内願ノ一條公ヨ  
リ切ニ止ランコトヲ御諭解有之猶勘考可仕申上二字退出今夕山田子入來

七月廿九日 水曜

今朝七字條公ニ參上八字内務省出席十一字參 朝川村子山縣ニ示談云々  
承ル林子長崎ヨリ歸リ東郷ヨリ報知ノ次第云々承ル二字退出杉浦子入來  
六字過ヨリ岩公ニ參上條公御揃ニテ猶又小子清國行ノ一切迫内願機會ノ  
不可失ヲ申上ル明朝同僚中御示談可有之トノ一之是ヨリ川村子ニ訪篤与  
示談イタシ候

七月卅日 木曜

今朝高島子野津子入來七字内務省出席十一字參 朝小子清國行ノ一今朝  
御會議凡御内定ノ旨御内達有之二字退出今夕松方子ヲ訪云々示談

七月卅一日 金曜

今朝黒田子入來伊藤博文子入來小子清國行ノ一ヲ異論アリ云々辯解承知

利通ヲ清國ニ差遣  
ノコト内定ス

利通ノ外國行ニツ  
キ大隈異論アリ利  
通之ヲ説伏ス

伊地知正治黒田清  
隆參議拜命ヲ内諾  
ス

アリ高島子野津子入來八字大隈子ヲ訪ヒ云々ノ一ヲ論ス同人小子清國行  
ニ付異論有之當人辭職云々ノ事アリ小子見込十分ヲ論シ終ニ承伏ナリ條  
公ニ形行ヲ申上ル參 朝小子清國行未表向御達無之御内意ノミナリ伊地  
知黒田ニ云々ノ上ト申コナリ二字ヨリ伊地知氏ニ訪參議御請ノ一ヲ談ス  
異議ナシ松方子河村子ヲ訪ヒ黒田氏ニ至ル參議御請云々ヲ談ス異議少シ  
ク有トイヘル終ニ承伏條公ニ參上形行言上歸ル平井子入來佐賀縣權參事  
伊藤謙吉子入來

八月朔日 土曜

今朝伊藤子ニ訪山縣陸軍卿云々ノ義等示談休暇トイヘトモ八字參 朝今  
日全權辨理大臣トシテ清國行被 命候右ニ付御委任狀等ノ御評議有之候  
十一字過退出三字比ヨリ二本榎邸ニ至ル松方子入來八字歸宅吉原子入來

八月二日 日曜

今朝川村子入來八字過内務省出席十一字前參 朝伊地知黒田山縣參議拜

利通全權辨理大臣  
トシテ清國差遣ノ  
命ヲ受ク

命相成候二字退出山縣子に訪種々示談歸大山權令入來縣情ヲ聞吉原子高島子野津子入來金井少内史吉原子に小子隨行被 仰付候

八月三日 月曜

今日山田少將入來小子清國行ニ付種々議論有之十一字參 朝二字退出伊地知子黒田子入來政府上ノコニ付行懸リノ義及示談候奈良原子入來松方子得能子河村子青木子野津子高島子中井子等入來 御雇法律家佛人名村同道入來

八月四日 火曜

今朝山縣子入來過日相談置候變ヲ聞キ候臨機ノ順序ノ事ニ付目的相立カネ候ニ付小子發足迄ノ内治定イタシ度云々ノ義談有之小子云々ノ愚考申入猶今夕伊藤子伊地知子黒田子入來會議ノ約束イタシ置候内務省出席參朝 臨御被爲在候二字過退出伊地知子黒田子川村子伊藤子山縣子入來段々山縣子ノ論有之畢竟一發ノ時宜ニ臨ミ候得ハ人心ノ取押ヘ六ヶ敷トノ

山縣等來切迫ノ際臨機ノ處置ニツキ談ズ

懸念且兵ヲ臺灣ニ出スヲ難スル論ニシテ到底不到治定今夕ハ猶勘考明日可及御談ト申置候

八月五日 水曜

今朝奈良原子入來伊藤子に訪山縣子云々ノ事ヲ示談ス一應歸宅今日十一字三十分 皇居に被爲召兩大臣參議諸省卿迄參 内ス初メ小臣一人

玉座ニ被爲召太政大臣殿侍坐今般使臣トシテ派清ノ義不容易國家ノ大事別苦勞被 思食候精々盡力可致云々 勅語ヲ賜リ不堪感佩謹テ御請申上ル次ニ一同ヲ被爲 食蕃地事件ニ付粗平定ニ及候得共清國關係ノ談判結局如何ヲ知ラス實ニ國家困難ノ秋ニ候間各一層憤發勉勵スベシ云々 勅語アリ一同謹テ御受ノ義大臣殿ヨリ御拜答有之終テ陪食被 仰付三字

主上利通ヲ召見清國差遣ニ付キ優詔ヲ賜ヒ且參議等ニ親諭シ國家多難ノ際各自其職ニ勵メシム

比相濟退散

山縣等來リ談判破  
裂ノ際ニ於ケル出  
兵ヲ協議ス

昨日ヨリノ談掛リニ付山縣伊藤伊地知河村等入來尙反復及議論候尤事急  
ニ破レ候一報次第ニハ二三大隊ハ臨時繰出候都合可致云々之趣意ナリ事  
十分ニ不至トイヘ凡大體相付居候得ハ宜シクト存ニ付先其通ニテ結局  
トイタシ候

明日就出發今晚客來有之左ニ通

伊地知正治子畠山子黒田子河村子松方子得能子木場子川路子岩山子川島  
子岩下子上野子中井子等ノ十數子之十二時比客散ス

大久保利通日記

第九卷

八月六日

利通全權辦理大臣  
トシテ清國ニ發ス

今朝岩村子入來此日全權辦理大臣トシテ清國に發ス杉浦島山(島山)与全行普魯西公使并米國公使全國使臣マヤ一の尋問兩公使にハ清國行ニ付暇乞且北京在留公使に添書云々ノ事アル故ナリ十字四十五分新橋ステーションヨリ汽車ニ乗シ十二字前横濱に着高島屋に投宿此日相送ル人々并御使左ノ通

今日就發足片岡侍從 御使トシテ被差遣御慰勞ノ 御沙汰有之太政大臣(三條實美公字實文)  
殿息右大臣殿息具定殿御使ニテ被遣候

新橋ステーションマテ

勝參議 伊地知參議

横濱迄

大隈參議 伊藤參議 黑田參議 寺島參議 山田司法大輔 河村海軍大

コスタリカ號ニ搭  
乗ス

輔 松方租稅頭 得能紙幣頭 種田陸軍少將 森外務大丞 畠山文部少  
 丞 外務少丞平井 山尾工部大輔 高島陸軍大佐 野津陸軍大佐 岩橋  
 大藏少丞 西村開拓少判官 調所開拓幹事 權少內史野口常共 安場福  
 島縣令 宮島議官 中井弘 山東神奈川參事 米田侍從 奈良原繁 林  
 內務大丞 杉浦大丞 川瀬內務大丞 新田少丞 武井少丞 石井六等出  
 仕 伊地知七等出仕 木梨七等出仕 川路警視長 西村警保七等出仕  
 船越戶籍頭 石原子田尻子共兩人ナリ  
 一字半寺島全道佛公使并ニ英公使尋問ス  
 三字半ヨリ米國郵船コスタリカ號ハ乘船津畑迄相送ル人々告別

隨員姓名

福原陸軍大佐 鐵道權頭太田資政  
 吉原租稅助 高崎議官 金井權少內史  
 池田內務七等出仕 名村司法七等出仕

一行人員

「ボアソナード」ヲ  
隨フ

小牧開拓七等出仕 關陸軍中尉  
 川村內務十等出仕 黑岡陸軍十等出仕  
 平川租稅九等出仕 園田陸軍十五等出仕  
 雇佛人法律博士ボアソナード以上十六人五字比開纜天氣和平  
 八月七日 土曜日

今日終日航海波浪大ニノ船動搖甚シ

八月八日 日曜日

神戸ニ至ル

今朝九字半比神戸着艦則上陸五代子吉田子渡邊大坂府知事出迎有之專崎  
 ハ投宿常盤亭布引別莊ハ參リ五代子ト園基吉田高崎渡邊吉原等同行八字  
 過專崎ハ歸伊東鷹遠武子千波子等入來  
 十一字比乘船

八月九日 月曜日

今朝五時神戸出帆終日航海天氣平穩四望快然殊ニ瀬戸内ノ風景如畫

八月十日

早天馬關ヲ過此日天氣益平穩玄海ノ難海實ニ如坐大ニ旅心ヲ慰ス今晚九  
字長崎ニ着港上野矢兵衛宅ニ旅宿今晚佐賀縣令北島(秀朝)當縣令宮川(房之)入來

八月十一日

今日宮川權令太田福原等入來尤隨行旅宿ニケ所ニ分ツ

高崎正風小牧昌業  
ニ北京へ先行ヲ命  
ズ  
野津鎮雄來訪

高崎議官小牧昌業上海ヨリ北京ニ先行ヲ達ス三字出帆之郵船ヨリ高崎小  
牧兩士出船富士樓ニ旅宿ヲ轉ス北島佐賀縣令入來野津(龍雄)少將六字比白川縣  
ヨリ着東京事情ヲ話ス

八月十二日

今日雨下ル暑甚シ午後宮川權令入來野津子入來兒玉子(利雄)入來今晚十字比隈  
元子入來八字頃龍驤艦入港ノ旨報知有之

龍驤艦入港

八月十三日

今日暑氣全伊東少將隈岡百士等全行入來林入來名村子福原子入來乘艦ノ

都合ヲ談ス

八月十四日

今日午前野津少將入來福原大佐入來午后北島佐賀縣令宮川權令入來橫山(龍雄)  
租稅權助入來今日米郵船出帆野津子北島子上京御用狀出ス

八月十五日

今日無事明日就發船用意宮川福原其外段々有來人

八月十六日

龍驤艦ニ搭乘長崎  
ヲ發ス

今朝就出帆七字龍驤艦ヨリバツテ一ラ迎船トシテ來士官隈岡ヨリ届有之  
則乗船本船ニ乗込ム東艦ヨリハ禮式祝砲十九發各國軍艦ハ日曜日ニ付祝  
砲ナシ九字半解纜此日順風宜ク海上平穩

一行人員吉原金井福原太田池田名村河村平川佛人ボアンナード氏ナリ餘  
ハ飛脚船ヨリ發スルハツ

八月十七日

今日天氣全斷順風宜

八月十八日

今日天氣同四字后支那地小島ヲ見ル晚景燈明臺アラハル夜半川口ニ碇泊是揚子江ナリ

八月十九日

揚子江ニ入ル

今日早天出船外國人水先ノ者ヲ雇ツテ乘船ス川ヲ登ルヲ終日五字比

(二字欠)

孟春丸ニ轉乘シ上海ニ着ス

トイヘル所ニ至ル此ニ孟春艦出迎祝砲十九發本艦ヨリ應砲ス此ヨリ吳淞

江ヲ登ル龍驤艦ハ潮ノ都合ニヨリ不能登孟春艦ニ轉シテ流ヲ登此夜半月

江ニ登リ清風暑ヲ洗ヒ數日ノ旅情ヲ慰ス八時上海ニ至ル則ホテルニ投宿

李仙得氏着即面會ス品川領事等則尋問有之

八月廿日

陳福勳ヲ訪フ

今朝町田子野崎子(久松)入來午前十一字同知陳福勳氏尋問有之種々挨拶品川領

事通辯侍席午后李仙得氏入來質問イタシ候太田子通辯孟春艦長入來

今日午后四時比米郵船一行隨官員等着今夜ボアソナード氏に質問池田子太田子名村子入來

八月廿一日

上海居留地ヲ巡覽シ舊城趾ヲ探ル

今朝伊東少將隈岡百士等入來今日十二字ヨリ本艦ニ歸リ明日出艦ノ用意イタストノコナリ午後李仙得氏吉原子全行居留地見物イタシ馬車ニテ居留外遊歩ノ地ヲ一周ス里程二里位ナリ此間土地平坦ニシテ一ノ山ヲ見ス田島凡綿ヲ植エ稀ニ稻田アリ此一周ノ道路ハ西人ノ建築スル處ニシテ頗ル清潔也歸途建安城ノ遺墟アルヲ見惣垣皆煉瓦石ナリ六字過歸今晚一行ヲ分テテ飛脚船ヨリ先行セシム

八月廿二日

上海ヲ發ス

今日當港ヲ發ス品川領事李仙得氏等爲暇乞入來九字孟春艦ヨリ爲迎船來ル士官一人參ル則乘船孟春艦ハ十町位ノ川下ニ碇泊孟春ニ乗スレハ十九發ノ祝砲ヲ發ス品川領事李仙得氏船迄見送アリ凡十字本船ヲ發シテ吳淞

吳淞ニテ龍驤艦ニ  
搭乗ス

江ヲ下ル<sup>(吳淞)</sup>凡六里ウ<sup>(吳淞)</sup>ン<sup>(吳淞)</sup>ニ至ル龍驤艦ヲ發シテ待受タリ則端舟ヨリ  
轉移ス甲板ニ至レハ兵士整列樂ヲ奏シテ禮式ヲナス例ノ如シ此時凡十  
二字前ナリ二字過ヨリ出發ス天氣宜カラス揚子江川尻燈明臺ノ處ニイタ  
ル此ニ碇泊

八月廿三日

今朝天氣同早朝發船鞍島迄イタル雨風不定故ニ碇泊

八月廿四日

今日天氣次第ニ宜シ十一字當所ヲ發ス孟春モ共ニ發ス終日航海

八月廿五日

今日天氣宜東北風今日頃ヨリ暑氣ノ減スルヲ覺フ朝飯後ボアソナード氏  
ハ質問夕飯後甲板上奏樂入夜月明皓々海天茫茫トシテ意豁如九字比迄納  
涼休息

八月廿六日

今日天氣宜南風順船行速朝飯後ボアソナード氏ハ質問

八月廿七日

芝罘ニ至ル佛國軍  
艦祝砲ヲ發ス

今日天氣同斷遙ニ山ヲ見ル四字芝罘<sup>(芝罘)</sup>ニ着船佛軍艦ヨリ士官一人コンマン  
ドル使ニテ來尋接待ノ上上陸イギリスホテル<sup>(ホテル)</sup>ニ投宿佛軍艦祝砲二十一發  
龍驤艦應ス

八月廿八日

佛國公使ヲ訪フ

今朝當所山上ニ登臨遠望ス伊東少將隈岡百士等入來明曉四字出艦ノ届有  
之午前英國公使書生<sup>(書記)</sup>官尋問有之佛公使書記官ヲ以テ挨拶アリ尤ボアソナ  
ードヨリ面會イタシ度トノ事ニテ六字比全人并通辯名村ヲ引テ公使ヲ訪  
フ公使厚待遇種々懇話アリ別紙應接書ノ通七字歸ル八字龍驤艦ヨリ迎ト  
シテ士官一人バッテリーヲヨリ來ル直ニ發シテ本艦ニ乗ス今夜一泊

八月廿九日

今朝五字半芝罘港ヲ發孟春艦從テ發ス天氣溫和午前ヨリ諸島ノ相連ナル



ヲ見ル午后ニ至リ漸クニ地方ヲ隔リ一點ノ山ヲ見ス  
八月三十日

太沽ニ至ル

今日天氣好航海穩ニ九字伊東少將福島艦長等案内ニテ艦中惣様ヲ巡查ス  
三字比ヨリタカフノ臺場ヲ見ル五字川口ニ着船碇泊  
八月三十一日

孟春丸ニ轉乘シ白河ヲ溯ル

今朝四字孟春艦ヨリ天津ニ發スル筈ノ處風強浪高不能登延引ス三字半孟春ニ轉移四字發シテ川ヲ登ル川口ノ臺場左右盛大ノ築造ヲナセリ當時又追々造成ノ模様ナリ或ハ又城砦ノ盛ナル一ヶ所アリ凡テ臺場ハ土ヲ以築立タルモノナリ左右堤上人家所々連ナルヲ見是皆土造ニテ全ク穴居ニ齊シキモノナリ今晚暫ク碇泊

九月一日

天津ニ至ル田邊太一等來リ迎フ米國領事館ニ泊ル英國領事以下來訪

今朝九字天津ニ着北京ヨリ田邊比志島子等出迎先行ノ人數全斷則上陸米利堅岡士ノ館ニ宿ヲ投ス全氏ノ厚意ニ依リテナリ外國人見舞人員英國コ

露國領事來訪

ンマンドルデンマルク等岡士英國岡士代理等追々尋問田邊士小牧士ヨリ北京柳原公使ノ談判近況巨細承知談判ノ趣支那政府判然決答ナク別亦困難ノ模様ナリ陸軍先行ノ人數比志島兒玉福崎其外入來今晚ボアンナード入來田邊ヨリ北京ノ形行ヲ談話ス  
九月二日

今朝魯西亞コンマンドル入來尋問伊東少將隈岡百士福原子黒岡士孟春艦長等入來ボアンナード氏池田名村入來質問  
九月三日

孫子達ヨリ料理ヲ贈ラル

今日十字李仙得氏入來太田通辯北京ノ事情ヲ話ス道臺孫子達ヨリ料理ヲ送致アリボアンナード氏入來今晚近邊徹行寛歩  
九月四日

柳原公使ヨリ談判ノ經過ヲ報ジ來ル

今朝李仙得氏田邊子入來其外來客アリ今夕北京柳原公使ヨリ急飛ノ返詞アリ先月卅月總理衙門ニ出會結局ノ談判ニ及候處判然タル答詞無之候趣

談判書并文祥ヨリノ書面等來ル是此方ヨリ物議如何ニ不拘自査辨云々ノ  
ヲヲ推シ詰メントノ趣意ニ出ルモノナリ然レモ彼ニ決シテ破和ノ一言ヲ  
吐カス左右ニ寄セテ談判セシモノナリ就テ柳原後圖ヲ考案シ樺山高崎ヲ  
以テ急行申遣シ候ニ付相待クレトノ趣ナリ

九月五日

樺山高崎北京ヨリ  
來ル

今日來人不記名六字樺山高崎兩士着柳原始終談合ノ旨趣小予滯津斷シテ  
公使始ヲ引云々ノ事ヲ承ル且書面モキタル全意セスシテ明北京行ヲ決ス  
九月六日

天津ヲ發ス

今日天津發足二字乘船一里餘兩堤人家稠密ナルヲ見此間先年佛教師等ヲ  
殺害シ燒キタル天守堂ノ廣大ナルモノアリ三里餘行キテ入夜一泊此舟中  
實ニ不自由ヲ極メタリ加之暑氣如蒸入夜蚊多シ川水泥土多黃色ヲ成ス其  
不潔不可言

九月七日

今朝早ク出船天氣宜シ去レモ暑氣益酷烈午后堪ヘサルカ如シ人家處々ア  
ツテ土造ノ製ニテ至テ貧シ人烟近キニ至レハ必ス臭氣アリ兩堤粟胡麻キ  
ヒ綿ノ類ヲ耕作スルト見ユシカシ兩堤ヲ隔レハ皆不毛ト云土地ノ廣大無  
邊恰モ大海ヲ見ルカ如シ晚ニ至ツテ遙カニ北方ノ山ヲ見ル今行六七里ニ  
シテ入夜一泊

九月八日

今朝早天出船少シク涼風アリ太田子ト圍碁入夜一泊是ヨリ凡通州迄十里  
ナリト云

九月九日

今日早天出帆暑氣尤甚シ午后五字通州に着一泊當所陸上甚不便人家頗密  
也トイヘトモ宿ヲ投スヘキノ場所ナシ港内ハ滿川大小船群集船路ヲ遮ル  
ニ至ル誠ニ不體裁ヲ極ム當所ハ柳原公使ヨリ屬官加藤某諸事辨用ノ爲メ  
遣ハサル

通州ニ至ル

通州ヨリ陸行北京ニ着ス

九月十日

今朝六字當所ヲ發ス橋ニ駕ス是ヨリ北京迄凡六里通州市街道路小ニシテ甚タ不潔街道ハ北京迄凡石ヲ布キ盛大ノ事業ナリ是皆乾隆ノ時代ニ建築ノヨシ當時敷石凸凹車ノ往來不便ニ堪ス途中寺院アリ頗ル壯大結構ヲ極ム或ハ城門等堅固ナリトイヘトモ盡ク廢壞ス皆乾隆ノ時代ト云五字北京ニ着ス市街入口迄鄭書記官(水筆)ヲシテ出迎ハシム是ヨリ全人案内ニテ日耳曼ホテルに着柳原公使待迎有之福島九成其外公使館屬官見舞有之

日耳曼ホテルニ宿ス

九月十一日

今日風邪ニ付保養ス午后柳原入來今日政府ハ小子着ノ掛合等ノヲ談ス今晚福島九成子ヲ招臺灣實地景況ヲ聞

九月十二日

今日風邪少好法律家ボアソナードヲ呼ヒ開談ノ三ヶ條ヲ陳シ意見ヲ問彼レ異論ナシ尙同氏見込モアリ名村譯官ヲシテ筆記セシム午后柳原公使入

談判開始ノ準備ヲ爲ス

岩村高俊井上毅到

來開談ノ旨趣ヲ談ス全使無異議五字比岩村内務五等出仕井上司法七等出

仕小子隨行ノ命ヲ奉シ今日到着書狀等落手

大隈事務長官ヨリノ御用狀品川領事ヨリ差立候一使到着御用狀數通落手

九月十三日

一無記事

九月十四日

柳原公使ヲ隨ヘ總理衙門ニ至リ恭親王以下ト談判ヲ開始ス

今日柳原公使譯官太田鄭同行午后一字到總理衙門恭親王文祥始メ九人出會開談周章ノ體實可笑三字過退館

九月十五日

今日總理衙門大臣ヨリ酒肴ヲ送致アリ午后柳原公使全道魯西亞米利堅英國公使館ニ尋問ス今日高崎子小牧子自天津來着明朝本邦ハ公信ヲ出ス

九月十六日

今朝無事午前柳原公使入來鄭同斷午后一字ヨリ總理衙門大臣四名答禮ト

清國大臣四名來訪シ回答書ヲ提出ス

露米英三國公使ヲ訪フ

英國公使來訪

シテ尋問過日遣置トコロノ問題ノ答書有之熟覽之上此方ヨリ猶可相答旨申置格別公事ノ談ニ不及シテ酒肴ヲ進メ饗應ス暫時ニシテ辭去ル今晚ボアソナード氏<sup>(ウエド)</sup>來書ノ趣意ヲ申シ合同人ノ見込書ヲ譯セシメ候今日英國在留公使入來

九月十七日

露國公使來訪

今朝八字ヨリボアソナード氏ノ見込書ヲ譯セシム十二字比ヨリ柳原公使入來午后魯西亞公使入來

九月十八日

恭親王等來訪

今日午后一字ヨリ恭親王始五名答禮トシテ尋問有之蕃地之談ニ不及候

九月十九日

第二回ノ談判

今日柳原公使鄭太田金井同行總理衙門ニ至ル一字ヨリ四字過迄談判尤彼ノ答辯書ニ猶返詞相渡候談判ハ種々ノ紛論ニ涉候四字過退出

九月廿日

今日午前ボアソナード氏<sup>(ウエド)</sup>昨日談判ノ形行ヲ話ス午后柳原公使入來

九月廿一日

今日本邦<sup>(ウ)</sup>公翰ヲ出ス柳原公使入來今夕太田と園基

九月廿二日

今日佛教師應接ニ付足ラザルヲ補ヒ彼ノ答書ヲ不待詰問スヘキケ條ヲ調尙其直話ヲ聞晚景小牧子ト寛歩公使入來今晚總理衙門ヨリ答書來ル

九月廿三日

今日午后柳原公使田邊子等總理衙門ヨリ答書ノ趣ヲ佛教師ニ話ス教師猶見込ヲ書取可出トノ事也

九月廿四日

今日ボアソナード氏見込ヲ聽聞シ金井之ヲ書ス柳原公使入來井上小牧<sup>(ウ)</sup>照會艸案ヲ作ラシム

九月廿五日

照會草案起草

今日ボアンナード氏は結局云々ノヲ質問ス午後柳原公使入來照會文面ニ付井上小牧論アリ柳原公使論アリ因テ田邊ニ命シ艸案ヲ作ラシム今日中秋ニ當ル總理衙門ヨリ酒果鳥等ヲ送致アリ今晚月ニ乗シ金井等ト緩歩

ス  
九月廿六日

今朝ボアンナード氏は質問池田通辯金井記之午後柳原公使入來田邊子に命シ候支那政府に照會并附冊艸案成則今晚清書今日英公使入來

九月廿七日

今朝ボアンナード氏は今次支那に遣候照會ノ趣意ヲ話ス今日照會ヲ支那政府に送ル暮景運歩金井子福島子小牧子全行正陽門上ヨリ眺望此處當所第一ノ勝所ナリ今日孛國公使入來

九月廿八日

獨逸公使ヲ訪フ 今日無事柳原公使入來孛國公使に尋問

九月廿九日

今朝十字ヨリボアンナード氏は質問午後散步市街骨董店ニ至ル今日日本邦公信至ル九月六日比出米國ヨリ子共音信達ス吉井氏ト同行歸朝之由申來ル大ニ安心柳原公使入來

九月三十日

今日午後柳原公使入來總理衙門ヨリ照會來ル七字半ヨリ英國公使招請ニ付柳原公使太田橋口兩譯官同行參ル來客男女二十人位十二字歸ル

十月朔日

今朝ボアンナード氏は質問午後柳原公使入來今度照會答覆談判ノ都合殆ント大事ノ際ニ臨ミ候ニ付愚考猶示談ニ及候所同論ナリボアンナード氏見込書ヲ聞テ金井ニ記セシム

十月二日

今日ボアンナード氏は質問ス柳原公使來

英國公使ノ招請ニ赴ク

米國留學ノ子息等歸朝ノ報アリ

支那政府ニ照會文ヲ送致ス

獨逸公使來訪

獨逸公使ヲ訪フ

中秋ニ付キ總理衙門ヨリ酒肴ヲ贈ラ

英國公使來訪

支那政府ニ照會文ヲ送致ス

獨逸公使來訪

獨逸公使ヲ訪フ

九月廿九日

今朝十字ヨリボアンナード氏は質問午後散步市街骨董店ニ至ル今日日本邦公信至ル九月六日比出米國ヨリ子共音信達ス吉井氏ト同行歸朝之由申來ル大ニ安心柳原公使入來

九月三十日

今日午後柳原公使入來總理衙門ヨリ照會來ル七字半ヨリ英國公使招請ニ付柳原公使太田橋口兩譯官同行參ル來客男女二十人位十二字歸ル

十月朔日

今朝ボアンナード氏は質問午後柳原公使入來今度照會答覆談判ノ都合殆ント大事ノ際ニ臨ミ候ニ付愚考猶示談ニ及候所同論ナリボアンナード氏見込書ヲ聞テ金井ニ記セシム

十月二日

今日ボアンナード氏は質問ス柳原公使來

佛國公使來訪

十月三日

今日無事柳原公使入來佛公使芝罘ヨリ歸京尋問有之

十月四日

今日無事柳原公使入來

十月五日

總理衙門ニ至ル  
談判不調ヲ以テ歸  
國ノ旨ヲ通告ス

今日一字ヨリ總理衙門ニ至ル柳原公使鄭譯官太田金井全行文祥以下一同

談判及ヒ終歸國ノ事ヲ陳シ歸ル彼ノ模様中々折合付候勢ニ無之不得止斷

然申切候井上小牧田邊入來段々及示談候

十月六日

今朝井上田邊小牧入來ボアソナード氏ト種々質問ニ及午后柳原入來再度

照會遣候ニ付結局ノ見込云々承ル

十月七日

今日照會ニ付種々議論有之井上艸案ヲ作田邊之ヲ修正ス然ルニ此結局ニ

井上毅支那政府ヘ  
ノ照會文ヲ起草シ  
田邊太一修正ス

利通進退ニ窮ス謂  
ヘラク唯正義ニ因  
リ斷ゼンノミ

「ボアソナード」ニ  
國際公法ニ於ケル  
開戦ノ名義ヲ問フ

付黑白分明決絶ニ及候趣意云々ヲ論スルアリ或ハ其マ、ニテ引拂候趣意

云々論スルアリ實ニ小子進退此ニ谷リ候一大事困苦ノ至リ依テ反覆熟慮

此上ハ義ノ所有理ノ所有ヲ以テ相決候外無之ト決定ス併シ衆論ヲ聞テ未

可否ヲ言ハス柳原公使其外入來今晚ボアソナード氏ハ公法上戦ノ名義且

日清今日ノ景況ヲ以テ段々及質問通辯池田

十月八日

今日田邊井上兩子入來照會艸案成尙少々以愚考添削午后柳原公使入來李

仙得氏入來質問ニ及今晚柳原公使等入來

十月九日

今朝ボアソナード氏ハ質問田邊氏ノ見込有之照會ノ艸稿持參猶可及勘考

旨申入置午后柳原公使入來今日樺山氏自天津來ル今晚李仙得氏見込書參

ル吉原ヨリ大意ヲ聞今般支那政府ト談判ノ結果五日總理衙門面晤ニ既ニ

歸國ノ旨ヲ述テ歸レリ就ハ今次照會ニ付和戰ノ兩道ニ係リ候大事故各

照會文案成ル但隨員中ニ和戰ノ論盛ナリ

柳原公使主戰論ヲ唱フ

田邊福原岩村等ハ種和說ヲ把ル

々異同ノ見込ヲ以テ議論端アリ到底此決ニ於ケル小子方寸ニアリ豈輕易ニ之ヲ斷スヘケンヤ併今次照會ノ文意即其奧意ノ有ル處ニ由テ趣意ヲ述サルヲ得ス是非其結末ノ意ヲ聞カサレハ能ハスト再三聞クトイヘトモ敢テ之ヲ言ハス先井上艸案稿ニ付テ之ヲ補綴スヘシト終ニ今日其稿成ル然ルニ猶種々ノ說アリ殊ニ田邊子別ニ稿ヲ成シ平穩ノ趣意ヲ以普通ノ別ヲ告去ルニ如スノ意ナリ小子之ヲ拒マス今日中熟考スヘシト答フ柳原公使論アリ云ク斷然和親ヲ破戰ヲ以テスルニ如カス其名義トスル所ハ彼レ照會中無禮ノ語アリ侵越疆土不一矢加遺等云々ヲ鳴シ且謁見ノトモアレハ十分名義ノ存スルアリ名ナキヲ憂ヘスト井上高崎等大同小異ノ論ナリ一ニハ戰ノ名義十分ナラス先ツ半途ノマ、ニテ引クニ如カス或ハ之ヲ蕃地ニ十分手ヲ伸シ彼地ニ於テ必事端ヲ啓クヘシト是福島參謀等ノ論田邊鄭此際先ツ平穩ヲ保ツテ餘地ヲ殘シ可圖ノ機ニ投シ再ヒ手ヲ盡スヘシノ意アルニ似タリ福原岩村ハ名義十分ナラス暴ニ戰ヲ啓クヘカラス吉原モ又

談判不調ニ歸ストモ直ニ戰ヲ期シテ去ルハ不可ナリ

大同小異ナリ此際ニ當リ殆ント一身ニ迫リ苦慮言フ可ラス深思熟慮スルニ他ニ手段ナシ若照會ノ答覆依然曖昧ヲ以テ來ル時ハ小子斷然去ルニ如ス是和交ヲ破ラサレハ止ムヲ得サルノ勢ナレハナリ然リトイヘテ談判ノ纏ラサル而已ニテ決絶ヲ以表面戰ヲ期シテ歸ルハ不宜小子發途間モナク柳原公使モ亦歸ルヘシ然ル上

緩急弛張ノ權ヲ我ニ有スルヲ以テ上策ト爲ス

柳原公使ニ諮リ同意ヲ得タリ

宸斷以テ之ヲ決セラルヘシ是上策ナリ如何トナレハ於當地決絶ノ形ヲ露ハストキハ各國公使ノ論ヲ來シ多少ノ害ヲ醸ス且支那ニ於テ彌相決シ其用意モ十分ヲ盡スヘシ我情況ヲ考フルニ用意稍調トイヘテ軍艦ノ都合其餘實地ノ手當十分ト云フヘカラス緩急弛張ノ權ヲ我ニ於テ有スルヲ以上策トス且時季ノ都合モ大ニ注意セサル能ハス右之旨趣粗相決シ候ニ付照會明日可送ニ決シ今晚柳公使ハ密談ス公使無異論彌內定ス是一大事機密ニ關スル故決シテ他ニ示サ、ルヲ約ス

十月十日

照會文ヲ總理衙門ニ送致ス

今朝照會ヲ總理衙門ニ送致ス午後柳公使入來是結末ノ照會ニテ十分ニ相認スルニ五日ヲ以ス一刀兩斷決着ナク若曖昧ニ出レハ斷然發途  
十月十一日

總理衙門ヨリ回答ノ延期ヲ請ヒ來ル

今日總理衙門ヨリ去ル四日送致セル照會ニ答覆ノ照會來ル并昨十日送致ノ照會答覆ハ皇帝南苑行幸ニ付五日内ニ答覆不調延期ノ旨申來ル午後柳公使入來ピットマン氏英公使ハ内探索ヲ以テ事情具ニ相分ル今日ノ模様支那政府狼狽英公使モ之ヲ助ケ是非兩國ノ仲裁ニ立戰ヲ止ント欲ス然ルニ小子ヨリ内々ニテ一言頼ムトノ事アレハ說諭盡力シテ償金ヲ出サシムヘシト且償金ニテ小子承知可致カ是非戰ノ決着ナルヘキカ其意ヲ知ラント欲スルノ趣ナル由小子之ニ答ルニ仲裁ヲ頼ノ趣意決シテナシ我國ノ情實危急切迫中々人心難押ノ勢ニ亦不可禦尤今日本國ヨリ至急汽船ヲ以報知ノ趣ニ付時日延引イタシ候テハ別ニ困難ノ實況ニ付談判纏ラサレハ早々可引取旨申送レリ。我今曖昧ノ所置ニ出復命致候テハ日本政府ノ趣意且

英國公使調停ノ意アリ

利通仲裁ヲ依頼スルノ意ナキヲ告グ

人民ノ意ニ適セス是戰ニナルハ事實ニ於テ易キ處ニシテ曖昧タル和ニ附シ候テハ甚タ難ンスル所以ナリ云々ノ意ヲ傳致セリ是レ深ク慮ルトコロアルナリ英公使ノ言ニ實ニ此處ハ日本ノ威權ヲ支那政府ニ振ヒタリ是迄日本ノ事ハ新聞等ニテ傳聞スル而已ナリシカ初ニ小子ニモ面會實ニ感伏此節ハ必支那政府償金ヲ出スノコトニ至ルヘシ夫ニテ結局ニ至リ和好調候得ズ是ヨリ日本ノ日本タル名譽歐洲ニモ輝キ誠ニ可賀ノ至リナリ云々又云支那政府實可憐ノ次第故必ス此度和好ニテ爲相濟今后日本ハ朝鮮ヘ手ヲ出スヘシ夫ナレハ英第一ニ助力可致其方日本ノ爲ニハ上策ナルヘシ云々今晚教師ノ見込書ヲ譯ス

英國公使日本全權ノ態度ヲ賞讃ス

英國公使曰ク今後日本ハ朝鮮ニ手ヲ着クルヲ上策トス

十月十二日

廻答期日三日ノ延期ヲ許ス

今朝調所廣丈松村<sup>(譯)</sup>兩人ヨリ天津出シノ書翰達ス去ル三日横濱出帆十日着津ノ旨也尤玄武丸ニテ來レリト早々入京返詞ス昨日總理衙門ヨリ日延ノ返詞ヲ送ル延スニ三日ヲ以テスト今日言送レリ猶太田ヲ以衙門ニ至ラシ



メ演舌セシム今日ボアソナード氏談判ニ付全人見込書佛人公使に送ルノ  
書面ヲ譯ス金井井上池田名村等ナリ柳公使モ入來

十月十三日

今朝本邦に書信ヲ出ス公使館ヨリノ公信ニ托シテナリ條公に私書ヲ出ス  
福原子入來昨日ピットマン氏英公使進メニヨリハート氏に至ル是支那雇  
人ナリ英人ニテ支那政府ニ信用セラル全氏咄ニテ愈償金ヲ支那政府ニ出  
サセルトノ話有之ピットマン氏ハモ一軍ニナラスト云ヘリトゾ尤恭親王  
モ如何シテ宜キヤト相談ニ參リタル旨ナリ支那政府ハ別ニ狼狽ノ由全氏  
モ日本ハ朝鮮ニ手ヲ付ルカ利益ナリ若日本此舉アレハ歐洲ハ異論スルモ  
ノナシ我英ニ於テハ則助力スル云々

今朝ピットマン氏英公使ニ至レリ猶此方ノ内意ヲ移スニ英公使大悅セリ  
此上ハ頼ムトノ一言ナシトイヘテ談判ノ形行ヲ一通リ御咄有之候ハ至  
大幸ナリトイヒシト

支那政府償金ヲ出  
シ和解ノ意アリ

「ピットマン」ヲ以  
テ内意ヲ英國公使  
ニ通ズ

公使云ク日本ノ權ヲ振ヒ此度ハ支那政府隨分眠ヲ醒スヘシ内情歡喜イタ  
シ候由午後柳原公使入來今夜福島高崎子入來

十月十四日

今朝福原入來昨日猶英公使にピットマン氏參リ此方ノ旨趣具ニ傳致イタ  
シ候處英公使別ニ歡ヒ此上ハ小子及尋問大要形行御咄被下候得ハ夫ニテ  
十分満足イタシ候旨申居候由傳致ノ趣意ハ英公使仲裁ノ義希望ノ由故中  
人ヲ頼ミ候テハ我獨立ノ權ヲ扞ケ候故是ヲ防クノ術ヲ以御國內情切迫今  
般態々玄武丸差立談判纏ラスハ其儘可歸朝云々申來候因テ今次總理衙門  
答覆依然頑固ヲ唱候得ハ斷然歸裝發足ノ決心ナリト云々ノ旨ヲピットマ  
ン氏ノ考ヲ以申入レサセ候

午後二時英公使ヲ尋問是迄ノ談判初終ヲ大略相咄候先ニ公使ヨリ相尋候  
得共其節ハ先不申入此節ニ至候ハ支那政府ヨリ頻ニ相談モ有之趣ニ候  
間我旨趣徹底不致候ハ不都合故此内御尋ニ預候得共不日兩國ノ間ニテ

英國公使ヲ訪ヒ談  
判ノ經過ヲ詳述ス

決局ノ見込ニ付其上御咄可申上御答申入置候得共如此次第故一應形行ヲ御話シ申上置候トノ趣ニテ五月西郷派<sup>(從軍)</sup>出柳公使ノヲヨリ初發ニケ條ノ間目ヲ始應接ノ大略終ニ五日ノ談判結局ノ次第迄ヲ相咄候處英公使答曰初終ノ御咄逐一拜承是迄支那政府ノ咄ハ承候得共未貴政府ノ御旨趣承知不致候處明白燎然承候テ大ニ満足イタシ候誠ニ貴政府ハスクレタル位置ニ御居被成候と被存候云々

過日參上ノ節何迄モ撤兵不被成御旨趣ニ候哉御尋申上候處撤兵セスト申事ニモ無之乍去談判ノ都合ニ依リ候ニ付差窮難申トノ御事今日ノ處ニテハ御見込如何不苦ハ拜承仕度トノ事ニ付我政府ノ趣意敢テ彼地ヲ貪ルニアラス内外人民ノ爲義舉ニ及ヒタル譯就テハ費用モ莫大且兵士モ艱難ノ地ニ立死傷モ有之候ニ付テハ政府モ安堵人民一同に申分相立候様無之候テハ撤兵ハ出來申サス其段支那政府見込有之事ト存候ト答候其外應接書ニ有之候談終テ辭ス

日本ノ出兵ハ領土侵略ヲ目的トセズ唯損害賠償ヲ得バ足ル

佛國公使ヲ訪ヒ談判ノ經過ヲ告グ

佛公使ニ尋問全様ノ談話ニ及是モ應接書有之候故相略シ候兩公使共満足ノ模様ニテ都合宜ク安心イタシ候五字歸館今晚柳公使入來

十月十五日

今日ボアソナード氏入來昨日ノ話ヲ示ス全氏大ニ満足調所氏着黑田氏書翰落手

十月十六日

今日總理衙門ヨリ答覆アリ我旅館ニ來リ辦法ヲ可談トノ事ニ付則明日明後日ノ間ニ來館ヲ申遣シタリ柳公使其外入來

十月十七日

今日松村子自天津着河村子書翰落手柳原公使入來

十月十八日

今日午后二時總理衙門大臣四名入來辦法ノ談ニ及ブ五字迄ノ論辯ナリ少シク模様ヲ改メ大臣等面目ヲ替候都合ニテ先ツ樂ミアル景況ナリ

支那政府ノ大臣四名利通ノ旅館ニ來リ談判ヲ進ム

總理衙門ヨリ回答來ル

調所廣丈北京ニ到ル

十月十九日

今日日本邦の公信ヲ出ス條公は私書ヲ捧ク午后柳原公使入來

十月二十日

今日午后二時ヨリ總理衙門ニ至ル辦法ノコトヲ談ス彼ノ論勝手ノミヲ唱ヘ我辦法ヲ適セス專ラ清國大皇帝ノ思召ヲ以我兵ノ撤スルヲ待テ被害ノ者恩典ヲ施ス云々ノコトアリ

然ルニ書面ヲ送ルコト金額ノコトニ付相違アレハ我復命ノ事且撤兵ノ事ニ付不行ノ義故異論イタシ置キタリ猶書面ヲ認ルコトハ可及勘考トノコトニ候

十月廿一日

今日午前井上ヲ呼條約等ノ取調ヲ托ス柳原公使入來鄭書記官總理衙門ニ至リ内談有之趣彌事成ラヌ模様ニ候

十月廿二日

清國政府先づ日本ニ撤兵ヲ求ム之ヲ斥ケ

文廟及大液池ヲ觀ル

今日午后二字ヨリ孔廟大液池一覽トシテ太田同道ニテ至ル初雍和宮ニ至ル是當時寺院古昔親王住居ナリシ由孔廟ハ當時荒廢ストイヘモ結構美ヲ極メタルモノナリ大液池ハ最壯觀ナリ今晚柳原入來

十月廿三日

英國公使來訪

今朝十一字英公使來其後ノ模様承リ度トノコトニ付大略ノ談ニ及候一字總理衙門ニ至ル談判結局ニ至ラス彼兩便ノ辦法我便ノミヲ謀リ殊ニ書面條約イタシカタキトノ斷然タル答ニ付此ハイタシ方コレナク破談ニ及候此ニ至リ和好調ハサルハ實ニ殘念ニ存候得共十分ニ歩ヲ譲リ是ヲマトメ度

廿六日玄武丸ニ搭乗歸朝ニ決ス

今晚來人多シ今晚柳原公使ハ示談來ル廿六日發途歸朝ヲ決ス最玄武丸芝罘ニ在ル故同船に乘組ノ筈ニ決ス

井上毅ナシテ最後ノ通牒文案ヲ起草セシム

柳原公使ハ觀事ノ件ニ付斷然總理衙門に告歸朝之筈今一應照會ヲ送致スルヲ趣意ハ萬國公法ト實据トノ論ニ依リ十分辯說ヲ書シ此上何様辯明ア

ルモ信用不致トノ大意ナリ井上ニ命シテ案ヲ作ラシム  
十月廿四日

英露米三國公使ヲ  
訪フ

米國公使異論アリ

今朝來人多シ午後英公使魯西亞公使米國公使ハ尋問英公使ハ昨日總理衙  
門トノ談判形行相尋ラレ候ニ付巨細相咄シ別紙應接書ニ通ニ候魯西亞ハ  
別段分る尋モナク一應之挨拶ノミ米公使ハ少々異論アリ甚不快ニ付十分  
辯論イタシ候

十月廿五日

樺山福島等發足

獨佛兩國公使ヲ訪  
フ

今朝樺山子比志島子兒玉子福島子發足福島ハ上海ハ樺山比志島ハ廈門ヨ  
リ臺地ハ赴ク筈午後李公使佛公使ハ尋問暇乞ノ爲ナリ李公使ハ形行ノ  
談ニ及本國ハ申送ルトノコナリ佛公使ハ留守中ナリ柳原公使入來  
今夕五字比英國公使來館曰ク昨日閣下御入來支那政府ノ談判到底彼證書  
相認ルヲ拒ミ候ヨリ不得止破談ニ及ハレ候趣承知仕若兩國ノ交際相絶候  
時ハ如何可成行哉兩國ノ大事ハ勿論我人民上利益ニ係候故總理衙門ニ至

英國公使支那政府  
ノ依頼ヲ受ケ來訪

英國公使ヨリ支那  
政府ガ償金五十萬  
兩ヲ納レ和約ヲ結  
ルナトスルノ意ア  
ルヲ告ゲ利通ノ許  
諾ヲ求ム

リ只今迄大臣ハ辯論致候就各大臣ヨリ頼ヲ受參館イタシ候其趣意ハ金  
額五十萬テールヲ出シ書面ヲ認ル事ニ決定セリ閣下之許可セラルヘキヤ  
如何トノ事故答テ曰ク御厚意忝存候從來此案件當五月以來ノ引續ヲ以談  
判往復ヲ重ネ終ニ去ル五日及破談其後猶辯法ノ談判ニ及候處是以去ル廿  
三日議論纏リ兼及破談候末最早斷然發途ノ用意ニ及歸朝明日ニ迫レリ何  
分不容易大事件ニ付勘考ノ上參上可及御答旨返詞セリ別ルニ今晚八字ヲ  
以テ約ス

就テ熟考スルニ今般奉命ノ義實ニ不容易重大事件談判纏ラスシテ此儘歸  
朝ニ及候得ハ使命ヲ終ラサル論ヲ俟タス。只至憂スルトコロ内國人心事情  
切迫戰ヲ朝夕ニ期スルノ勢アリ。是ヲ纏ルニ術ナク終ニ戰端ヲ開カサル可  
カラサルノ期ニ可立至然ルニ勝敗ノ上ハ勿論可恐ニアラス候得共名義上  
ニ於テ我ヨリ宣戰ノ名十分ナラス柳原公使觀ヲ拒ムノコアルモ是ヲ以テ  
戰ヲ交ユルノ譯ニイタラス然ルトキハ無理ニ交戰ヲ開クニ至ルヘシ此時

我ヨリノ開戰ハ名  
義上不可

英國公使ニ答フル  
ニ償金ハ支那政府  
ノ意ニ任セ我征臺  
シノ舉テ正義ト認メ  
ムルヲ以テス

ニ至リ人民ノ議論ハ不及。言外各國ノ誹謗ヲ受意外ノ妨害ヲ蒙リ終ニ我獨立ノ權理ヲ殺クニ至ルノ禍ヲ免サル虞ナシト謂フヘカラス然レハ和好ヲ以事ヲ纏ルハ使命ノ本分ナレハ斷然獨決シ左ノ條ヲ以英公使ニ答フ金額ハ望ニ任セ五十萬テールヲ可受納  
皇帝ノ恩典ノ名義ヲ止メ我在臺灣陣營建築道路築造難民等ノ爲金額ヲ拂フヘキ事

我臺征ヲ義舉ト見認ル事

臺藩事件ニテ起レル兩國間ノ紛議取消ノ事

金額ヲ拂ヒ在臺ノ兵ヲ撤スルコト

英國公使ヲ以テ我  
趣意ノ在ルトコロ  
チ支那政府ニ通告  
ス

此ケ條ヲ以論述シテ云ク今日厚意ヲ以來館ヲ忝フシ支那政府ヨリ談ノ趣熟考セシニ因リ十分ノ満足ニイタラス候得共拙者和好ヲ保存スルハ本分ノ職掌故金額ノ事ハ彼意ニ任スヘシ因テハ名義上ノ處ニ左ノ件々ヲ請求ス此旨總理衙門ニ傳ヘラレ度云々公使之ヲ諾シ横文ニ譯シ漢文ニ作レリ

就テ明十二字迄ニ支那政府ヨリ有無ノ決答アルヲ約ス

太田書記官吉原子同行共ニ一字比辭シテ歸ル此獨決ニ付テハ柳公使モ異論アリト雖モ畢竟金額ノ少キニ止マラム故ニ斷然之ヲ容レス

愚考スルニ兩國ノ和好ノ存否ハ重大ナルハ言ニ及ハス生靈ノ始末ニ關シ容易ニ決スヘカラス殊ニ我征臺ノ舉ニ於テハ人民保護上ニ起航客ノ安寧ヲ保タントノ一大美事ニシテ他念アルナシ然ルニ此金額多少ノ論ヲ以テ若事破レ候節ハ大ニ名譽ニ關シ義舉ノ意ヲ傷フニ似タリ況ンヤ彼十分意ヲ曲ケシ上ナレハ我獨立ノ權利ニ於テ敢テ欠コナシ只重ンスルトコロ名義ニアツテ金額ノ多少ニアラス此二ツノ者ヲ以輕重ヲ酌量シ一刀兩斷ノ決ヲ以テスル所以ナリ

主トスルトコロハ  
名義上ニ在リ償金  
ノ多寡ニ關セズ

英公使仲間ニ入ルヲ以必ラス批難アルヲ免レサルヘシ然トイヘ我一言彼レニ依頼セシコトナシ前條通總理衙門ヨリ依頼ヲ受内々我ニ通セシモノナレハ我之ニ答ヘサル能ハス尤公使ハ我意ヲ彼レニ通シ文章上ノコトニ

和議成ラバ上海ニ至リテ償金ヲ收受シ履門ヨリ臺灣ニ渡リ撤兵ヲ完了シテ後復命セシ

付テ往來スルノミ數多ノ論ヲ免サルハ固ヨリ期スル所殊ニ兵隊等ニ於テハ必不平ヲ唱フルモノアルヘシ因テ今般和議調ヒ歸朝復命ノ序上海ニ至リ金額ヲ收受シ厦門ニ至リ川村中將ニ面晤歸艦セシメ續テ蕃地ニ向西郷都督ニ面晤全シク退兵ノコトヲ説諭センコトヲ心決セリ然ル後 天皇陛下ニ復命セハ是聊カ我奉命ノ旨趣ヲ貫徹スルニ近カラシ

十月廿六日

英國公使來訪支那政府ノ意ヲ通ズ

今朝柳公使入來昨夜英公使談判ノ形行ヲ話ス今朝隨員井上田邊高崎福原小牧等ヲ招キテ昨日獨決ヲ以テ英公使ニ談判セシ趣キヲ示ス英公使來館昨夜談セシ趣總理衙門相示シ候處退兵ノ後金額ヲ拂云々ノコト有之其外文章上ノコトニ付少々異論有之辯解イタシ置候今日十二字ノ期限ヲ二字迄ト延引イタシ置候得共猶公使ヨリ斷有之候今晚九字又々英公使來館金額渡方之事ニ付退兵ノ後云々ノ異論有之猶辯論イタシ候

十月廿七日

支那政府我要求ヲ承認シ仍ホ明日ノ會商ヲ約ス

今朝英公使ヨリ吉原太田ヲ送り猶金額拂方ノ事申含遣候午后英公使書記官ヲ以入來種々示談我趣意艸案相渡候午后書記官ヲ公使ヨリ送り三ヶ條ハ總理衙門異議ナク追付書翰送致アルヘシトノ報知アリ三字頃總理衙門ヨリ略啓來ル本文三ヶ條ノ趣ハ同意ノ趣ニテ明日面晤ノコトヲ申來レリ

田邊太一ヲシテ條約文案ヲ草セシム

十月廿八日

英國公使來訪支那政府償金拂方ニ付キ異議アルヲ述ブ

今朝吉原太田兩子ヲ英公使ニ遣シ尙條々ヲ申送レリ午前英公使來館金兩渡方ノ事ニ付總理衙門異議アリ因テ其段ヲ示談アリ公使モ考ノ趣ヲ示サル予答テ曰ク勘考ノ上追刻返詞ニ及フヘシト此ノ上勘辨ヲ加ヘ外ニ二策ヲ立テ二字過ギ全公使ヲ訪ヒ陳シテ曰閣下ノ配意ニ對シ此二策見込ヲ付タリ外ニ一切考慮ナシ是件迄ハ御通シ下サレタシト全公使諾シテ云ク愚

英國公使ヲ訪ヒ我が案ヲ示ス

慮ニ對シ御見込ヲ替ヘラレ候趣別ニ忝歡入候猶十分可盡力トノ事ナリ  
柳公使入來今晚十字后英公使書翰ヲ以總理衙門ノ模様ニ付少々文章上ノ  
論有之明早朝恭親王ハ差出管ノ由云々

十月廿九日

今日無事午后柳公使入來六字頃英公使使ヲ以書記官來ル今日總理衙門ハ  
談合ノ趣且公使ノ書翰持參其趣ハ十萬兩ヲ何時ニテモ相渡スヘク四十萬  
兩ハ互ニ期日ヲ定メ全時可拂云々由テ勘考候得ハ格別不都合ニモナク候  
ニ付委細承知ノ旨ヲ以テ返詞明朝公使館ニ至リ直談ニ可及ト申入レタリ  
右治定ノ上ハ明日書記官ヲ衙門ニ遣シ條約艸案ヲ總衙ト内談イタサセ明  
後日調印ノ運ニイタシ十二月朔日ニ發足ト取究タリ

福原大佐岩村高俊小牧昌業ヲ調印出來次第先發本邦ハ報告スヘキト決シ  
タリ尤芝罘滯舟玄武丸ヲ以直行小子ハ飛脚船ヨリ上海ハ參リ十萬兩收手  
ノ運ヲ付蕃地ハ廻歷西郷都督ハ撤兵ノ事ヲ談シ候合尤厦門滯船河村中將

支那政府ノ意先  
償金十萬兩ヲ納  
更ニ日ヲ期シテ  
十萬兩ヲ納付セ  
トス乃チ之ヲ聽  
ス

英國公使ヲ訪フ

ハモ全斷ナリ是我職掌ヲ盡シ長崎ニテ大隈參議西郷都督約束若此件ニ付  
國難ヲ生セハ小臣其責ニ任スヘキト復命セシ言語アレハ退兵ノ一迄モ運  
ヒ付カサレハ任ヲ終ルト言フ可カラス由テ此ニ決スル所以ナリ諸事都合  
能退兵ニ至レハ始テ小子ノ責任ヲ全フスト云ヘシ若退兵ノ事ニ於テ不都  
合アラハ小子内外ニ對シ天地ノ間ニ立候事能ハサルヘシ

十月卅日

今朝吉原子ヲ從英公使ハ參昨夜ノ書面無異議旨ヲ答ヘ書面ヲ渡シ日限ヲ  
十二月廿日限ト定メタリ公使諾ス辭シテ歸ル午后一字過英書記官公使ノ  
使ニテ來ル總理衙門ハ公使モイタリ今朝ノ旨ヲ談シ總理大臣モ異議ナク  
トノ事故則三字半ヨリ田邊鄭太田ヲ總理衙門ハ遣シタリ米領事入來  
五字比鄭田邊太田歸條約艸案別ニ無異條則今晚 奏問ヲ經明日彼是調印  
ノ都合ニ可取計トノ一ニテ安心イタシ候

十月卅一日

田邊鄭太田ヲシテ  
條約案ヲ携ヘ總理  
衙門ニ至ラシム

利通柳原公使以下  
ヲ隨へ總理衙門ニ  
至リ條約書ニ調印  
シ之ヲ交換ス

今日午前鄭書記官ヲ總理衙門ニ遣シ調印ノ都合且臺地ハ陣營引渡方ノ手  
順ヲ聞シム四字前歸ル條約書伺濟相成候ニ付今日ニテモ差支ナクハ可參  
トノ事故則柳原公使鄭書記官太田鐵道頭全行總理衙門ニ至ル條約調印相  
濟互ニ取換シ候是迄往復公文互ニ返却相濟候上海稅關ニ於テ資銀相拂候  
書面相受取候今日夫既往ハ話セス今般議論合同調印之運ニ相成兩國ノ大  
慶人民ノ幸福實ニ満足ニ堪ヘス爾後益親睦ヲ厚フセンコトヲ希望セントノ  
意ヲ述ヘタリ答ニ御同様満足兩國ノ大幸ト存候是迄之事假令ハ浮雲ノカ  
クルカ如シ忽晴テ是ヨリ益輝クヘシト云々別ニ臨ミ彼ヨリ李鴻章ニ此度  
ハ尋問イタシ吳トノ意并互不侵越疆土トノ義ヲ守ルヘシ云々ノ意ヲ書面  
ニテ示セリ小子之ヲ諾ス

八月六日橫濱出發  
以來ノ苦心漸ク酬  
イラル

列席文祥黃恂沅桂芬毛四人ノ大臣列席ナリ小子不容易重命ヲ奉シ八月六  
日橫濱ヲ發シ九月十日北京ニ着數度往復談判兩度破ニ及終ニ今日和議成  
條約調印相濟ミ實ニ安心無此上且聊使命ヲ全フスルヲ得只々國家ノ爲可

賀之至是迄焦思苦心言語ノ盡ス所ニアラス生涯又如此ノニアラサルヘシ  
顛末ハ辨理始末ニ明カナレハ委事ハ不記此日終世不可忘ナリ六字別ヲ告  
互ニ兩國ノ祝賀ヲ述欣然トシテ手ヲ分テリ

歸館食事ヲ終リ則吉原子ヲ伴ヒ英公使ヲ訪段々厚意ノ忝ヲ謝シ漆器ヲ送  
ル書記官ハモ全斷公使大ニ歡喜セリ

明朝福原大佐小牧昌業岩村高俊報知トシテ差立候ニ付趣意申含公信ヲ渡  
シ黒田子ハ一封ヲ小牧ニ托ス明朝發足ノ用意ヲナス

十一月朔日

今朝八字前英公使爲暇乞入來總理衙門大臣賈夏惣大臣爲名代暇乞トシテ  
來尋八字旅館ヲ發シ公使館ニ至リ是迄ノ勞ヲ謝シ告別與ヲ發ス隨員ニハ  
太田鐵道權頭吉原租稅助井上毅高崎正風金井權少內史ボアソナード氏池  
田名村判任川村萩原等田邊外務大丞一行ニ列ス福原大佐岩村高俊小牧昌  
業ハ今朝陸地先行(欠文) 二字過通州ハ着船用意調居タレハ直ニ乘船四字解

英國公使及總理衙  
門大臣暇乞トシテ  
來訪ス  
利通英國公使ニ勞  
ヲ謝シ隨員ト共ニ  
北京ヲ發ス  
岩村小牧等ヲ先ヅ  
歸朝報告セシム  
通州ニ至リ乘船白  
河ヲ下ル



纜九月十日北京に着滞在凡五十日餘實ニ重難ノ任ヲ受困苦不可言幸ニ事成局ニ至リ北京ヲ發シ自ラ心中覺快嗚呼如此大事ニ際ス古今稀有ノ事ニシテ生涯亦無キ所ナリ舟中無事此日天氣殊ニ平穩秋天高霽四望浩浩如海往事ヲ思將來ヲ考潜ニ心事ノ期スルアリ晚景登岸行歩里許

十一月二日  
今朝夢覺蓬窓寒透昨夜來船行速ナリ吉原子來船閑話ス

舟中偶成詩二首

舟中偶成

起句後ニ改メテ奉勅單航向北京ト爲ス

星使乘龍馳北京 黑雲堆裏蹴波行  
和成忽下通州水 閑臥蓬窓夢自平

又

轉結後ニ改メテ自是國交期永遠更將內治護皇基ト爲ス

國運元有興隆期 偉業十年終不違  
一夜濤聲西海響 猶鳴球上立皇基

十一月三日

天津ニ至リ米國領事館ニ投宿ス  
李鴻章ヲ訪問ス

今朝五字天津着十字上陸孟春艦滯泊福原其外ニ面會米利堅領事館ニ投宿孟春艦長福原松村其外見舞有之午后三字ヨリ太田譯官ヲ誘李鴻章ヲ訪問ス門内ニ至ル道臺孫子達外二人出迎階前ニ至ル李氏出迎就席  
我云今般滯京中諸大臣ノ厚意ヲ蒙殊ニ和議相調満足ニ堪ヘス今日大人ヲ見ル歡何物カ如之

李云兩國ノ爲ニ賀ス我何之用ヲ成モノニアラス又云北京滯留數日御心中如何

副島ニ比較シ利通ヲ賞揚ス

我云厚意ヲ受快然消光セリ彼笑云閣下量大ナルカ故ナリ又云伊達副島公(宗臣)ニ別テ厚意ヲ受副島ハ材アリ氣量アリ乍去閣下ノ御手涯遙ニ増レリ  
我云赧顏ニ堪ヘス

彼云貴國ト我國ハ唇齒ノ國ニシテ離ル可カラス我見ル所アリ條約互歎ノ時種々ノ論アリトイヘト斷然論破シテ終ニ條約成レリ今後信ヲ厚フシ親睦ヲ固フセン是我カ初メヨリノ素志ナリ

兩國ノ交際コレヨ  
リ親密チ加ヘン

我云固ヨリ全意ナリ既往ハ姑ク置是ヨリ一層ノ信ヲ結ハント欲ス雨降地  
固ノ俗語アリ此事アツテ却テ兩國ノ幸ナラン請見ヨ我爲ス所果シテ信ア  
ルカ信ナキカ

李曰ク貴國ノ事ハ  
閣下之ニ任ゼヨ當  
國ハ我之ニ任ゼン

彼云如此ナラハ則兩國ノ一和疑ヲ容可カラス然ラハ貴國ノ事ハ閣下之ヲ  
任セヨ當國ハ我之ヲ任セン事ヲ爲スハ一人ニ任スルニ非サレハ貫徹スル  
モノニアラス

我云諾

彼云貴國着眼速ニシテ万事ノ運齊成ス我國ハ御承知之通國古フシテ舊弊  
固結改革容易ニアラス直隸州ノ如キハ我意ニ任ストイヘテ十分ヲ成ス  
能ハス

兩國提携セバ東亞  
ノ勢ヲ増サン

我云察之然トイヘテ閣下任シテ今後ヲ着手一度翅ヲ揚ルヲアラハ何物カ  
敵之我小國ナリトイヘテ協力同心セハ亞細亞ノ勢ヲ東方ニ及サン  
キニアラスト思フ是我眞ニ希望スルトコロナリ

彼云然リ閣下能ク之ヲ欲セハ實ニ歡喜ニ堪ヘス近ヲ親遠ニ疎ナルハ自然  
ノ理ナリ貴國ト我國萬事途ヲ殊ニセス親マスンハアル可カラス既今般臺  
灣ノ事件ノ如キ歐人種々ノ説ヲ以日本ノ爲ス所ヲ否トシ小銃彈藥等ヲ頻  
ニ進メリ實ニ益ヲ彼ニ與フ豈ニ拙ナラスヤ

我云固ヨリ是注意セサル可カラサルナリ

彼云貴國船舶幾艘ナルヤ

我云全國大小ノ蒸汽船百五十艘ナラン貴國ハ如何

彼云五十餘艘ナリ

我云貴國煤炭鑛如何

彼云莫大ナリ貴國銅山ハ如何

我云夥多ナリ

彼云我國銅山ナシ甚窮スル處ナリ

我云銅ハ澤山ナリ若之ヲ要スルヲアラハ我之ヲ辨セン

利通曰ク日本ニハ  
銅山多シ必要アラ  
バ供給セン

彼云大幸ナリ然ラハ入用ノ節閣下ニ書ヲ呈シ相願然ルヤ  
我云諾

彼云閣下之ヲ諾セハ則代價等閣下ノ言ニ任セテ可ナリ

我云辨スル處ハ之ヲ辨セン就テハ我必貴國ニ求ムルノ品アラシ

然ラハ閣下ニ書ヲ呈シ之ヲ求メン

彼云是有無相通スルノ道ニシテ固ヨリ所望ナリ

我辨之

彼云速ニ貴國ニ領事官ヲ送致センコトヲ期セリ

互ニ領事ヲ置キ親睦ヲ厚クセン

我云是固ヨリ望ムトコロナリ是非速ナランヲ欲ス有之ラハ氣脈ヲ相通スルコト速ニシテ大ニ親睦ヲ厚フスルノ一端ナリ

彼云然リ則臺灣事件ノ如キ之レ氣脈ヲ通セサルヨリ起ル所以ナリ

右雜話上ノ要略

酒肴ヲ供シ共把祝杯四字過歸館五字孫子達外兩人來館李氏續テ來館雜話

李氏答禮トシテ來訪ス

李ト共ニ天長節ヲ祝ス

今日 天長節ニ當ル我杯ヲ把シヤンバンヲ勸メ云今日我

皇帝陛下ノ降誕日ニ當ル此日ニ閣下ニ相逢實ニ偶然ニアラス和好永遠ノ

徴トスルニ足ル幸ニ閣下祝シ玉ハンコトヲ望ム

彼云妙ナリ實ニ閣下ノ逗留日少キヲ恨ム

畢テ告別歸館我階前ニ送ル把手久シ今日六字オリエンタルバンクトベル

ソンビットマン見舞有之領事妻君ニ別ヲ告今晚十字マビン號郵船ニ乗船

全行李仙得氏ボアソナード氏吉原高崎金井太田池田名村井上河村萩原等

ナリ

十一月四日

今朝六字二十分開帆天津河ヲ下ル天氣快晴船行神速不堪快然一字太沾ヲ

過

孟春艦昨解纜追過之終日順風入夜益疾

十一月五日

天津ヲ發ス

芝罘ニ至ル  
今朝八字前眠覺メ既ニ芝罘港に達シ九字投錨龍驤艦ヨリ端舟ヲ以テ小テ  
神奈川丸ニ上海廻  
航ヲ命ズ  
乗船否ヲ問ハン爲遣セリ神奈川丸幸ニ停船則艦長ヲ呼上海廻船ヲ命ス

伊東少將龍驤艦長福島隈岡百士等爲見舞入來由大略ノ模様ヲ話シ是ヨ  
リ直ニ歸朝ヲ命シタリ玄武丸に孟春艦着港則出帆ノ用意ヲ命ス李仙得氏  
伊東祐磨等ヲ歸朝  
セシム  
芝罘ヲ發ス  
玄武丸ヨリ歸朝ノヲ命ス二字李氏ニ別ル公信一封ヲ出ス四字當港ヲ發  
ス順風ニテ船行速

十一月六日

今朝七字睡覺天氣快晴海色渺茫不見山順風宜夕船行速不堪愉快今日比ヨ  
リ氣候變シ暖氣ヲ覺フ

十一月七日

今朝七字睡覺海水黃色上海ノ近キヲ覺フ十字比魚島ヲ見ル一字前揚子江  
川口ニ入ル凡四字上海に着則上陸領事館に投宿福島樺山比志島兒玉等ハ  
上海ニ着シ領事館  
ニ宿ス  
今朝先着ニテ則見舞有之隨員一同入來本邦に電信ヲ出ス

十一月八日

今朝同知陳福勳尋問有之午前十一時米郵船本邦に開帆ニ付隨員吉原高崎  
陳福勳來訪  
吉原高崎井上等ヲ  
歸朝セシム  
井上太田教師ボアソナード氏名村池田田邊等歸朝イタサセ候今朝正院に  
電報出ス

午后一字佛舊北京在住公使尋問有之三時前陳福勳入來道臺沈秉成就所勞  
名札持參斷有之明夕陳福勳ヨリ響應招請有之三時ヨリ金井同車諸所乘廻  
シ候

十一月九日

今朝正院に電報ヲ出ス償金ノ名目公文往復取消ニ付世上流布セサル様云  
々申遣シタリ午后三時佛公使舊北京在住に答禮トシテ尋問今日四字稅務  
長外國人某外一人入來支那政府ヨリ可拂十萬テールノ金額渡方ノ談有之  
明朝九字入來ノ約束ニテ別ル  
陳福勳ノ招宴ニ赴  
ク  
稅務長ノ外人來訪  
償金十萬兩渡方ニ  
付キ談ズ  
今朝同知陳福勳響應ニ付福島領事金井河村等同行相訪種々ノ馳走ニテ十

字比退ク

十一月十日

償金十萬兩ヲ收受  
造船所ヲ觀ル

今朝九字稅務長等十萬兩金額引渡トシテ入來證書等遣ス無滯收手安心イ  
タシ候午前十一時前ヨリ當所造船所一覽トシテ福島領事金井一同至ル長  
官馮竣光丁寧案内コレアリ小銃打立且造船等隨分盛ナリ  
午後英國アドミラル來尋有之五字比米國人ハールト入來今日田中周藏芝  
罌ヨリ着猶臺地ノ模様ヲ聞ケリ

三條公ヨリ電信ア  
リ

今日三條公ヨリ傳信有之兩度電信落手セリ云々ノ趣ナリ今晚廈門ノ電報  
シ日進艦ノ臺地ニ先發和議ノ模様ヲ報知スヘシト云ヒ送レリ

神奈川丸石炭積十二字迄相濟旨ニ付明十二字乗船ヲ決シタリ英軍艦アド  
ミラル爲見舞入來

十一月十一日

今朝十字造船所長官馮竣光暇乞トシテ入來同知陳福勳入來今日十二字乘

神奈川丸ニ搭乘上  
海ヲ發ス

船神奈川丸ヨリ發ス同知陳福勳小蒸汽船ヲ供へ本艦迄見送リ有領事品川  
等モ同斷

四字比開帆順風至晚景揚子江川口ニ至此日天氣清澄四望浩然 同行隨員

金井河村平川并ニ樺山田中福島兒玉田中出島川合等ナリ

十一月十二日

今朝天氣同斷順風船行速舟山等ノ島ヲ見島嶼多シ

十一月十三日

今日天氣同順風船行速入夜廈門燈臺ヲ見今夜一字十五分廈門ニ着一泊

十一月十四日

今朝十字上陸至領事館福島(九成)ヨリ饗應アリ當所風景絕妙一灣綠水奇石怪巖  
雅趣無極暫ク散步繞山

偶成

秋色海光望裏清 一灣綠水廈門城

下ノ詩後二次ノ  
如ク改ム  
秋色長天望裏清  
一灣綠水廈門城

樹蟠石秀風趣多  
造化奇工畫不成

樹蟠石秀多風趣 天造奇巧畫不成

此日(欠文) 至夜遊領事館十字歸船

廈門ヲ發ス

今日十字當所ヲ發ス港中ヲ離ル二三里ニシテ風浪激烈船搖蕩午食晩食ヲ  
廢ス夜半過澎湖島ヲ過風波少穩當所ヨリ道臺頼ニ付兵隊壹人吳書記官來  
船

十一月十六日

打狗港ニ至ル

今朝九字打狗港ニ着ス天氣平穩當所ヨリ福島領事吳書記官支那人二人上

琅瑤山ニ上陸ス

陸爲ニ三時投錨十字揚錨開帆午后四時琅瑤山ニ着樺山兒玉比志島等先ニ

西郷都督來リ迎フ

上陸續テ小子上陸西郷都督途中ニ出迎有之則至本營谷少將(千總)佐久間大佐池

北京談判ノ始末ヲ  
告グ

田大尉(運使)日高中尉等一席ニテ北京談判ニ付旨趣書辨理始末節略目表等一覽

ニ供ス都督始一同熟覽無異議各安心爲ニ賀ヲ述ベラレ候小子態ト蕃地ニ  
參リ候趣意他ニアラス初發ヨリ征蕃ノ舉齟齬ノ義多ク中止ノ模様アリシ  
節モ甚不都合小子長崎ニ出張大隈長官西郷都督更ニ條約イタシ候コトモ

異議ナク撤兵ニ決  
ス

有之此結約ニイタリ若ヤ退兵緩急ノ事ニ付異議ヲ生シ候節ハ太々不相濟  
支那政府ニ對シ小子一分モ不相立トニ付先蕃地ニ至リ都督ニ相談シ若シ  
異議アル時ハ決テ承知不致合ニ相決シ候處何モ無異議實ニ安心無此上候  
既ニ本邦ノ都合モ東久世(通使)侍從長爲 勅使東海丸ヨリ臺地ニ御發シ退兵ノ  
御沙汰相成筈運送船モ五艘去ル十三日夜東京出帆ノ趣電報有之シ故何事  
モ殘ル處ナク上都合ニテ唯復命スルノミ今夜營中ニ一泊

十一月十七日

石門ノ奇跡ヲ探ル

今朝飯後金井川村平川召列シ田中盛知嚮導ニテ石門一覽ニ至ル途中社寮  
川ヲ渡リ新溪ノ人家ヲ過夫ヨリ車城川ヲ渡リ頓領蒲ヲ見又車城川ヲ渡ル  
五月五日進撃ノ節斥候一名狙撃セラルト云フ又四重溪ノ南ニテ小渠ヲ渡  
ル此地ニテ同十日斥候ヲ討タル是レヨリ又川ヲ渡ル石門ニ出ツ實ニ千尋  
ノ巉巖双立一奇景ナリ双巖ノ間ニ川流アリ五月廿二日ノ進撃ニハ洪水ニ  
テ溺死ノ者アリシ由石門ヲ少シ出過ル處ニ埋伏蕃人狙撃セシ趣ナリ是ヨ

リ川ヲ渡リ五六丁ヲ過牡丹山ヲ望ミ石門ニ歸リ暫時馬ニ秣ヒ休息シテ馬  
ヲ進ム當所迄守兵來ル午後二字歸營

下ノ詩後ニ次ノ  
如ク改ム  
王師一至懲兇  
龍貅三千兵氣  
請見皇威及異  
石門堡上旭旗  
風城雄

王師一至懲兇會 戰克三千兵氣雄  
請見皇威及異域 石門頭上旭旗風

瓊浦丸着ス

午後四時後龜山麓ノ小山ニ登ル西郷樺山高柳等同道ナリ 今日瓊浦丸大  
砲隊ヲ乗セ着船

萬里遠征ノ詩

大海波鳴月照營 誰知萬里遠征情  
孤眠未結還家夢 遙聽中宵喇叭聲

十一月十八日

利通谷少將等ト神  
奈川丸ニ搭乘臺灣  
ヲ發ス

今朝九字都督始に別ヲ告ゲ出發儀仗兵營前に整列捧銃ノ禮ヲ行フ都督始  
海邊迄見送リアリ儀仗兵海邊迄行軍端舟ヲ發スルニ臨ミ捧銃ノ禮アリ十  
字神奈川丸に乘船谷少將比志島池田田中川上其外同船病人百七十餘凡一  
字揚錨此時大砲祝砲十九發天氣平穩四望浩然意豁如此日臺地ニ添南部ニ

就テ航ス

十一月十九日

今日天氣同昨日ヨリ平穩ナルヲ覺フ今日モ臺地東南ノ部左視シテ航ス四  
字后ニ至ツテ臺地ヲ願ルニ至ル入夜海上益穩

十一月廿日

今朝天氣平穩殊ニ風順宜シク船行尤速明后廿二日長崎着船スヘシト船長  
言ヘリ因る廿三日長崎開船直チニ東京に向航スヘキヲ談ス

今夜月色浩々甲板上運動海天渺茫四望一點ノ目ヲ遮ルナシ

十一月廿一日

今日天氣同斷晚景逆風船行遲入夜有風船行疾月色尤好

十一月廿二日

今日睡覺遙見山則長崎地方ナリ船中皆催歡十二字長崎に着丁卯艦ヨリ迎  
船來ル則上陸丁卯艦并ニ臺場ヨリ祝砲アリ魯西亞軍艦ヨリ祝砲アリ今町

長崎ニ上陸ス臺場  
及軍艦ヨリ祝砲ア

松屋半次郎宅に旅宿縣令宮川津畑に  
出迎有之横山租稅助林等旅宿に  
待迎有之其外見舞客有之

十一月二十三日

今朝七字半丁卯艦ヨリ迎船有之  
乘船宮川横山林遠武縣役人各  
津畑マテ見送有之丁卯春日艦  
ヨリ禮式有之神奈川丸に乘船  
臺場丁卯艦ヨリ祝砲有之

神奈川丸ニ搭乘長崎ヲ發ス

魯西亞軍艦ヨリ同斷九字開帆  
今日順風不宜

十一月廿四日

今朝ヨリ順風少シク宜シ午後  
ニ至リ雨降風浪強船搖蕩

十一月廿五日

今朝雨止風不順遙見紀州大嶋  
船搖蕩少止ム

十一月廿六日

今朝風順不宜舟行少シク遲シ  
今晚十二字横濱着港然シナカ  
ラ上陸不致吉原子被參式部頭  
坊城殿 御使トシテ御尋問有  
之御口上拜承

横濱港ニ至ル坊城式部頭勅使トテシ來リ慰問セラレ

十一月廿七日

今日早朝黒田子調所子西村子堀子  
其外野口等尋問有之小蒸汽船迎  
船ヲ賜ル縣令中島參事大江出迎  
ニテ太田金井同船ニテ上陸波止  
場に着船 御馬車ヲ賜リ參議伊  
藤式部頭坊城ドノ出迎有之岸上  
に見物ノ貴賤内外人民群ヲ成ス  
當所惣代始數百人禮服ニテ出船  
脱帽ノ禮アリ予答禮則 御馬車ニ

横濱ニ上陸ス 迎ヘノ馬車ヲ賜ハ

伊藤參議式部頭坊城ドノ同車大  
藏省出張所ニ至ル當港ノ景況戸  
毎ニ國旗ヲ飄シ種々ノ飾リ物ヲ  
拵ヘ人民歡喜ノ體誠ニ意外ノ有  
様ナリ大藏省出張所ハ華族伊達  
侯龜井侯山内侯其外壬生ドノ御  
出迎有之無程太政大臣殿御使ト  
シテ御着御慰勞ノ御口上アリ御  
食事ヲ賜ル十一字比町會所ハ伊  
藤子同行ニテ至ル惣代始當港人  
民二百人餘禮服ニテ廣間に列シ  
拙者中央ニ席ヲ設ク令參事左右  
ニ侍シ高島嘉右衛門賀頌ノ文ヲ  
讀ム余之ニ答フ山梨縣ヨリ人民  
惣代トシテ兩人出港全シク賀頌  
アリ委曲々別冊ニアリ式終テ

町會所ノ市民歡迎會ニ臨ム

酒食饗應アリ則退坐又高嶋屋に  
至ル内務省官員奏任以上二十人  
餘待迎有



横濱ヨリ汽車ニテ  
新橋停車場ニ着ス

迎ヘノ馬車ヲ賜ハ  
リ直ニ参内ス特ニ  
儀仗兵ヲ附セラレ

之暫クシテ大藏省出張所ニ至ル一字汽車ヨリ大臣殿始一同ステーションニ至ル同所當港人民惣代始見込トシテ出張ス禮ヲ述テ乗車勅奏任一同ト歸ル二字新橋ステーションに着ス同所ハ宮内省大丞杉氏等(七席)御使ニテ出迎有之其外警視廳總代出迎有之是ヨリ又御馬車ヲ賜リ大臣殿伊藤參議同車騎兵一隊警衛儀仗一大隊整列捧銃ノ禮アリ太政官迄騎兵隨行御門ヨリ昇殿

皇上階上ニ親迎シ  
タマヒ優詔ヲ賜フ

皇上階上ニ御迎被爲在拜禮御跡ニ隨正院ニ出御坐ヲ賜フ勅語アリ別ニ記ス一應

復命ノ式アリ終テ  
酒肴ヲ賜フ

入御ニテ休息ヲ賜ハリ無程三職一同被爲食復命ノ式アリ終テ御酒肴ヲ玉ハル還幸御庭前御見送り申上ル四字退出御馬車騎兵歸宅迄玉ハル嗚呼人民ノ祝賀

生涯ノ面目感泣ノ  
外ナシ

御上ヨリ御待遇ノ厚誠ニ生涯ノ面目只々感泣ノ外ナシ終世忘却ス可カラサルノ今日ナリ今晚客來成群不遑記

十一月廿八日

今朝得能子入來九字

参内御禮言上

皇居ニ参昇昨日不容易御取扱ヲ蒙リタル御禮申上ル

皇后宮ニ拜謁優渥  
ナル旨ヲ賜フ

皇后宮謁見被 仰付談判成局 御安心被爲在旨 御沙汰有之不堪感銘是

又別ニ記ス

十一月廿九日

伊太利公使來訪

今朝金井子吉原子入來十字伊多利公使入來午后一時汽車ヨリ石橋同行横

濱ニ至リ英國公  
使ヲ訪ヒウエ  
ドレ氏幹旋ノ勞ヲ  
謝ス

濱ニ至リ英公使ヲ訪ヒ清國在住英公使威氏(ウエイド)ノ懇意ニ預リタル謝禮ヲ述ブ

同氏大ニ賀頌有之且談判ノ大略ヲ聞カントノ故十月五日以來ノ順序概略ヲ話ス再三質問ノ廉一々答辯ス同氏云閣下今般ノ盡力兩國人民ノ爲賀スルニ餘アリ余兩國ノ爲深ク痛心セシカ如此至當ノ處分ニ及誠ニ安心ス萬一戰爭ニ及ハ、貴國ノ爲必ス禍害タラント如何トナレハ英佛トノ戰爭スラ容易ナラサリシ一時ノ戰ニ於テハ勝利ニアルニセヨ中々大國ノナ

レハ急速ニハ遂ケ難カルヘシ時日延引スル内種々ノ故障起リ各國ノ關係ヲ生セン然ル時ハ難事タルヲ必セリ云々酒ヲス、メテ賀セル事再三ナリ凡二時間ニテ歸ル

十一月三十日

獨逸公使ヲ訪フ

今朝岩村子得能子安藤子伊藤子入來伊藤子ハ酒田縣一條ヲ談ス伊地知正治子入來午后内務省ニ出席三字前孝國公使ニ尋問同氏モ亦清國事件ヲ賀シテ云ク實ニ感服ニ堪ヘス閣下歸朝后天氣快晴ナルハ自ラ天地ニ感スルトコロナリ北京ノ談ニ及ンテ我彼地ノ圖畫ヲ所持セリ閣下ノ思出ノ爲進呈スヘシト出サレタリ余之ヲ謝ス歸途西郷氏ニ立寄り 有栖川宮ニ御禮トシテ參上毛利從三位公尋問アリ今晚黒田子川村子吉井子入來  
十二月朔日

岩倉公來訪

米國公使ヲ訪フ

今朝松平正直子川路子井上金井大隈子入來岩公御入來午后三字石橋子同行米公使ヲ訪清國談判結局兩國和平ノ處分實ニ至當ニテ感スルニ餘リア

リ則我國ニ報シテ曰ク若シ外國ニ對シテ事アラハ此始末ヲ龜鑑トスヘシト誠ニ今般閣下ノ御盡力兩國ノ爲賀頌スルニ堪タリト云々酒ヲ進メテ待遇アリ歸途五代子ヲ訪園基

十二月二日

横濱ニ赴キ露國公使ヲ訪フ  
大山綱良來ル

今朝伊藤子入來伊地知正治子入來一字ヨリ石橋氏同行横濱ニ至リ魯公使ヲ訪フ留主ニテ妻君ニ逢三字半歸京歸途條公ニ參上歸大山縣令入來鹿兒嶋ノ事情ヲ聞ク

十二月三日

今日風雪甚シ黒田子入來云々ヲ談ス奈良原子入來云々示談今夕松方子岸良子入來

十二月四日

今朝三島吉田子入來其餘來人多シ十字過中御門殿壬生殿ニ爲禮參ル十二字歸稅所氏着ニテ吉井氏ニ訪ソレヨリ中山家岩倉公立寄歸宅吉井子稅所

子五代子入來吉原奈良原寺田<sup>(註)</sup>大山子稅所子入來

德川從一位殿池田公<sup>(註)</sup>ヲ訪

十二月五日

伊太利公使ヲ訪フ

今朝宮内某入來伊多利公使ヲ訪フ二字ヨリ德川從一位殿ヲ訪岩倉公入來

黑田伊藤子人來今晚大山寺田吉井子入來

十二月六日

今朝川路子安藤子入來九字ヨリ稅所子同車高輪邸ニ參ル得能子吉原子福

原今井子等入來家作ノ事ヲ託ス五時歸ル條公ニ參上

十二月七日

車駕運沼村ニ臨ミ兵ヲ閱シタマフ外國公使モ陪觀ス

今朝八字ヨリ蓮沼村<sup>(元豐馬場)</sup>調練

天覽有之參ル外國公使等モ拜見被 仰付凡一萬餘ノ兵員ニシテ稀ナル大

調練ナリ誠ニ盛大ナリ六字歸宅

十二月八日

伊藤ヲ訪ヒ内談ス

今朝八字前山<sup>(有明)</sup>縣子入來高崎子入來稅所子同道伊藤子<sup>(註)</sup>訪ヒ拙者勘考ノ筋有之及内談候暫時岩倉公參上歸宅奈良原子入來云々示談二字ヨリ下谷正

親町三條殿小梅龜井殿次ニ山内殿<sup>(義久)</sup>尋問濱町細川殿<sup>(義久)</sup>モ尋問歸宅

十二月九日

今朝伊地知子入來林子入來九字ヨリ

皇居ニ參昇清國隨行官員一同於

御學問所謁見被 仰付清國談判ニ付一同太儀之段

清國派遣員一同ニ謁ヲ賜ヒ優詔アリ利通ニ錦及紅白縮緬ヲ賜フ

勅語有之難有御禮奉申上候終<sup>(註)</sup>内侍所參拜神酒幣物ヲ賜ル控所ニ退ク錦

三卷紅白縮緬四匹宮内省山岡<sup>(顯太郎)</sup>ヨリ拜領被 仰付隨員<sup>(註)</sup>モ夫々賜リ候十一

字比退出稅所吉原同車川村氏<sup>(註)</sup>參金星經過一覽イタシ候今日彦之進伸熊

京彦之進伸熊母子着

始母子一同着ノ由參早々歸宅久々振面會安心イタシ候今晚吉井子稅所子

大山子寺田子川村子等入來祝盃ヲ傾候

十二月十日

獨露兩國公使來訪

今朝龜井公入來海江田子伊地知正治子川路子等入來午后三時李國公使入來三字過キ魯公使尋問有之同氏ハ本國政府ヨリ今般清國談判終局ニ至リ賀申送レリ畢竟閣下ノ御功勞ト存候ニ付御祝詞申上候云々挨拶有之寺島子入來英國威氏ノ送品ノコヲ示談セリ

十二月十一日

毛利元德公ノ招請ニ赴ク

今朝吉井子入來后一時ヨリ毛利從三位公招ニ參上 有栖川宮三條公其外伊藤子山縣子宍戸子杉子等會食七字退坐高輪邸ニ立寄り共參リ居一同歸宅

十二月十二日

英國公使來訪

今朝條公ニ參上御留主ニテ吉井ノ訪ヒ午前歸午后四時英公使入來今晚吉井ノ訪

十二月十三日

今朝林大丞川瀨大丞入來又伊藤子入來小子見込ノ事件條岩公御同意彌御

御内幣金壹萬兩ヲ利通ニ賜ヒ佐賀事件以來ノ勳勞ヲ賞セラル

決着ノ旨巨細承ル午后田邊子入來英國公使威氏ノ書通ノコヲ托ス午后四字稅所子木場子同道五代子ヲ訪圍碁

十二月十四日

今朝海江田子岩山氏等入來岩公ニ參上歸吉原子野村子入來昨十三日

皇居ニ被爲 召宮内卿代理萬里小路殿ヨリ當春佐賀縣騷動引續清國事件不容易骨折致候譯ヲ以別段ノ 思食ニ御手元金壹萬圓被下候趣ニ當坐御請御禮申上退出

十二月十五日

今朝川瀨子古谷子入來十二字ヨリ得能子ノ訪稅所子五代子ト會圍碁歸程訪吉井氏

十二月十六日

今朝岩山子田中子前山子入來岩倉公御入來午后二字シーボルト氏入來三字李仙得氏ボアソナード氏ノ見舞今晚得能子石原子入來

シーボルト來訪

十二月十七日

今朝税所子歸縣被致得能子入來九字同車新橋ステーションマデ見送トシ  
テ至ル吉井氏モ税所子同道下坂アリ十字后五代子就下坂爲暇乞入來午后  
田邊子池田子入來(讀之)何氏入來一紙艸案相托ス今晚奈良原子入來四字 久光  
公は參候云々心事申上ル凡る御異論無之六字歸ル石原子伊藤子入來

十二月十八日

御下賜金返上ノ願  
書ヲ上ル

今朝川路子林子吉原子等入來萬里小路殿に至リ賜金返上ノ願書差出ス猶

小子微志云々陳述相願置候十一字松方子入來四字伊藤子は訪小子溫泉行

木戸へ書通ノ件

木戸子(字七)は書通ノコヲ談六字歸

十二月十九日

三條岩倉兩公ニ心  
事ヲ詳述ス

今朝吉原子奈良原子入來十一字ヨリ岩公は參上條公御出會御質問ニ付小  
子云々ノ心事巨細陳述且 久光公云々ノコモ申上御安心相成候歸途德大(實則)  
寺殿は相尋賜金返上ノ事猶又相願候坊城式部頭福羽氏(美壽)は一禮トシテ相話

候今晚吉原氏入來

十二月廿日

今朝得能子吉原子入來河村子松方子入來五字ヨリ大山岩子入來云々ヲ談  
ス

十二月廿一日

今朝杉浦子櫻井子入來測量司地籍官林等ノ事示談有之川瀬大丞入來勸業  
商法ノコ示談有之二字岩公御入來云々ノ御談有之三字ヨリ延遠館は參今  
日亥清國行ニ付隨員外國人法律博士ボアソナード氏李仙得氏ビットマン  
氏其餘金井少内史吉原租稅助福原大佐池田寛治名村井上司法七等出仕高  
崎子等始都合二十名餘會食一同慰勞ノ爲相催シ尙謝詞ヲ演舌イタシ候各  
祝盃ヲ傾ケ隨分佳興ナリ

十二月廿二日

今朝林大丞川瀬大丞杉浦大丞櫻井新田子入來伊藤子モ入來四字ヨリ英公

延遠館ニ清國派遣  
隨員一同ヲ招キ慰  
勞ノ宴ヲ催ス

英國公使ノ招請ニ  
ヨリ横濱ニ赴ク

使招ニ付横濱ニ至ル岩公伊藤子大隈子等其餘英公使館付數名入來會食十  
字汽車ヨリ歸京

德大寺宮内卿來邸  
御下賜金返上ノ願  
ヲ聽サレザル旨ヲ  
達セラル

今日二時宮内卿德大寺殿 御使トシテ御入來 御沙汰ニ趣過日賜金返上  
願ノ趣巨細遂 奏聞候處申上ノ旨趣ハ尤ニ候得共當春以來不容易奔走盡  
力終ニ清國葛籐モ平和ニ歸シ深ク 思食被爲在不取敢御手元ヨリ被賜候  
ニ付如何様ニ申立候トモ御採用不被爲在トノ 勅意ニ候間其段奉承知御  
請仕候様承知仕何トモ奉申上様モ無之故然ル上ハ 御沙汰拜承仕候得ハ  
致方無之御請仕候旨御答申上候

十二月廿三日

今朝伊藤子入來何氏入來下津氏入來十字ヨリ 皇居ニ參昇明日ヨリ溫泉  
行出發ニ付伺

參内拜謁

天氣且昨日賜金ノ事ニ付御使被下候御禮申上ル拜謁被 仰付候退出午后  
石原子同道高輪邸ニ至ル高松邸植木一覽ニ參候今晚大山子得能子高崎子

吉原子入來

十二月廿四日

新橋ヲ發ス

今朝林大丞松方子船越子入來九字前三條公ニ參上 久光公ニ參上歸得能  
子石原子伊藤子入來有之云々談ス十一字新橋ステーションニ至ル十二字  
五分ヨリ乘車金井子吉原子乘車有之富貴樓ニ着奈良原子岩山子モ入來彦  
之進伸熊直矢子共一同見送トシテ參居三字乘船出帆ヲルコニヤ號

横濱ヨリ乗船

十二月廿五日

今日終日陰天順風不宜船搖蕩

神戸ニ上陸シ大坂  
ニ至ル

今朝六字神戸港ニ着ス黒田子艦迄被參共ニ上陸布引ニ暫時立寄十一字四  
十五分ノ車ヨリ大坂ニ至ル松陰子ヲ訪今晚稅所子入來圍碁當家ニ淹留

十二月廿七日

木戸上坂ノコトヲ  
談ス

今朝内海子入來木戸子上坂ノコト云々談示有之五代子ト圍碁  
十二月廿八日

今日午后松陰子一同塚に至ル圍碁吉井子京ヨリ下坂ニ被參各款話ヲ盡候今晚掩留

十二月廿九日

今日午后黒田子入來吉井子小子掩留

十二月三十日

今日午前ヨリ吉井稅所子三人同道今村別莊に至ル五代子入來圍碁掩留

十二月三十一日

今日九字ヨリ五代子吉井子稅所子一同大坂に至リ松陰宅ニテ圍碁稅所子被歸吉井子小子掩留

明治八年乙亥

正月一日

今日天氣溫和新年之風光自ラ閑靜ニテ心安如タリ熟一昨年來國家困難危急ノ際心志ヲ苦シメ十死一生ノ間ニ東西奔走辛フシテ活路ヲ得タルモ實意料ノ外ニシテ只一夢場ノ如シ畢竟  
新春ヲ迎ヘテ感慨殊ニ深シ

皇運ノ然ル所以ニシテ斯ル新春ヲ迎ユルモ豈喜ハサル可ケンヤ可祝可賀  
今日終日圍碁

正月二日

今日終日同斷

正月三日

今日午后松陰子同道塚に至ル市村ニテ圍碁今晚掩留

正月四日

今朝大坂に一同至ル木戸子着坂ノ由故松陰子吉井子稅所子同道神戸に至ル

神戸ニ至リ木戸孝尤ヲ迎フ

專崎に旅宿黒田子モ入來今夕木戸子着船有之長門屋に見舞イタシ候則答禮ニ入來

正月五日

大坂ニ歸ル

今日午后四字汽車ニテ大坂ニ歸ル

正月七日

今日午后木戸子入來圍碁

五月八日

今日午后三字比ヨリ於三橋樓木戸子に出會心事詳細吐露熟談致シ黒田氏モ入來一字比散ス

正月九日

今日終日木戸子松陰子ト圍碁

正月十日

今日同斷

木戸ト熟談ス

正月十一日

今日午後ヨリ渡邊權知事參リ候松陰子吉井子内海子ト圍碁

正月十二日

今日吉井子松陰子同道處々道具見ニ參リ三井別莊一覽イタシ候

正月十三日

今日終日圍碁井上子入來云々示談黒田モ入來

正月十四日

五代吉井兩人ヲ誘ヒ有馬温泉ニ浴ス

今日ヨリ松陰子同道十一字十五分車ヨリ神戸に至ル吉井子同所ヨリ同行

有馬温泉ニ至ル此日途中別々寒氣強ク四字比有馬ニ着兵衛ト申旅店に投

宿圍碁入湯

正月十五日

當所人戸四五百位ニテ旅店等立派ニ有之候得共冬日ハ來客モ至テ少ク尤山林ノ間ニ一徑ノ往來家屋ヲ連テ候迄ニ遊歩ノ場コレナク候湯モヌル



夕暖氣之時分ナラテハ浴シ難シ終日松陰子ト園基

正月十六日

今日同斷

正月十七日

中山ノ奇勝ヲ探ル

今日九時頃ヨリ發足ス中山ニ至ル途中二里位ノ間有馬ヲ出離レ白水川トイヘル邊ヨリ山水ノ奇趣實ニ賞スルニ堪タリ余厦門ニ至リ奇石怪巖其奇景我國ニモ稀ナルヘシト思シニ當所ノ景色中々同日ノ論ニアラス尤余ハ湯手村ヨリ歩行途中スカラ山水ノ美ヲ眺望シ大ニ心ヲ樂シマシム巨巖數十丈壁ヲナシ松樹蟠屈言語ノ及フ所ニアラサルナリ一字比中山ニ着午飯ヲ食ス當所有名ナル觀音堂ヲ一覽二字人力車ニ乗シ相發ス伊丹ヲ過グ酒造家多シ四時神崎ステーションニ着汽車ヨリ歸坂松陰宅ニ至ル黒田子入來木戸子云々ノ談ヲ承知ス

正月十八日

伊丹神崎ヲ經テ歸坂

今日松陰子ト園基稅所子入來

正月十九日

今日午後吉井子黒田子發足歸京午後渡邊子入來

正月二十日

今日午後ヨリ篤子同道堺ニ至ル市村別莊ニ掩留晚景遊獵今晚當所ノ村人

某ト園基

正月二十一日

今朝篤子同道遊獵午後松陰子入來園基

正月二十二日

今朝松陰子篤子同行八幡山處々遊獵獲モノ有之午後松陰子ト馬車ニテ大

坂ニ至ル

正月廿三日

今朝奈良原子着ニテ入來伊藤子昨夜着ニテ入來寛々相談イタシ候

伊藤博文着坂

八幡山遊獵歸坂

正月廿四日

今日園基松陰子中島別業相調祝トシテ篤子松陰子同道差越候渡邊子モ入  
來園基終ニ書畫染墨有之

正月二十五日

今朝園基稅子同道堺ニ至ル市村別莊ニテ奧村某ト園基

正月廿六日

今日九字ヨリ荏原邊ニ遊獵午后十二時篤子同道三橋樓ニ至ル今日木戸子  
ノ催ニテ招請有之多人數取會ニテ園基

正月廿七日

今朝奈良原子入來今日發足ノ由故黒田氏ニ紙面ヲ托ス午后伊藤子入來木  
戸子出京ノ決心相成候趣云々承リ候

正月廿八日

今朝太田子入來終日松陰子ト園基

木戸出京ニ決ス

正月廿九日

今朝園基午后二字ヨリ伊藤子旅宿ニ於テ木戸子出會彌出京相決候趣返詞  
有之候

正月三十日

今日終日園基晚景篤子入來

正月三十一日

今日ヨリ出京相企松陰子篤子同道三字比熊野村ニ至ル遊獵一泊

二月一日

今朝所々遊獵松陰子ト相別レ篤子同道途中遊獵平瀨(校方)二字至ル五字西京  
に着ス

二月二日

今日篤子同道清雅堂來山堂竹角等ニ道具見物ニ至ル今本土町某(先子)ノ料理店  
篤子同道ニテ至ル

大坂ニ歸ル

二月三日

今朝八字篤子同發足一字比平瀉に着午飯三字大坂に歸ル

二月四日

木戸板垣談合利通  
同論ノ旨ヲ答フ

今朝伊藤子入來木戸子板垣子ト談合ノ趣云々承ル小子異論ナキ旨返詞イ  
タシ候午后松陰子渡邊子同道平五別莊に遊獵トシテ至ル

二月五日

東久世彌東京ヨリ  
至ル

今朝東久世公着坂ニテ御出有之云々御談有之尤モ東京に申上越タル候  
處速ニ着ニテ安心イタシ候午前十一字伊藤子ニ至ル東久世公モ御出有之  
候猶又御談ニ及候午后二字松陰子同道堺に至ル市村別莊に掩留夕景遊獵  
今晚圍碁

堺ニ赴ク

二月六日

今朝九字ヨリ發ス烈風寒氣甚シ富田林トイヘル處午后着午飯イタシ中村  
トイヘル處四字着當所區長宅に一泊凡五里位

二月七日

金剛山ニ遊獵ス

今日天氣少ク穩ニシテ金剛山ニ向テ發ス凡八合位ノ所に狩場ノ設有之午  
飯イタシ候尤堺縣官員モ隨行故多人數相屯シ獵師十名相集リ此日雪降四  
山皚々隨分勇シク應テ獵師入山隱テ間伏シニ立テ候得テ風烈ニナリ獲モ  
ノ無之狩ヲ取止メ千早ニ赴ク途中一里位山ヲ登ル雪深フシテ登ルヲ難ク  
甚困却辛フシテ絶頂ニ至ル是ヨリ山ヲ下ル二十町位ニシテ千早村ニ至ル  
人戸繁密山中意外ナリ某ノ家ニ投ス

千早村ニ泊ス

二月八日

楠公ノ遺跡ヲ訪フ

今朝九字當所ヲ發ス千早城跡ヲ望ミ頗有感二里位行テ楠公誕生塚赤坂前  
後ノ城跡ヲ見ル富田林ニテ午飯ヲイタシ一字出立人力車ヲ飛ハセ古市ト  
イヘル處ニテ遊獵今夜八字大坂に着

大坂ニ歸ル

二月九日

今日十字比ヨリ木戸子伊藤子入來木戸子ト板垣子ト談合ノ事ニ付云々相

談有之用談終る圍碁

二月十日

今朝圍碁午后三時伊藤子の訪今晚圍碁

二月十一日

木戸伊藤板垣井上等下會談ス

今朝圍碁午后稅所子入來一字ヨリ木戸子招ニテ伊藤子旅宿ニ至ル板垣子

井上子(小堀太)尾子等出會

二月十二日

木戸來訪明日上京發途ノ旨ヲ語ル

今日午後木戸子入來板垣子談合之趣詳細承ル明日ヨリ上京被致候趣伊藤

子モ入來有之

二月十三日

古市ニ遊獵ス

今日松陰子同道七字ヨリ古市ニ行途中遊獵イタシ十二字過古市ニ着依約

譽田八幡社ニ詣ッ

篤子被參居午飯イタシ處々遊獵道明寺譽田八幡社寶物等拜見致今夕依頼

小楠公ノ墓銘ヲ揮毫ス

拙毫ヲ揮候尤篤子ヨリ小楠公ノ墓銘シタ、メ候様承不得止拜書イタシ候

二月十四日

大坂ニ歸ル

今朝發足一字大坂着篤子渡邊子松陰子同道平五別莊ニ至遊獵イタシ候

二月十五日

今朝五代子篤子十字過ヨリ堺ニ至リ市村ニ逗留午后八幡山邊ニ遊獵

二月十六日

神戸ニ至リ乗船

今朝七字松陰子篤子同道大坂ニ至ル今日當地發足ニ付渡邊子内海子等爲

暇乞入來一字前汽車ヨリ松陰子篤子同道神戸柴田屋ニ至ル三字別ヲ告ゴ

ホールデンエーヂ號米郵船ニ乗船四字出帆

二月十七日

今日航海至テ平穩午后ニ至リテ富岳ヲ望今晚一字過横濱港ニ着

二月十八日

横濱上陸歸京

今朝上陸富貴樓ニ投シ朝飯イタシ十字前汽車ヨリ東京ニ歸ル高輪邸ニ立

寄十二字歸宅林大丞入來今晚得能子吉井子吉原子西郷子島山子等入來